

85  
55

M



雲外居士著

訂正增補

基本戰術摘要解義 第二卷

川流堂小林又七發行



# 序言

本書は元來江湖諸君の研究資料に供するの目的を以て最初より著述したる者にあらず唯た著者等のいたずら草紙に外ならずさり然るに諸彦の勸告に由て發行はなしたるもの、前陳の次第なるを以て固より不完全なるを免さず各位幸に此等の遺漏を補ひ賜はん爲めに本文紙面に別に上欄を設けり即ち此上欄は遺を補ひ漏を充たすの余地となし併せて著者が諸者の閲讀に便ならしめん爲めの註記を載するは供せり

著述上各兵家の(参考書中に記せる各書)所説紛々として決せざる件は





概ね各外國兵事新聞に由て近今の學說を斟酌し以て斷案  
を下せり然まども新材料なく爲めに遂に斷案を下す能は  
ざりし件は其儘諸說を陳列して參考に供し置けり殊に外  
國兵書諸新聞を參考に供するに當り悲哉著者が各國の語  
學に不熟なるを以て其譯出したる所の言辭が文を爲さず  
或は了解に苦しき所もあらん是を特筆して謝し置かんと  
する所なり

各局部各専門の事柄に就き本書述ぶる所の外尙ほ深く研  
究を要せらるゝ節は本書參考書目中の各書を読讀せらる  
なほ敢て遺憾なかるべし

●基本戰術摘要解義ノ目的

方今戰術ノ研究ニ資スル書籍其數少シトセス然レトモ概  
ネ其所說局部ニ留マリ一般ニ諸原則ヲ網羅スルモノナシ  
例ヘハ甲ハ戰鬪ノミ乙ハ野外勤務ニ屬スルコトノミ丙ハ  
戰略統帥ニ關スルコトノミ丁ハ補助學ニ關スルコトノミ  
等ノ如シ故ニ全般ノ戰術戰略ヲ一通リ了解セント欲セハ  
諸種ノ書籍ヲ閱讀シタル後ニ非ラザレバ能ハズ是レ其研  
究ニ時日ヲ費スコト多キノミナラズ其勞又尠ナカラズ乃  
チ本書ハ短時日ニ於テ其勞少ナク迅速ニ諸般ノ原則ヲ了  
解シ普通作戰ノ統帥ニ支障ナキ智識ヲ與ヘント欲スルモ



ハナリ、故ニ、萬書ヲ集メテ、始メテ、知リ、得ベキ、原則ヲ、僅ニ、此  
一書ニ、悉皆、網羅シ、俗言セハ、戰略戰術原則ノ、大字典、タラシ  
ムルニアリ

四

●基本戰術摘要解義著述ノ方法

基本戰術ノ原則ハ、悉皆網羅記述セリ、然レトモ、其原則ノ由  
テ生スル、演約的理由ノ、説明等ニシテ、既ニ、士官學校、其他將  
校團教育等ニ、由テ、普ク、教授サレアルベキ者ハ、勉メテ、節畧  
シ、唯タ、其要點ノ、結果ノ、ミヲ、記シ、以テ、著述ノ、順序ヲ、規正ス  
ルニ、留メ、成ルヘク、煩雜ヲ、避ケ、單簡ニ、速ニ、要點ヲ、了解シ、易  
キカ、如クス、但シ、普通通知ラレアル、平易ノ、コトモ、時トシテハ

記述セリ、是レ、他ノ、照應引證等ノ、爲メ、著述ノ、手段上、已ムヲ  
得サルコトナレハ、幸ニ、諒察ヲ、乞フ

第一篇乃至第四篇ハ、戰略戰術ノ、學理的、上、原則ヲ、述ヘ、就中  
想定ニ、從ヒ、作戰ノ、經過情況ヲ、現出セシメテ、説明スルニ  
アラサレハ、充分理解セラレ、難キ件、並ニ、想定ニ、從ヒテ、説  
明スルヲ、利益ト、思考シタル件ハ、唯タ、其基礎ノ、原則ノ、ミ  
ニ、留メタリ、而シテ、其精細ハ、第五篇ニ、遜ルコト、セリ  
第五篇ハ、諸原則ヲ、實際ニ、應用スル方式研究ヲ、主トシ、所謂  
應用戰術ノ、研究ニ、資シ、併セテ、第一篇ヨリ、第四篇ニ、至ル  
間ニ、於テ、説述シ、能ハサリシ、戰略戰術ノ、原則ヲ、例證シテ

五



說述ス

第六篇ハ上陸作戰並ニ國防作戰ノ原則並ニ應用ノ一端ヲ述ブ  
 第七篇ハ要塞ノ攻守法並ニ之レニ附帶スル諸原則ヲ述ブ  
 第八篇ハ守勢攻勢ニ於ケル各種後方連絡並ニ連絡線上ニ於ケル諸原則ヲ述ブ  
 補遺トシテ著述ノ順序上第一篇乃至第八篇中適當ノ條項ニ於テ説明シ能ハサリシ件並ニ戰略戰術ト互ニ相待ツテ緊要ナル補助學ヲ述ブ  
 附録トシテ軍事學諸般ノ必要件ヲ摘記シ幹部演習圖上對

策兵棋野外演習等ノ良友顧問タラシム

●參考書目

歩兵操典、騎兵操典、砲兵操典、工兵操典、野外要務令、諸教範、Meckel氏著基本戰術、Lehner氏著軍隊指揮官手簿、佛國サンシール兵學校兵學教程、佛國砲兵學校築城教程、佛國中將Berthaut氏行軍戰闘術、佛國參謀少佐ベルトー氏戰術講義、佛國シユニーガン氏戰論、他兵連合野戰砲兵、クラフト戰略論、獨乙野外要務令、陸軍大學校帥兵規則、陸軍大學校帥兵術、野戰砲兵士官手簿、基本戰術講授錄、戰術講授書、日本士官學校戰術教程、同築城學校教程、同兵器學教程、ブルームーメー戰略論、參謀服務學、偕行社記事、大學校交通學、フリアルモン氏戰場築城論、獨乙兵學校築城及ヒ攻城法教程、ラスニール氏騎兵搜索戰闘術、步兵論、騎兵論、要塞戰法、マハン海權論、海戰術、千八百七十年普佛戰、全七十七年魯土戰、丁抹戰等ノ論評、普國兵事新報、佛國兵事新報、ドラゴミローフ氏戰闘論、海戰史論其他各國時々ノ新聞ハ略ス



# 基本戰術摘要解義

## 總目錄

### 第一卷

第一篇 一般ノ總說並ニ各兵種固有ノ戰術

第二篇 諸種ノ戰鬪原則

### 第二卷

第三篇 局地戰及ヒ特別枝隊ノ小戰

第四篇 野外帥兵術  
行軍、駐軍、衛生、給養、命令、訓令、  
判斷等總テ統帥ニ關スルモノ

### 第三卷

第五篇 基本戰術ノ應用  
枝隊戰術ヨリ混成旅團、師團等ノ作  
戰ニ進ミ軍ノ作戰ニ移ル端緒マデ



第四卷

第六篇 上陸作戰、國防作戰

第七篇 要塞戰

第八篇 後方勤務

第五卷

補遺

方今ノ新戰術、海上海岸戰、戰畧統帥ノ諸計畫、各國諸兵家ノ新說等ヨリ築城、交通、兵器、地形等ノ補助學等ニ至ルマデ前篇中適當ノ處ニテ說叙シ能ハザリシモノヲ編纂ス

第六卷

附錄

軍事諸般ノ必要件ヲ摘記シテ指揮官ノ手簿タラシム

基本戰術摘要解義第二卷

目次

第三篇 局地戰及ビ特別枝隊ノ小戰

● 局地戰ニ關スル一般ノ總說

● 隘路戰

其一 隘路ノ性質効用

其二 隘路前方ノ防禦

其三 隘路前方ニ於ケル守兵ニ對スル攻撃

其四 隘路後方ノ防禦

一 一 四 四 七 二 三



● 森林及ヒ住民地戰

- 其五 隘路後ノ守兵ニ對スル攻撃 一八
- 其六 隘路内部ニ於ケル攻防 一九
- 其七 森林及ヒ住民地ノ利害 二〇
- 其八 森林及ヒ住民地ニ於ケル防禦諸兵ノ用法 二〇
- 其九 森林及ヒ住民地攻撃諸兵ノ用法 二二
- 其一〇 森林ノ特性 二八
- 其一一 森林ノ防禦 二九
- 其一二 森林ノ攻撃 三一
- 其一三 住民地ノ特性 三五
- 其一四 村落ノ攻撃 三八
- 其一五 村落ノ攻撃 四一
- 其一六 村落ノ攻撃 四四

- 其十 延長ナル住民地及ヒ森林ノ出口ニ於ケル戰闘 四八
- 其十一 市街戰 四九

● 河川ノ戰闘

- 其一 總論 五〇
- 其二 河川ノ防禦 五二
- 其三 河川ノ攻撃 五七

● 高地戰

- 其一 高地ノ性質効用 六六
- 其二 高地ノ防禦 七一
- 其三 高地ノ攻撃 七三

● 谷地戰

● 山戰

- 七五
- 七六



● 奇襲

其一 掩撃

其二 伏兵

● 別働隊

● 徵發隊

● 戰場工事ノ掩護

第四篇 野外帥兵術

● 序論

● 宿營

其一 舍營

其二 露營

八一

八二

八四

八六

八八

八九

九一

九二

九二

九二

九六

其三 村落露營

其四 幕營及ヒ廠營

其五 宿營地區ノ廣袤並ニ撰定

其六 宿營ノ配當設備

其七 宿營内ノ勤務警戒並ニ諸般ノ注意

其八 警報

● 前哨

其一 一般ノ總說

其二 前哨ノ區分

其三 前哨各部ヨリ出ス警戒兵

其四 前哨配布及ビ各官ノ任務

其五 前哨ノ戰鬥動作

九九

一〇〇

一〇三

一一三

一一九

一二三

一二五

一二五

一二八

一三三

一四三

一五四



●行軍

- 其六 前哨ノ交代及セ收集
- 其七 各種ノ場合ニ於ケル前哨
- 其一 總論
- 其二 戰畧上ノ分進合擊
- 其三 行軍効程並ニ區署ノ一般注意
- 其四 夜行軍、急行軍、強行軍
- 其五 旅次行軍、戰備行軍(警戒行軍)
- 其六 前進行、退却行、側敵行
- 其七 行軍序列
- 其八 行軍長徑、開進並ニ展開

一五六  
一五七  
一六二  
一六三  
一六四  
一六六  
一八〇  
一八六  
一九一  
一九二  
二〇三  
二〇九

●搜索及セ警戒

●戰時給養

- 其一 總論
- 其二 獨立騎兵(前衛騎兵)
- 其三 前衛
- 其四 後衛
- 其五 側衛
- 其一 宿舍給養
- 其二 倉庫給養
- 其三 徵發給養
- 其四 携行糧秣給養

二〇九  
二一四  
二二七  
二三七  
二四四  
二五一  
二五三  
二五五  
二五六  
二五八  
二六一  
二六七

●戰時衛生

●命令



● 訓令	其十一	追擊命令	三二七
	其十	戰鬥中止對敵徹夜ノ場合ニ於ケル命令	三二〇
	其九	退却命令	三一七
	其八	防禦命令	三一四
	其七	攻擊命令	三一〇
	其六	開進命令	三〇七
	其五	前哨命令	三〇四
	其四	前衛命令	二九七
	其三	宿營命令	二九一
	其二	行軍命令	二七九
	其一	總說	二六七

● 通報、報告	三三〇
● 命令、通報、報告ノ傳達	三三九
● 詳報	三四三
● 掌圖、略圖	三四五
● 陣中日誌	三五〇
● 通信ノ記載注意	三五一
● 諸判斷、決心及ヒ意見具申	三五五



# 基本戰術摘要解義第二卷

## 第三篇 局地戰及ビ特別枝隊ノ小戰

### ● 局地戰ニ關スル一般ノ總說

凡ソ戰術ノ要旨ハ孰レノ時機孰レノ地形ニ於テモ異ナルナシ然レトモ凡ソ戰鬪ハ局地即チ地上ノ物體村落、農厦、森林、高地、隘路等ニ因テ多少ノ變象ヲ呈ス此變象ニ應スル戰法ヲ稱シテ局地戰ト謂フ

前世紀ニ於テ專ラ整列戰ノミヲ以テ勝敗ヲ決セル時代ニハ局地ノ効用殆ント無シト云フモ敢テ過言ニアラス如何トナレハ局地ハ整列戰ノ成立スヘキ處ニアラサレハナリ然ルニ輓近ノ戰鬪ハ廣ク土地ノ利用ヲ要スルヲ以テ戰鬪上局地ノ効用至大ナルニ至リ從ツテ戰鬪ノ經



過勅強ニシテ又昔日ノ如ク瞬時ニ勝敗ヲ決スル能ハス之レニ因リ指揮官ノ致意益々周到ナルヲ要シ獨斷專行ノ要益々大ナルニ至レリ  
局地ハ方今ノ戰鬪ニ於テ守者ノ爲メニハ掩蔽及ヒ據點トナリ攻者ノ爲メニハ障礙トナル故ニ局地ハ小部隊ノ防禦點トナルノミナラス曠野ニ於ケル大戰ニ在テモ戰鬪ノ主點トナルモノナリ然ルニ我日本ノ地形ハ其趣キ歐洲大陸ト大ニ異ル所アリテ大陸ニ於ケル戰鬪原則ヲ悉ク敵用スル能ハス蓋シ本邦ノ戰鬪ハ到ル處局地戰タルヲ免レス曠野ノ戰鬪ハ殆ント見ル能ハスト云フモ過言ニアラサレハナリ  
局地戰ニ於ケル各兵種一般ノ任務概ネ左ノ如シ  
歩兵ハ局地ノ如何ヲ問ハス始終戰鬪ニ從事シ得ヘキ唯一ノ兵種ナリ  
騎兵ハ通常局地外ニ在ル所ノ敵ニ對スルヲ以テ直接局地戰ニ關與スル者ニアラス然レトモ戰鬪ノ前後及ヒ戰鬪間側翼ニ於ケル動作ニ至

ツテハ一般ノ戰鬪ニ於ケルト異ナルナシ  
砲兵ハ掩蔽物及ヒ障礙ヲ破壞シ敵兵ヲシテ據點ヲ保ツ能ハサラシメ且ツ擾亂ヲ提起セシムルノ能力ヲ有ス故ニ局地ノ攻撃ニハ殊ニ必要ノ兵種タリ  
工兵ハ防禦ニ在ツテハ障礙物及ヒ掩蔽物ヲ設置スル爲メ他兵種ヲ誘導シ且ツ之レガ工事ヲ援助ス攻撃ニ在ツテハ他兵種ト共ニ進ミ時トシテハ之レニ先タチ當路ノ障礙物ヲ除去ス  
局地戰ニ係ル通則ハ其類ニ依テ之ヲ區別スト雖モ各種ノ戰鬪ハ彼此互ニ相類似ス以下隘路、森林、住民地、河川、高地等ニ就キ逐次說叙スレトモ固ヨリ局地ノ地形ハ千狀万態ニシテ之レニ應スル細說ヲ逐一ナスモ無益ナリ故ニ此篇ニ於テハ主トシテ各局地戰鬪ノ原則大要ヲ掲ク  
ルニ留メ第三卷應用ヲ述フルニ至リ各地形ニ就テ研究スル所アラン



トス

### ●隘路戦

其一 隘路ノ性質効用

隘路トハ障害物ヲ貫通シ或ハ之レヲ超越スル所ノ狭窄ナル通路ニシテ軍隊其正面ヲ滅殺スルニアラサレハ通過スヘカラサル道路ヲ云フ例ヘハ橋梁、山徑等ノ如シ

隘路ノ區別

隘路ハ別チテ二種トナス短隘路、長隘路是ナリ

短隘路ハ障害物ヲ隔テ、彼我互ニ射撃ヲ交換シ得ルモノヲ云フ橋梁淺瀬ノ如シ

長隘路ハ障害物ヲ越ヘテ火力ヲ彼我互ニ交換シ能ハサルモノヲ云フ山路又ハ大水田中ヲ通スル道路ノ如シ

本邦ニ於テハ到ル處隘路ヲ成形ス是レ本邦國土ノ性質ノ由ツテ然ラシムル所ニシテ本邦ノ地勢タルヤ細長ニシテ且ツ連綿タル一大山脈其中央ヲ縦斷シ此山脈ヨリ左右海岸ニ向ツテ無數ノ支脈ヲ分派セリ此ヲ以テ主ナル道路ハ山脈ノ左右ニ於テ長方ニ從ツテ創設セラレ又水路ハ長方ニ從ツテ流ル、モノ甚タ稀ナリ多クハ支脈ト支脈トノ中間ニ流ル、モノニシテ本邦交通路ハ概ネ是等ノ支川及ヒ支脈ト交叉シ又短方ニ從フ道路ハ險峻ナル中央大山脈ヲ越エサルヘカラスト特ニ水田ハ我國ノ特有物ニシテ谷底ハ悉ク水田ヲ以テ充タスト云フモ不可ナキナリ此水田ハ概ネ通過困難ニシテ唯タ之レヲ貫通スル道路ノミ通過シ得ヘク至ル所隘路ヲ成形ス

地形此ノ如クシ本邦ノ特有物ハ隘路ナリト云フノ已ムヲ得サル所以ナリ



隘路ヲ戦闘ニ利用スルハ我作戰ノ目的ニ從ツテ異ナリ即チ敵ノ軍隊ガ狭少ナル正面ヲ以テ通過スルヲ要スルカ或ハ我カ軍隊ガ狭少ナル正面ヲ以テ通過スルヲ要スルカニアリ換言スレハ隘路ハ敵ニ障害ヲ與フルカ或ハ我ニ障害ヲ與フルカニヨリテ異ナルナリ故ニ隘路ノ防禦ハ敵ノ通過ヲ困難ナラシムルト我軍隊ノ通過ヲ容易ナラシムルトノ二種ニ歸スルナリ而シテ又其防禦方法ハ我目的ニ從ヒ或ハ隘路ノ前方ニ於テスルカ或ハ隘路ノ後方ニ於テスルカ或ハ又隘路ノ景況ニヨリテハ隘路ノ内部ニ於テ防禦スルノ必要起ルナリ

乃チ作戰ノ目的ニ從ツテ隘路ノ占領差異ハ概ネ次ノ如シ

- 一 我兵ノ隘路進出或ハ退却ヲ掩護スル爲メニハ隘路ノ前方ニ於テ防禦ス
- 二 敵兵ノ隘路ヨリ進出スルヲ妨クル爲メニハ隘路ノ後方ニ於テ

防禦ス

- 三 敵兵ノ隘路通過ヲ妨ケ絶對的ニ隘路ヲ閉塞セントスル場合ニ於テ且ツ此隘路ガ長隘路ナルトキハ隘路内部ニ於テ防禦ス

以下將ニ此ノ各種ノ場合ヲ説叙セントス

其二 隘路前方ノ防禦

隘路前方ニ於テスル防禦ハ左ノ不利ヲ有ス

- 一 守兵ノ退却困難ニシテ守兵ハ唯タ一條ノ退路ヲ失ハサランコトヲ恐レ大ニ軍隊ノ自由ヲ牽束ス
- 二 退却ニ當リ隘路ヲ通過スル爲メニ廣キ正面ヨリ縦長ノ隊形ニ轉スルノ已ムヲ得サルヲ以テ大ニ時間ヲ費シ爲メニ敵兵此機ニ乘シ劇シク攻撃ヲ爲ストキハ殲滅ニ陥ル患アリ



隘路前陣地  
占領法

- 三 退却ノ際各自先キテ爭フテ隘路ヲ通過セントスル爲メニ直チニ隘路ヲ閉塞スル患アリ
  - 四 敵ノ包圍ヲ被リ易シ
- 以上ノ不利アルヲ以テ隘路前方ノ防禦ハ成ルヘク是ヲ避クヘキモノトス然レトモ作戰ノ目的上已ムヲ得ス此防禦ヲナスニ當リ其陣地占領法ニ二種アリ
- 甲 前進ノ目的ヲ有スル我軍隊ノ隘路進出ヲ掩護スル場合ニハ我軍隊隘路通過後ノ動作ヲ自由ナラシムルヲ以テ主眼トスルヲ以テ其陣地占領ニ就キ左ノ顧慮ヲ要ス
- 一 隘路出口ノ領有ヲ確實ニスルコト
  - 二 敵兵ヲ成ルヘク遠距離ニ止阻シ以テ敵火ノ爲メ進出スル我軍隊ヲ損傷スルコト勿カラシムルコト

隘路口ト防禦線トノ距離

- 三 進出スル我軍隊ノ戦闘展開ヲ爲スヘキ餘地ヲ存シテ陣地ヲ占領スルコト
- 以上ノ三件ヲ充足スル爲メニハ隘路口前少クトモ二千米突ニ於テ防禦線ヲ設クヘシ然レトモ此距離ハ地形ト展開スヘキ軍隊ノ多少トニ由ツテ變化スルハ勿論ナリ
- 防禦線ノ兩翼ハ天然若シクハ人造ノ障碍物ニ委託シ側面ヨリ敵ノ脅威ヲ受ケサル如クスヘシ又隘路口ヲ瞰制スヘキ高處ハ我ヨリ之ヲ占領シ敵ノ占領ニ歸セシメサルヲ必要トス
- 乙 退却ノ目的ヲ有スル我軍隊ノ隘路通過ヲ掩護スル場合ニ於テハ我軍隊ノ通過間之レヲ防禦スレハ足レリ故ニ其防禦ノ方法大體ニ於テハ甲ノ場合ニ於ケル要領ニ從フト雖トモ攻勢前進ノ考慮ナキヲ以テ戦闘展開ノ餘地ヲ存スル如キ必要ハ無ク殆ント專守



隘路前防禦  
ノ特別ノ場  
合

防禦ニテ足レリ故ニ退却ニ當リテハ隘路口若クハ隘路内ニ一點  
若クハ數點ニ於テ迅速ニ設置スヘキ障礙、阻絶物ノ準備ヲナシ敵  
軍ノ追躡ヲ防止スルノ用ニ供スヘシ

右ノ外地形上特ニ隘路ノ前方ニ布陣スルヲ利トスル時假令ヘバ隘路  
ノ後方ニ於テ防禦スレバ強大ナル攻者ノ射撃ニ制壓セラル、モ隘路  
ノ前方ニ於テスレバ戰術上便利ナル陣地アリ且ツ退却ノ爲メニ良好  
ナル道路ニ乏シカラサルガ如キ場合ハ特ニ隘路前ニ陣地ヲ占ムル  
アリ

戒愼過度ナル敵ニ對シ守者若シ隘路前ニ陣地ヲ占ムレバ彼ヲシテ大  
ニ恐怖ノ念ヲ懷カシムルコトアリ是レ我攻撃ヲ受クルヲ慮レバナリ  
隘路前ノ布陣ハ通常半圓形ニシテ其兩翼ヲ障礙物ニ依托スルヲ可ト  
ス

砲兵ハ地形之レヲ許セハ成ルヘク隘路前方ニ出ツルコトナク隘路後  
方(橋梁淺瀬等)ノ如キ隘路ニシテ後方ヨリ前方ヲ展望シ得ルトキニ陣  
地ヲ占領スルヲ以テ最も良トス

騎兵ハ何レノ場合ニ於テモ左右側ノ搜索警戒ニ任シ敵ノ迂回ヲ監視  
ス

凡ソ隘路前方ニ於ケル戰闘中止ハ最も困難ナル動作ナリ此場合ニ在  
リテハ敵ノ切迫最も激烈ナル點ニ於テ最も久シク抵抗シ砲兵ハ最初  
ニ退却シ騎兵之レニ續キ而シテ歩兵ハ梯隊トナリ最終ニ退却スルモ  
ノトス

退却危殆ナルトキハ一時猛烈ナル逆襲ヲ行フニ由テ時間ノ餘有ヲ得  
ル外又他策アルコトナシ  
行李輜重ノ如キ戰闘ノ妨害タルベキモノハ總テ之ヲ隘路ノ後方ニ殘



置スルカ若クハ速ニ後方ニ還送スヘシ

其三 隘路前方ニ於ケル守兵ニ對スル攻撃

攻者ノ主眼トスル所ハ其兵方ヲ團結シ以テ分離セル守兵ノ一點ヲ猛烈果敢ニ攻撃突破スルニアリ  
攻者ハ主トシテ守者ヲ退却線外ニ擊退スルヲ勉ムヘシ之レガ爲メニハ地形ト兵力トヲ顧慮シ捷路ニ由リ隘路ノ入口ニ向ヒ有利ノ地點ニ兵力ヲ集合シテ猛烈ニ攻撃スベシ防者若シ前衛ナレバ攻者ハ敵ノ本隊未ダ到着セザルニ乗ジテ決戦ヲ行ヒ後衛ナレバ速ニ進ンテ敵ノ本隊ニ追及スルヲ緊要トス  
攻者ハ敗走スル所ハ敵兵ニ尾シテ隘路ヲ通過シ得ルトキハ被害少ク好都合ナルモノトス

追撃ノ要訣

此外攻撃動作トシテハ一般ノ原則ニ從フ

其四 隘路後方ノ防禦

隘路後方ノ防禦ハ最モ防者ニ於テ有利ナルモノトス今其利害ノ大要ヲ示ス左ノ如シ  
隘路後方防禦ハ利トスル所左ノ如シ

隘路後方防禦ノ利

- 一 攻者ハ狹正面ヲ以テスルニアラサレハ戦闘スル能ハス之レニ反シテ防者ハ廣大ナル正面ヲ以テ之レニ當ルヲ得即チ防者ハ最大ノ射撃力ヲ彼レニ與フルコトヲ得
- 二 攻者假令隘路ヲ進出シ得ルモ尙ホ一條ノ退却路ヲ背ニシテ戦フノ不利アリ
- 三 攻者ヲシテ隨意ニ攻撃點ヲ撰ハシメス



隘路後方防禦ノ不利

以上ノ理ニ反シ其不利トスル所左ノ如シ

一 守者ガ攻撃ニ轉シテ前進スルトキ攻者ト同様ノ不利ヲ擔ハサルヘカラス

二 防禦効ヲ奏スルモ追撃困難ナリ

要スルニ隘路後方ノ防禦ハ敵ノ自由ヲ束縛シ我カ全力ヲ發揚シ之レニ對スルヲ得故ニ敵ハ衆多ノ兵ヲ有スルト雖トモ隘路口ニ於テハ唯々其縱隊ハ先頭ヲ以テ我ニ對スルヲ得ルニ過キサレヲ以テ防者ハ比較的少數ノ兵ヲ以テ多數ノ敵ニ對スルヲ得ルモノトス

隘路入口ニ直接シテ防禦スル利害

隘路後方ノ防禦ニ於テ若シ短隘路ナルトキハ直接隘路ノ入口ニ接近シテ陣地ヲ占領スルハ不可ナリ何トナレハ我ハ隘路口ニ射撃ヲ集注シ難シ之ニ反シ敵ハ前岸ヨリ障害物ヲ超ヘテ我ニ火力ヲ逞シクスルヲ得ルヲ以テ即チ敵ハ準備火戰ヲ恣ニスルヲ得レハナリ故ニ防者ハ

對岸ニ展開スル敵ノ火線ニ射撃ヲ與フルヨリハ寧ロ後退ノ陣地ヲ占メ敵ガ隘路ヲ通過スルヲ待ツテ之ニ射撃ヲ與フル如クスルヲ可トス之レ即チ前陳隘路後方防禦ノ利益中第一項ノ利益ヲ十分ニ應用スルモノナリ殊ニ勝利ヲ期スル攻勢防禦ニアリテハ成ルヘク後退シテ陣地ヲ占メ敵ヲシテ半ハ隘路口ヲ出テシメ其半渡ニ乘シ我カ全力ヲ以テ攻勢ニ轉シ敵ヲ隘路中ニ壓迫スルヲ以テ有利トス然レモ攻勢移轉ノ時機ヲ失スル時ハ遂ニ隘路ヲ敵ニ委スルニ至ルヲ以テ守者ノ任務ガ絶對的ニ敵兵ノ隘路通過ヲ止阻スルニアルキハ敵ヲ隘路内ニ窘窮セシムルヲ勉メ一部タリトモ隘路口ニ進出スル能ハザラシムルヲ勉ムベシ

陣地ハ配備ハ專ラ隘路口ニ射撃ヲ集注シ得ル如クスルヲ要ス然ルトキハ其戰線自然隘路口ニ對シ内灣セル半圓形ヲナシ其翼ヲ敵方ニ出



スニ至ル故ニ此場合ニ於テ敵ヨリ我カ翼ヲ縦射セラル、コトナキヲ注意セサルヘカラス

砲兵ハ敵ノ砲兵ト隘路ヲ隔テ、砲戦スルハ全然利益アリト云ヲ得ス故ニ敵ノ砲兵我ヨリ劣勢ナル時ニアラサレハ隘路ヲ隔テ、砲戦セス唯タ隘路ヲ縦射スルカ或ハ隘路ノ出口若クハ隘路ヲ敵カ通過スルニ當リ之レニ火力ヲ輻輳セシムル如ク陣地ヲ占領スヘシ又我砲兵優勢ナリト思考スルトキト雖トモ其位置カ隘路ニ對シ十分ニ火力ヲ逞スル能ハサル場合ニハ若干門ヲ以テ隘路ヲ縦射シ得ヘキ位置ニ蔭蔽シ置キ愈々敵ガ隘路ヲ通過スルトキ是ヲ縦射スルニ供シ其他ノ砲ハ後方ニ於テ陣地ヲ占メ敵ノ隘路前ニ出ツルニ際シ我攻勢運動ヲナス用ニ供スヘシ  
騎兵ハ使用ハ隘路前方ノ防禦ニ於ケルト異ナルコトナシ但シ敵兵隘

短隘路ニ直接スル配備ハ特別ナリ

路ヲ出ツルニ當リ側面ヨリ之レヲ襲撃シ得ルニ適當ナル位置アレハ騎兵ノ爲メ以テ有利ナルモノトス  
短隘路ニシテ之レニ直接シテ防禦配備ヲナスハ特別ノ場合即チ夜間或ハ濃霧ノ時ニ於テ奇襲ヲ防ク爲メ之レヲ守備スルカ或ハ寡少ノ兵ヲ以テ隘路ニ固着シテ防禦スルガ如キトキ等ナリ  
本邦ニ於テ水田中ヲ通スル隘路ハ其幅通常河川ニ比シテ大ナリ且ツ兩岸ノ地形多クハ樹木蔭蔽シテ展望ヲ妨ケ後退ノ陣地ヲ占領シテ有効ニ隘路中ヲ射撃シ得ルコト稀ナリ故ニ勢ヒ直接防禦ヲナスヲ要スルコトアレトモ若シ戦闘ノ目的決戦ヲ要スル場合ニ於テハ必ラス逆襲ニ轉シ得ル如キ後退ノ陣地ヲ占領セサル可カラス此場合ニ於テ敵ハ假令ヒ隘路兩岸ノ蔭蔽物ヲ利用シテ我岸ニ進出スルモ隘路後方防禦ノ利益ヲ全ク失フコトナク敵ヲシテ只タ一條ノ退路ヲ背ニシテ戦



ノ不決ヲ感セシムルハ同一ナリ

其五 隘路後方ノ守兵ニ對スル攻撃

守兵完全ニ隘路後方ニ於テ防禦スルトキハ是レヲ強奪スルコト甚タ難シ故ニ攻者ハ迂回策ニ出ツルカ或ハ夜間濃霧ノ際奇襲ニ依ルカ或ハ陽攻ニ由テ敵ノ兵力ヲ他ニ誘致スルカノ外策ナキニ至ルコト多シ若シ強テ正面ヨリ攻撃ヲ舉行セントセハ只夕射撃ノ威力ヲ以テ敵ヲ壓縮スルノ一術アルノミ故ニ砲兵ハ此ノ攻撃ニ於テ特ニ異大ノ効力ヲ有スルモノナリ

準備火戰中精密ニ隘路ヲ偵察シ破壊サレタル通過點アラハ之レヲ修理シ準備火戰已ニ成リ攻撃ヲ實施スル爲メニハ攻撃兵ハ隘路ノ附近ノ地形ニ應シ成シ得ル限リ廣キ正面ヲ以テ隘路ヲ突貫シ射撃部隊ハ全力ヲ竭シテ此ノ攻撃ヲ援助スルモノトス此ノ戰鬪ニ於テ最モ危険ナルハ隘路ノ出口ニ攻撃隊ノ達シタルトキ敵ノ逆襲ヲ受クルニアリ特ニ隘路出口ニ於ケル戰鬪ハ其期概ネ短カクシテ且ツ頗ル激戰タルコト常ナリ攻者一旦其地ヲ畧取シ後續ノ兵隊來援スルニ從ヒ益々其占領地域ヲ擴張シ遂ニ奮進突擊以テ敵線ヲ突貫スヘシ

其六 隘路内部ニ於ケル攻防

隘路内部ニ於ケル攻防ハ長隘路上ニ於テチスモノナリ其利害ハ隘路前後方ニ於ケルモノヲ併有ス

單ニ敵ノ隘路通過ヲ扼止スル專守防禦ニアリテハ隘路内部ニ於テスルヲ利アリトシ隘路内部ノ戰鬪ハ概ネ持久戰ニ適スルモノトス要スルニ隘路内部ニ於ケル戰鬪ハ彼我同等ノ利害ヲ有シ兵力ノ優勢



ナルモノ最後ニハ其勝利ヲ得ルモノト云ハサルヲ得ス殊ニ本邦ノ如キ島國山地ニ於テハ到ル處山間ヲ通スル長隘路ヲ現存スルアリテ此種ノ戰鬪ヲナスコト蓋シ屢ナラン即チ此ノ山路狹隘ニ於ケル戰鬪ハ後章山戰トシテ述フル所ノモノヲ適用ス

### ●森林及ヒ住民地戰

森林及ヒ住民地ハ其戰術上ノ性能殆ント相類ス故ニ兩者ヲ通シテ同要領ノ件ハ同時ニ說叙シ其兩者中各別ニ異ル點ノミヲ各別ニ說述セントス

#### 其一 林森及ヒ住民地ノ利害

防禦上、ニ、及、ホ、ス、利、左ノ如シ

- 一 我部隊ヲ掩蔽スルヲ得
- 二 周邊並ニ内部ニ於テ障害物ヲ設ケ攻者ノ進入ヲ妨クルヲ得且ツ此等ノ工事ハ迅速容易ニ之ヲ構造スルヲ得
- 三 砲彈ノ破片及ヒ小銃彈ニ對シ掩體トナル
- 四 歩兵ハ委托射擊ヲ爲スノ便利アリ

防禦上、ニ、及、ホ、ス、害、左ノ如シ

- 一 通視ヲ妨ケ指揮困難動モスレハ兵力ヲ分離シ且ツ運動困難ナリ
- 二 森林及ヒ住民地内ニアリテハ多クノ掩蔽物ハ前進攻撃ノ障害タリ爲メニ局處ノ威力衰へ且ツ敵ノ迂回ニ應スルコト難ク之レガ爲メ更ニ守兵ヲ外部ニ配置シ以テ逆襲ヲ行フニ供シ且ツ



敵ノ迂回ニ備ヘサル可カラス

三 攻者一タヒ森林内ニ進入スルトキハ攻者守者ノ別ナク一様ニ紛亂スルニ至ル故ニ爰ニ至リテハ守者ノ利殆ント消滅ニ歸スルノミナラス多クノ場合ニ於テ其勝利ハ志氣ノ優勢ナル者ニ歸ス而シテ志氣ハ反ツテ攻者ヲ以テ盛ナリトス

四 森林ハ銃砲聲林内ニ反響スルト樹案ニ觸レル砲彈ノ破裂及ヒ之レカ爲メニ發折セル樹木ノ落下ノ爲メ志氣ヲ沮喪シ且ツ危害ヲ増加ス

住民地ハ砲彈ノ破裂ニ由テ瓦礫ヲ飛ハシ其害森林ニ異ナラス且ツ火災ノ危険アリ

以上第一第二項ノ害ハ掩蔽物ノ大ナルニ從ツテ益増加スルヲ以テ廣大ナル森林及ヒ住民地ハ良好ノ陣地トナスヲ得ス

其二 森林及ヒ住民地ニ於ケル防禦諸兵ノ用法

歩兵ハ防禦ノ主務ヲ擔當ス騎兵ハ前面ニ在テ搜索ヲナスコト能ハサルニ至テハ陣地ノ翼側ニ退却シテ警戒搜索ニ任シ襲撃ノ好期アレハ是レニ投ス又戰鬥利アルトキハ敗兵ヲ追撃シ若シ否ラサルトキハ追撃兵ヲ拒止ス

砲兵ハ攻撃砲兵ヲ壓倒スルカ然ラサルモ敵ノ砲撃ヲ森林又ハ住民地外ニ誘致シ然ル後其全力ヲ擧ケテ歩兵ニ當ルヘシ

砲兵ノ位置ハ森林又ハ住民地ノ側方ヲ可トス其後方ニ位置スルハ所要ノ場合ニシテ且ツ陣地大ニ隆起スル時ノミトス又此ヲ前方ニ位置セシムルハ宜シク避クヘシ蓋シ我歩兵ノ射撃ヲ妨害シ且ツ早ク其位置ヲ退却スヘキニ至ルカ否ラサレハ歩兵線中ニ混入シ其他敵ノ砲兵火ヲ森林又ハ住民地外ニ誘致セスシテ却テ之レヲ占領地ニ向ハシム

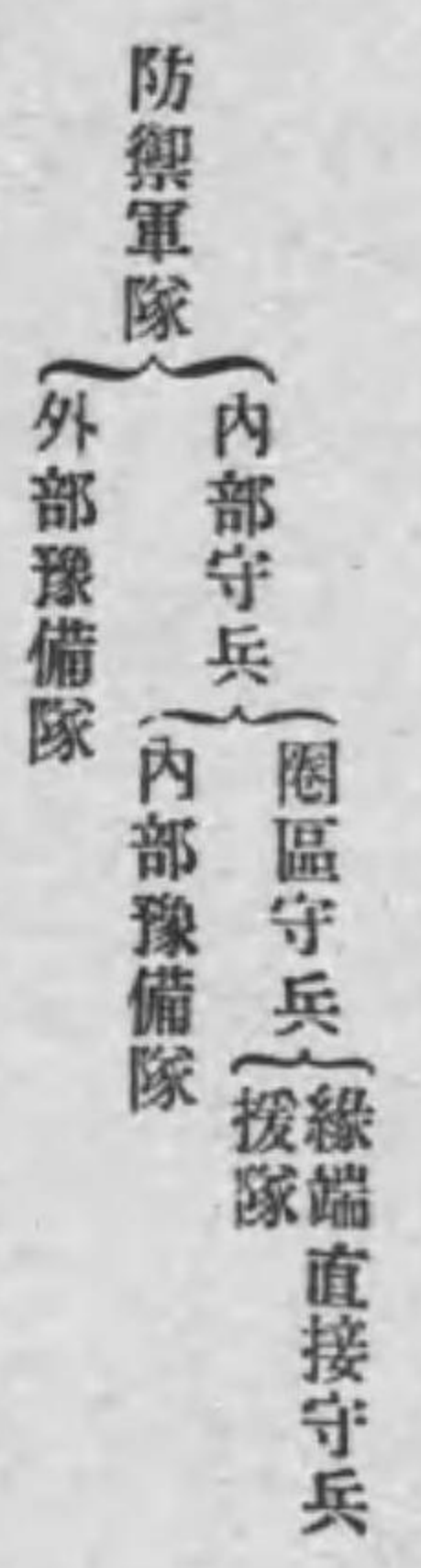


防禦圈區

ルノ害アリ殊ニ其戰ヒ不利ナルニ當ツテハ最モ危殆ナルモノナルヲ以テナリ

森林(住、民、地)ハ防禦ハ防禦圈區ニ分チ各圈區ニ成ルヘク建制部隊ヲ備ヘ各區毎ニ之レヲ防禦シ得ル如クス而シテ此圈區ノ境界ニハ凸角、道路、其他緊要ナル防禦點ノ現存セサルヲ要ス是レ此クノ如キ緊要點ハ多クハ敵ノ攻撃點トナルヲ以テ是等ノ守備ハ擔任ヲ明ニシ決シテ兩圈區ニ跨リ防禦ノ責任ヲ減少スルコトナキヲ要スレハナリ

森林(住、民、地)ノ守兵ハ之レヲ左ノ如ク區分ス



守兵ノ比

内部守兵ハ森林ニ在ツテハ一米ニ一人乃至二人ノ比ヲ以テ算ス但シ

單ニ障碍物ニ利用スル森林ニ在ツテハ二米ニ一人ト算ス又住民地ニ在ツテハ一米ニ二人乃至三人ノ比ヲ以テ算シ殊ニ緊要ナル住民地ハ一米ニ四人乃至五人ト算ス

右ノ比ハ固ヨリ大體ニ過キス情况、地形、防禦、編制ノ方法加何等ニ從ツテ差異アルハ勿論ナリ

内部守兵ノ三分一乃至四分一ヲ以テ内部豫備隊トシ殘餘ヲ以テ圈區守兵トス

圈區守兵ハ其二分一ヲ以テ椽端直接守兵ニ充テ殘餘ヲ援隊トス

外部豫備隊ハ成ルヘク多キヲ可トス少クモ防禦全軍隊ノ四分一乃至三分一ヲ以テ之レニ充ツルヲ要ス





内部豫備隊ノ任務

- 内部豫備隊ハ左ノ目的ニヨリ使用ス
- 一 敵ノ本攻點ヲ察知スルトキ縁端ノ守兵ヲ増加ス
  - 二 敵若シ森林住民地内ニ進入スルトキハ逆襲ヲ以テ之レヲ驅逐ス
  - 三 地障若クハ林空(住民地ニアリテハ複郭)ニヨリテ縁端守兵ノ退却ヲ收容ス

外部豫備隊ノ任務

- 外部豫備隊ハ左ノ任務ニ使用セラル
- 一 森林(住民地)外ニ於テ攻勢ヲ取リ決戦ノ局ヲ結フ
  - 二 敵ノ迂回ヲ防止シ凡ヘテ森林(住民地)外ヨリスル敵ノ動作ニ對抗ス
  - 三 特ニ必要ナルトキハ森林(住民地)内ノ守兵ヲ増加ス
  - 四 一旦縁端ヲ失フタルトキニ於テ回復攻撃ヲナス



- 五 戰鬪勝ヲ得タルトキ追撃ニ任ス
- 六 敗戦ニアリテハ守兵ノ退却ヲ掩護ス

其三 森林及ヒ住民地攻撃諸兵ノ用法

歩兵ハ本來ノ戰鬪ヲ負擔ス  
 騎兵ハ搜索警戒ノ外尙ホ攻撃砲兵ノ側面ヲ掩護シ敵ノ外部諸兵ヲ脅威スルコトヲ勉ム  
 砲兵ハ戰鬪中最大ノ効用ヲ致スモノナリ蓋シ砲兵ハ先ツ守者ノ砲火ヲ壓倒シ外縁殊ニ攻撃點ニ向テ集注射撃ヲ行フヘキナリ又森林若クハ住民地ノ周圍ニ設置セラレタル防禦工事ヲ破壊スルハ殊ニ此ノ砲兵ノ任トス

其四 森林ノ特性

森林ハ各邦土ニヨリテ其性質ヲ異ニスルヲ以テ一様ニ之ヲ論スル能ハス歐洲ノ森林ハ概ネ人工ヲ以テ培養セラレタルモノナレトモ我國ノ森林ハ多クハ天然ニ繁殖シタルモノニシテ人工培育ニナルモノ稀ナリ故ニ其形狀不規則ニシテ歐洲兵家ノ所謂凸角、凹角ヲ整然編制スルモノナシ歐洲ノ森林ニアリテハ篠木林ハ屢々通過ス可カラサルモ喬木林ハ隊勢ヲ調ヘテ通過スルコト容易ニシテ散開戰ニ支障アルコトナシト云フ之レニ反シ本邦ノ森林ニアリテハ斯ノ如キモノハ殆ント見出スヲ得ス只タ一小部隊ノ通過シ得ルハ大ナル松林、杉林ノミニシテ菓物畑及ヒ槽林ノ如キハ樹木ノ大ナルモノノミ步兵ノ通過ヲ免スヘシ其外ハ僅ニ單獨ノ歩兵ヲ通過セシムルニ過キス森林ノ性質夫レ斯ノ如シ即チ我邦ノ森林ニ在ツテハ前(其一)ニ述ヘシ森林ノ利益ハ大



ニ減少シ只タ障碍物ニ利用シ得ルト我軍隊ノ運動ヲ蔭蔽シ得ルトニ過キス防禦線ノ支撐點ヲナスニモ足ラス且ツ又大ナル部隊ヲ容ルハ我國ノ森林ニ於テハ殊ニ避ケサルヘカラス歐洲ノ如キ森林ニ於テスラ森林ハ兵ヲ吞ムト諺ニ傳ヘ大兵ヲ森林内ニ入ル、コトヲ忌ムナリ況ンヤ我國ノモノ、如キ交通路全クナク又林内殆ント交通ノ出來サルモノニ在ツテハ若シ多兵ヲ之レニ入レシメハ全ク之ヲ失フト同一ナリ譬ヒ交通路ヲ設ケ運動ヲ容易ナラシメント欲スルモ其作業大ニシテ且ツ困難ナリ從ツテ時間ヲ費スコト多ク時機之レヲ許サ、ルコト通常ナリ故ニ我邦ノ如キ森林カ防禦線上ニ森林ノ存在スルトキハ其林縁ニ障碍物ヲ作り茲ニ敵兵ノ進入スルヲ妨ケ且ツ該處ニ其障碍物ヲ掩護シ得ル丈ケノ兵ヲ配置セハ足レリ其他ノ兵隊ハ森林ノ側方又ハ後方ニ置テ遊動防禦ニ任セシムルヲ可トス

其五 森林ノ防禦

決戰ヲ目的トスルトキニアリテハ森林ハ攻撃ニ轉スルコト難ク唯タ林縁ニ據ル所ノ守兵ヲ以テ戰鬥ヲ支柱シ援隊豫備隊等ハ戰ノ初期ハ森林ニヨリテ掩蔽シ敵ノ接近スルニ當リ之レヲ林外ヨリ使用シテ決戰ヲナスヲ良トス故ニ森林ハ一ノ補助物タルニ過キス之レニ反シテ專守防禦ニアツテハ森林ヲ利トシテ採用スヘキモノナリ  
森林甚タ廣大ニシテ林外ノ運動ヲ免サ、ルトキハ宜シク森林ノ前方ニ出テ、陣地ヲ占領シ森林ハ唯タ援隊豫備隊ヲ蔭蔽スルノ用ニ供ス可シ若シ廣大ナル林縁ニヨリテ防禦セントスルトキハ左ノ如キ不利起ラサルヲ得ス

- 一 砲兵ハ歩兵ト同一線ニ置カサルヲ得ス
- 二 此ノ如ク配置スル砲兵ハ一度其位置ヲ失スルトキハ他ノ陣地

廣大ナル森林  
防禦ノ不利



森林戦闘線  
ノ前方ニア  
ル場合

ヲ取ル能ハス果シテ然ラハ林縁争奪ノ最終期ニ於テハ砲兵ノ  
用ヲ全ク失スルニ至ル

森林戦闘線ノ前方ニアリシ場合ニ於テハ我レ攻撃ニ轉シテ前進スル  
ヲ豫期スルトキノ外ハ占領ス可カラズ若シ之レヲ占領スルトキハ其  
全部ヲ吾有トナシテ堅固ニ是ヲ防守スルニアラサレハ却テ前進哨ノ  
不利ヲ招クニ至ルヘシ若シ又是ヲ占領セサルトキハ敵兵之レニ依リ  
テ攻撃ヲ秘匿スルコトヲ得且ツ其兵力ヲ掩蔽スルヲ得ルカ故ニ森林  
ノ利ハ變シテ却テ守者ノ危険物トナルヘシ即チ此クノ如ク戦闘線前  
ニアル森林ニシテ當時ノ情况之レヲ占領スルヲ不可トスル場合ニ於  
テハ防禦線ヲ轉換セサルヘカラス

森林ノ後方ニ退テ防禦線ヲ取ルトキハ其後方砲兵ノ射距離迄ハ少ナ  
クトモ退カサルヲ得ス斯クスルモ尙ホ未タ完全ナリト云フ能ハス故

森林が戦闘  
線ノ後方ニ  
アル場合

森林が戦闘  
線ノ側方ニ  
アル場合

ニ防禦線ノ前方ニ森林ヲ控ユルニ代ヘ此ノ森林ノ前方ニ出テ、防禦  
スルヲ却テ得策トスルコトアリ其孰レニシテ可ナルヤハ林外一般ノ  
地形ニ依リテ決定セラル、モノトス

防禦線上或防禦線ノ後方ニアル森林ハ常ニ是ヲ占領シ置クヲ可トス  
是レ或ハ戦闘線ノ支撐點トナリ或ハ軍隊ノ運動ヲ庇蔭スルノ利アレ  
ハナリ其防禦線上ニアルモノハ其林縁ヲ悉ク我有ニ歸セサル可カラ  
ス但シ甚シク前方ニ突出シテ突角ヲ成形シ己カ爲メニ不利ナル部分  
ハ全ク伐木掃除スルカ或ハ相當ノ防禦工事ヲ設クヘシ又其後方ニア  
ツテ大森林ナレハ交通ヲ妨ケサル爲メニ通路ヲ設ケサルヘカラス又  
防禦線ノ側面ニ森林ヲ控ユルモノハ往々側面ノ良好ナル支撐點トナ  
ルモノアレトモ之レヲ占領スルコト能ハサルトキハ却テ大ニ危険物  
トナルナリ何ントナレハ敵ハ之レニ遮蔽シテ吾背後ニ進出スルコト



ヲ得レハナリ

森林ニハ成ルヘク少数ノ兵ヲ入レテ防禦スルヲ可トス多兵ヲ入ルハ混雜ノ基ナルノミナラス防禦編制ヲ施シタル森林ヲ守備スルニハ多兵ヲ要セサルナリ即チ森林内ノ守兵ハ成ルヘク之レヲ減シ其節約シタル兵數ヲ以テ外部豫備隊ヲ増スヲ可トス必竟スルニ外部豫備隊ヲ多クシテ活氣アル遊動防禦ヲナスハ森林防禦ノ必要タリ

守兵ノ動作

森林ノ直接防禦ニ任スル守兵ハ攻撃兵漸次近クニ從ヒ其受持ノ圈區ニ趣キ其攻撃點愈々明了トナリタルトキ初メテ援隊ハ其點ニ赴援シ豫備隊ハ是レニ近接ス敵兵林端ニ入ルトキハ守者ハ力ヲ竭クシテ之レト林縁與奪ヲ爭フモノニシテ此ノ際尤モ激戰ノ起ルモノナリ守者ハ唯タ猛烈果敢其後方ニ豫備ヲ以テ突進之レニ衝突スル外他ノ手段ナシ換言スレハ成ヘク團結シタル兵ヲ以テ突撃スルノ外ナキナリ此ノ

時ニ於テ假令攻撃兵ガ林外ニ驅逐セラル、モ森林直接防禦ノ兵ハ之レニ附隨シテ猥リニ追接スヘカラス若シ森林ヲ離レ尾撃シテ敵ノ返撃ニ遭遇セハ攻者ハ防者ニ尾シ共ニ林内ニ進入シ來リ直チニ森林ヲ失フニ至ルヘシ即チ敵兵退却スルトキ追撃ニ任スルハ外部豫備隊ノ任ナリ森林直接ノ守兵ハ只タ射撃ヲ以テ追撃ヲ應援セハ足レリ

其六 森林ノ攻撃

此攻撃法ハ後ニ述フル村落ノ攻撃法ト其要領ニ於テハ同一ナルモノニシテ先ツ第一ニ攻撃點ヲ偵察スルヲ要ス其要件左ノ如シ

森林攻撃點ノ偵察

- 一 森林近傍ノ地形
- 二 森林周邊ノ景况防禦設備ノ種類
- 三 周邊ノ弱點



## 四 突角ノ位置

## 五 森林ヲ迂回シ或ハ貫通スル道路ノ有無

右ノ偵察ヲ終リタル後攻撃方法ヲ決ス元來森林内ノ侵入ハ亂戦トナルモノナルヲ以テ成ルヘク森林内ニ侵入スルニ至ラスシテ砲撃或ハ迂回包圍等ニ由テ既ニ敵兵ハ森林ヲ棄テ退却スルノ餘義ナキニ至ル如クスルヲ可トス即チ通常其方法ハ正面ヨリ迫ルノミナラス迂回又ハ包圍ヲ以テ之レヲ陷ルヲ通則トス迂回ヲ爲ス時ハ其正面ニ當ル必要ノ兵ヲ之レニ殘シ置クノミニテ主ナル戦闘ハ林外ニ於テナスモノナリ即チ守者ヲシテ森林ノ利益ヲ充分利用スル能ハサラシムルコトヲ計ルニアリ之レニ依テ之レヲ見ルモ前ニ述ヘシ如ク防者ハ多兵ヲ林内ニ入ル、ハ利益ニアラサルナリ然リト雖モ時トシテハ森林ハ防禦線ノ一部トナリ必ラス其正面ヨリ攻撃セサルヘカラサルコトアリ

此時ニ當リテハ先ツ砲兵ヲ以テ準備火戦ヲ行フヲ必要トス此砲兵ハ成ルヘク攻撃點タル林縁ヲ縦射シ得ヘキ點ニ位置シテ以テ此攻撃點ニ彈丸ヲ雨注シ守兵ヲ掃ヒ且ツ障礙物ヲ破毀シ尙ホ守兵ノ砲兵ヲ沈黙セシムルコトヲ勉ム若シ此準備火戦充分ナラサルニ先タチ攻撃ヲ施ス時ハ假令攻撃其功ヲ奏スルモ大ナル損害ヲ受ケ或ハ不幸實ニ甚シク全ク失敗ヲ來スコトアリ

砲兵ノ準備成ル後始メテ歩兵ハ攻撃ヲ始メ林内ニ近ツクニ至レハ躊躇スルコトナク直チニ銃槍突入ヲナシ一旦林内ニ進入セハ成ルヘク守兵ニ尾附シテ森林ノ後端ニ達スルコトヲ勉ムヘシ此時ニ當リテハ指揮區々ニシテ唯タ勇敢ナル者其目的ヲ遂クルナリ攻者若シ守兵ニ尾附シテ進ム能ハサルトキハ成ルヘク集團シ得ル丈ケノ兵ヲ掌握シ前方ニ斥候ヲ放ツテ進ムヲ要ス否ラサレハ林内ニ於テ密集隊ノ突撃



ニ遭遇スルニ當リ之レニ抵抗スル能ハサルナリ  
攻者林内ヲ占領シタル後ハ林内ニ多兵ヲ入ル、ノ不利ハ守者ニ於ケ  
ルト同シク即チ豫備隊ハ之レニ續行セスシテ林外ニ進ミ林外ニ於テ  
勝ヲ制スルコトヲ勉ムヘシ此ノ豫備隊ノ戦闘ハ以テ全般ノ局ヲ結フ  
モノトス攻者勝ヲ制シテ追撃スルトキハ守者ニ於ケルト同シク林縁  
ヲ占領セル者ハ紊リニ進出スルコトナク豫備隊ヲシテ追撃ニ任セシ  
ムヘキナリ

其七 住民地ノ特性

歐洲ニ於テハ常ニ村落ハ支撐點ノ用ヲナスモノナルヲ以テ戰場ニ村  
落アレハ必ス之レヲ占領シ防禦上大ニ利益アルモノトス即チ其部落  
ヲ占領スル所ノ守兵及ヒ其後方ニアル守兵ノ數ヲ識別スルコト能ハ

本邦住民地  
ノ性質

サラシメ又防禦者ハ之レニヨリテ攻者ノ彈丸ヲ遮蔽スルノ利ヲ得猛  
烈ノ戦闘ヲ以テ一時ニ其部落ヲ陥レラル、ト少ナク持久ノ戦闘ヲナ  
スニ適ス然レトモ吾邦ノ家屋ハ木造ニシテ且ツ屋壁ハ土製ニシテ薄  
ク戸扉ハ紙若クハ薄板ヨリナリ屋蓋ハ多クハ草葺ニシテ歐洲各國ニ  
於ケル煉瓦若クハ石造ヨリナルモノト大ニ其趣ヲ異ニス  
今本邦ニ於ケル住民地ノ性質ヲ概記スレハ左ノ如シ

一、家屋ハ砲彈及ヒ小銃彈ニ對シ抵抗力ナキノミナラス火災ニ懼  
リ易シ

二、住民地及ヒ家屋ノ周圍ニハ牆壁溝壕アルモノ少ク多クハ薄弱  
ナル籬笆ノ存スルニ過キサルヲ以テ堅固ナル防禦線タルノ性  
質ニ乏シ

三、住民地ノ形狀ハ概ネ道路ニ沿フテ延長シ其短方面ハ常ニ薄弱



ナリ

四、内部ニハ防禦ノ中樞タルベキ堅牢ノ建築物ナキノミナラス籬笆竹柵等ノ爲メ交通ニ尤モ不便ナリト雖亦タ反對ニ敵ガ之レヲ除去破壊スルコトモ亦タ容易ナリ

性質此クノ如ク之レヲ歐洲ノ者ニ比スレハ戰術上ニ及ホス影響ノ差違甚シキモノト云フ可シ故ニ歐洲ノ住民地戰トシテ唱導スル原則ハ本邦ニ於テハ全ク採用スルヲ得ス今日本邦ノ住民地ニ於ケル戰術ノ原則トシテ概ハネ左ノ標準ニ從フモノトス

一、住民地ハ戰鬪上掩蔽物トシテ使用スルヲ得ルモ防禦陣地トシテハ不適當ナリ

二、住民地ヲ掩護シ或ハ之レヲ防禦點トシテ用ヒントスルキハ是ヨリ離隔シテ陣地ヲ占メ住民地其者ハ單ニ諸部隊ヲ蔭蔽スル

ルノ用ニ供スルニ過キス

三、砲兵ハ成ルヘク住民地ヲ離レテ陣地ヲ占領スルヲ要ス  
住民地ハ歐洲ニ於テハ村落、部落、市街等各其ノ種類ヲ分ツテ戰術ノ影響ヲ究研スルノ必要アレトモ本邦ニ於テハ元來家屋ノ構造及ヒ成立前陳ノ如ク各別ニ區別シテ深ク究研スルノ必要ナシ

其八 村落ノ防禦

村落ハ通視困難交通不便ナリトス故ニ軍隊ノ指揮困難ニシテ之レヲ防禦センニハ各部隊ヲシテ各防禦區ヲ定メ各部毎ニ是ヲ防禦スルコト亦森林ト同要領ナリ而シテ其兵力分配ノ方法モ亦既ニ説キシカ如シ  
凡ソ村落防禦ノ軍隊ハ第一ニ其諸部隊ヲシテ其守備スヘキ點及ヒ之



内部守兵ノ  
動作

レニ達スル交通路ヲ好ク了解セシメ而シテ敵ノ砲戦間即チ敵ノ砲兵  
ガ遠距離ニアル間ハ守兵ハ村落外ニアリテ其身ヲ蔭蔽シ只タ村落内  
ニハ防禦線ノ監視ニ任スルモノト防禦設備ニ従事スルモノト歩哨ノ  
任務ニ服スルモノ丈ケヲ留メ置クナリ但シ其奇襲ヲ受クルノ悉アル  
トキハ是レニ應スル兵ヲ入レ置クナリ而シテ是等村落内ニ居ル部隊  
中其必要ナル場所ニ於テ目下差當リ用事ナキモノハ敵砲ノ放列ノ方  
向ニ反對セサル面壁ニ添フテ掩蔽シアルモノトス蓋シ此ノ方法ハ砲  
彈ノ爲メ屋上ヨリ飛來スル瓦礫ニ對シ危険少ナケレハナリ而シテ敵  
ガ近接スルニ及ヒ初メテ各部隊ハ受持ノ圍區ニ就クナリ内部豫備隊  
ハ敵ノ攻撃點ヲ察知シテ其點ニ向ツテ増加ス即チ敵ノ砲兵カ開キタ  
ル破墻孔ハ通常攻撃點トナルモノナリ故ニ此部ニ向ツテ増加スルヲ  
通常トス又敵ガ村落内ニ入リシトキハ是ニ向ツテ逆襲ヲ行フ敵若シ

## 外部豫備隊

退却セハ之レヲ追撃セサルコトハ森林ニ於ケルト同シ

外部豫備隊ハ森林ニ於ケルト同様其防禦ニ於テハ極メテ必要ナルモ  
ノナリ故ニ其兵員ハ勉メテ大ナルヲ要ス決戦ノ目的ヲ有スルカ或ハ  
戦闘線中極メテ必要ノ支撐點トナル村落ニハ少クモ内部守兵ト同等  
ナル外部豫備隊ヲ備フルヲ要ス併シ村落或ハ防禦線中ノ一部分ニテ  
極メテ小ナルトキハ特別ニ外部豫備隊ヲ備ヘス此時ハ防禦線ノ一般  
豫備隊ガ此外部豫備隊ノ任務ヲ兼スルナリ

## 砲兵ノ用法

砲兵ハ敵ノ砲兵ト交戦スルトキハ早晚撲滅セラレ、ヲ考慮シ成ルヘ  
ク砲戦ヲ交エサルヲ得策トス此時ニハ砲兵ハ特種ナル任務ヲ有スル  
モノニシテ村落ノ前方ヲ側防シ攻撃隊ノ接近セシトキ之レヲ撃退ス  
ルニアリ然シ我砲兵ハ堅固ナル掩蔽物ニヨリ攻者ノ砲兵カ暴露スル  
トキハ我カ砲數少ナシト雖トモ時トシテハ敵ト砲戦ヲ試ムルヲ利ト



スルコトアリ故ヲ以テ最初ヨリ敵ト砲戰ヲ試ム可キカ又ハ前陳ノ如キ特種ノ任務ニ服スヘキカヲ判決スルハ時ノ狀況ニ從フモノトス  
 砲兵ハ如何ナルトキニ於テモ村落内ニ置クヘカラス若シ村落内ニ入ルトキハ敵兵ヲ展望スルコト充分ナラスシテ射界狭マク又家屋ニ觸レタル彈丸ノ破烈ニ由リテ瓦礫ノ破片ヲ飛ハシ殊ニ火災ノ媒介トナリ村落内ニアル彈藥ハ非常ニ危險ナリ  
 又砲兵ヲ村落ノ前方ニ置クノ不利ナルハ森林ニ於ケルト同シ  
 故ニ砲兵ハ村落ノ側方ニ於テ村落ヲ側防セシムル如クスルヲ可トス  
 若シ村落ノ後方ニ高地アリテ長ク前方ヲ展望スルコトヲ得レハ此ノ所ニ砲兵ヲ置クヲ可トス

其九 村落ノ攻撃

村落攻撃ノ偵察

村落ノ攻撃ハ前陳(其六)森林ノ者ト同要領ニシテ之レヲ攻撃スルニ偵察スヘキ點ハ次ノ如シ

- 一 村落近傍ノ地形ノ状態
- 二 村落周邊ノ結構
- 三 其周邊ノ弱點
- 四 突角ノ位置
- 五 村落ヲ迂回シ或ハ貫通スル道路ノ有無

以上偵察ノ結果ニ依リテ攻撃點ノ攻撃法ヲ定ム  
 此攻撃ノ方法ヲ定ムルニハ第一ニ次ノコトヲ監査セサルヘカラス、村落攻撃中ニ於テ家屋攻撃ノ如キハ最モ殘忍ノ激戰ヲ生スルモノナリ故ニ爲シ得レハ只其外縁ヲ占領シタルノミニテ戰鬪ノ結局ヲ告ク  
 ル如クスルヲ良シトス是レカ爲メニハ迂回シテ之レヲ陥シ入ルヲ



得レハ最良ナリ或ハ地形ニ由リテ包圍スルコト能ハサレハ猛烈ノ砲撃ヲ行フテ之レヲ燒キ拂フコトヲ計ルヘシ或ハ砲撃ノミニテ守兵ヲシテ村落内ニ留マルコト能ハサラシムルコトヲ務ムヘシ村落ヲ攻撃スルニ決定セハ歩兵ヲ以テ攻撃スル以前ニ先ツ砲兵ヲ以テ充分ニ猛烈ナル準備火戦ヲナサ、ルヘカラス其目的ハ村落ノ外圍ト村落最前ノ家屋ニ向ツテ砲撃シ以テ守兵ヲ村縁ヨリ驅逐シ特ニ攻撃點ニ破塙孔ヲ作ルニアリ且ツ村落内ニ火災ヲ起サシムルコトヲ計ル此等ノ砲兵ノ準備火戦ハ極メテ必要ニシテ之レヲ放擲シテ攻撃スル時ハ非常ナル損害ヲ受クルノミナラス其結果全敗ニ陥ルコトアリル前ニモ述ヘシ如ク尤モ望ム所ノモノハ村落ヲ包圍シテ其側面ヲ攻撃スルニアリ村落ニシテ側面ヲ脅カサレタル時ハ守兵ハ非常ニ危険ナリトノ感念ヲ懷キ爲メニ屢々堅固ニ守ル村落ヲ棄テ、退却スルコトア

リ村落ニ侵入スルトキハ工兵ヲ引率シテ借ニ至リ以テ砲兵ノ作りシ破塙孔ヲ充分ニ開大シ攻撃兵ハ成ルヘク同時ニ村落内ニ侵入スルヲ可トス

村縁ニ侵入シタル時ハ猛烈ニ追撃シテ尙ホ前進シ守兵ヲシテ更ニ後方家屋ニ據ルノ猶豫ナカラシムヘシ此時ニ當リテハ指揮ハ區々トナリ只タ各人ノ勇敢ト將校等ノ率先トニ依頼スルノ外ナシ即チ勇敢ナルモノ勝ヲ制スルナリ

村落ノ攻撃ニ於テモ豫備隊ハ攻撃本隊ノ側面ヲ掩護スルコトハ勿論攻撃本隊村縁ニ達セハ速カニ村落ノ側方ニ進ミ村落ヲ迂回シテ其後方ニ出ツルコトヲ計ラサルヘカラス此ノ迂回ハ村落ノ内ニ止マル殘部ノ守兵ノ志氣ヲ阻喪セシメテ其村落ヲ放棄セシムルニ大ナル効力アルナリ日本ノ村落ハ防禦ニ適セサル故村落ノミヲ防禦スルコトハ



アラス只タ防禦線上ニ横ハル村落ガ防禦セラル、ノミナリ此ノ時ニ於テ村落ハ防禦線中ノ弱點ナレトモ之レヲ攻撃スルニ其村落ニ據ル所ノ守兵ト戦フモノニアラス只タ其村落外ニ在ル守兵ヲ適當トス村落外ノ守兵ニ勝ヲ制スレハ村落内ノ守兵ハ自然ニ退却スルニ至ルヘシ歐洲村落ニテモ迂回或ハ包圍ヲ行フ時ニハ斜射ノ効力ガ其村落ヲ保守スル能ハサルニ至ラシムルナリ況ンヤ日本ノ如キハ只タ障得力ノミナル故迂回スル時ハ忽チ陷ルモノナリ即チ日本ノ村落ハ防禦線上ニ在ツテモ之レニ向ツテ攻撃スルコトハ全ク稀ナルモノナリ

其十 延長ナル住民地及ヒ森林ノ出口ニ於ケル戦闘

森林及住民地ノ出口ハ騎兵及砲兵ノ爲メニハ通常隘路トシテ考ヘラル故ニ有効ノ火力ヲ以テ出口ニ注射シ得ヘキ地ニ位置スルモノハ次

ノ利ヲ有ス

- 一 攻者即チ隘路ヲ進出スル所ノモノハ初メ只タ歩兵ノミヲ展開シ得ルノミ故ニ砲撃ヲ以テ準備戦ヲナス能ハス砲兵及騎兵ハ危険ヲ冒カシテ兵力ヲ分割シ射程外ヲ迂回セサルヲ得ス
  - 二 攻者ハ住民地森林内ニ兵隊ヲ敷置シテ戦闘セサルヲ得シテ動モスレハ隊次ヲ混乱シ且ツ命令ノ誤解ヲ免カレサルヘシ
- 上文ニ反シ攻者ハ住民地森林地内ニ於テ蔭蔽ノ利ヲ有シ又不意ニ側方ニ現出スルヲ得

其十一 市街戦

大都府ノ内部ニ於ケル戦闘ハ甚タ混乱ヲ起コスモノナリ防者ハ市街ノ家屋並ニ街衢ニ防禦工事ヲ施コシ之レヲ守備セルヲ以テ是レヲ攻



撃スルハ家屋及ヒ庭園ヲ破壊シテ市街ノ一側ヲ貫通シ以テ敵カ某點ニ於テ施セル阻絶或ハ其他防禦工事ニ達スルカ或ハ直チニ威力ヲ以テ道路上ヨリ阻絶或ハ其他防禦工事ニ向ツテ突進スルカニアリ市街内ニ於テハ砲兵ノ使用殆ントナシ概ネ之レヲ使用スルハ道路上ニ一二門ヲ備ヘ道路ヲ縦射シ若クハ防禦工事ニ對シテ砲撃スルニ過キス要スルニ市街内部ノ戦闘ニ於テハ銃劍ヲ振ヒ威力ヲ以テ雌雄ヲ決スルノ外ナシ

### ●河川ノ戦闘

#### 其一 總論

河川ハ戰術上ニ影響ヲ及ホスコト大ナルモノニシテ即チ側面ノ依托

或ハ正面ノ障害トシテ大ニ防禦上ニ利ヲ與フルモノナリ然レトモ河川ハ水流ノ廣狹、深淺、流水ノ速力、兩岸ノ形狀、河岸ノ形狀ニヨリテ其價值ヲ異ニス、流水淺キトキハ大障碍トナラス故ニ障碍力ヲ益サンニハ氾濫ヲ作ルヲ要ス然レトモ此ノ事タルヤ困難ナル作業ニシテ野戰ニアリテハ應用スルコト難シ若シ鐵道ノ堤防ノ如キモノ幸ニ水流ニ直角ナル位置ニアルトキハ之レヲ利用シテ作ルニ過キス然ルトキハ其近傍全體ノ地形極メテ水平ナルニアラサレハ大ナル功ヲ呈スル能ハス抑モ橋梁ニ由ラサレハ通過シ得ベカラサル如キ水流ニ於ケル戰鬥ハ攻者橋梁ヲ架シ以テ對岸ニ達センコトヲ勉ムルト守者其ノ架橋作業ヲ妨害セントシ或ハ攻者尙ホ未ダ適當ノ兵力ヲ以テ此岸ヲ占領スル能ハサルニ先タチ全力ヲ以テ是レヲ攻撃スルトニアリ架橋作業ハ敵火ノ下ニアリテハ殆ント之レヲ行フコト能ハス故ニ攻



者ハ宜シク敵ヲ欺騙シ其不意ニ出テ、是レヲ行フカ或ハ遠距離ノ迂回ヲナサ、ルヘカラス故ニ、水流ノ防禦ハ常ニ時間ノ猶豫ヲ得ルモノハニシテ能ク持續戰ノ目的ニ適當スヘシ

其二 河川ノ防禦

攻者、守者ノ利害

水流ハ延長ナル障碍物ニシテ防禦者ヲ廣長ノ區域ニ依テ能ク掩護ス然レトモ之レニ據テ防禦スルニモ亦非常ニ困難ナル點種々アリ何トナレハ攻者ハ水流ヲ容易ニ渡リ得サルト同時ニ防禦者モ亦タ之レヲ超ヘテ前進スル能ハス之レカ爲メ攻撃者ハ水流ヨリ前方ノ地區ニ在ツテハ自由ノ運動ヲ爲シ能フヘク則チ攻者ハ河岸ニ沿フテ若干ノ哨兵ヲ配置シテ其運動ヲ蔭蔽シ其目的ヲ秘シ能フベク之レニ反シ防者ハ容易ニ敵ノ渡過點ヲ知ルコト能ハス又假令攻者カ強行手段ヲ以テ

河川防禦ノ注意

或ル一點ヨリ渡河シ來ルモ防者ハ河ヲ超ヘテ之レヲ妨クル能ハス且ツ防者ハ愈敵ノ渡河點ヲ知ルモ此渡河點タルヤ防者ノ位置ヨリ遠ク上流或ハ下流ニシテ爰ニ至ルノ距離遠大ナレハ遂ニ敵ノ渡河ヲ妨クル能ハサルコト屢アリ然リト雖トモ攻者ハ渡河ニ有利ナル且ツ防者ノ警戒少ナキ點ヲ撰ンデ渡河シ來ルハ殆ント疑ヲ容レザル所ナリ故ニ水流ノ方向並ニ其近傍ノ地形ヲ精細ニ研究シ以テ考察ヲナセハ概ネ敵ノ撰ンデ渡河點トスヘキ場所ハ知り得ヘキナリ然ラハ守者ハ是等ノ點ヲ監視シ愈敵ノ渡過點ヲ看破シタル後迅速ニ之レニ向テ前進シ得ル如ク軍隊ヲ配置スルヲ要ス凡ソ河川ヲ防禦スルニハ前陳ハ如ク困難ナル者ナレハ之レヲ防禦スルニ當ツテハ微少ノ事ニ至ル迄深ク注意シ置カサルヘカラス

一 平時ヨリ通過ニ使用セル橋梁淺瀬等ニシテ若シ防者之レヲ用



- 二 ヌル必要ナキ時ハ之レヲ破壊スヘシ而シテ尙ホ爰ニ哨兵ヲ配布シ嚴ニ監視スルヲ要ス蓋シ此等ノ點ハ敵方ヨリ通スル便利ナル道路ナルヲ以テ敵ハ再ヒ修理シテ渡河ヲ企ツレハナリ舟筏等架橋ニ應用シ得ル材料ハ之ヲ破毀スルカ或ハ我岸ノ方ニ運搬シ敵ノ使用ニ供セサラシム
- 三 敵カ諸材料ノ運搬ニ使用スヘキ鐵道其他諸材料ヲ破壊ス
- 四 水流ノ全長ニハ絶エス警戒ヲ加フルヲ必要トス故ニ敵ノ優勢ナル部隊カ河川ニ近接セサルニ先タチ前方ニ騎兵ヲ派出シテ遠ク搜索セシメ敵若シ接近シ來ラハ騎兵ハ兩翼ヲ遠ク搜索スヘキナリ
- 五 前哨ハ注意周到ニシテ便ナル通信法ヲ設クルヲ要ス
- 六 凡ソ攻者ガ渡過セントスル以前ニハ綿密ニ其渡河點ヲ偵察ス

- 七 ル者ナルヲ以テ此敵ノ偵察ノ動作ニ由テ彼ノ目的ヲ看破シ得ルコトアリ而シテ是等ノ敵ノ偵察者カ河川ニ接近シ來ルモ之レヲ攻撃驅逐スルヨリハ寧ロ其目的ヲ察知スルコト必要ナルガ故ニ極メテ彼ガ近接スルマテハ之ヲ射擊セサルヲ可トス是レ彼ヲシテ中途ニ於テ其動作ヲ止メ我ニ目的ヲ察知セシムル丈ケノ材料ヲ現ハサスシテ去ラシムルコトナキカ爲メナリ
- 八 河川中極メテ必要ナル場所ニシテ敵ノ偵察動作ハ果シテ眞ナルカ將タ偽ナルカヲ看破スルニハ熟練ノ將校ヲ爰ニ派遣スルヲ要ス
- 九 夜間ニ在ツテハ斥候ヲ小舟ニ載セ上流下流ヲ上下シテ以テ警戒スルヲ要ス此方法ハ暗夜ニ在リテモ能ク敵ノ動作ヲ知リ得ルモノリ



九

敵ガ蔭蔽シテ架橋準備ヲナスニ便ナル點即チ敵方ニ支流アリ  
テ此支流中ニテ準備シ得ル等ノ場所ハ堅固ニ監視注意スルヲ  
要ス而シテ一度架橋準備ノ徵候ヲ見タレハ直チニ歩兵一二中  
隊ニ若干ノ騎兵ヲ附シテ派遣スヘシ又必要ニ際シテハ若干ノ  
砲兵ヲ之レニ加フ此隊ハ隘路ノ後方ニ於ケル如ク陣地ヲ占メ  
テ敵ノ架橋作業ヲ妨害ス其他橋梁破壞ニ必要ナル準備ヲナシ  
置クヘシ

十

河川全般ノ防禦ニ任スル主力ハ敵ノ渡過ヲ計ルノ患アル點ニ  
迅速ニ前進シ得ラルヘキ點ニ於テ集團シテ位置シ決シテ最初  
ヨリ河川ニ沿フテ一連不斷ニ兵力ヲ展開スヘカラス而シテ敵  
ガ愈々渡河スル時ニ當リ之レニ向ツテ前進シ以テ其渡河ヲ妨害  
スルカ或ハ既ニ渡河スル者ヲ驅逐ス所謂敵ノ半渡ヲ擊ツナリ

決シテ其主力ハ輕忽ニ動クヘキモノニアラス若シ敵ノ陽動ニ  
牽制セラレテ之レニ向ツテ運動スル如キコトアラハ實ニ一大  
失計タルヘシ即チ後ニ至リ眞實ノ渡河點ヲ知ルモ全ク之レニ  
應スル能ハサルニ至ルヘシ

水流ノ防禦法ハ大畧以上ノ如クナレトモ此防禦ハ元來困難ナルモノ  
ナル故適當ニ之レヲ防禦セント欲セハ己レ先ツ攻者ノ位置ニ立チテ  
如何ニ之レヲ攻撃スルヤヲ考ヘ然ル後此防禦法ヲ考フルハ極メテ緊  
要ナリトス

其三 河川ノ攻撃法

河川ハ屢々作戦中遭遇スルモノニシテ之レヲ渡ルニハ屢々危険ニ出會ス  
ルモノトス故ニ之レヲ攻撃スルニ當リテハ極メテ微細ノ事ニ至ルマ

架橋點ニ關  
スル總説



テ注意シ自己ノ利益ナル件ハ悉ク之ヲ應用スルヲ要ス而シテ其渡河  
 點ハ何レノ地點ニ撰フモ可ナル如シト雖トモ其地域ハ戰略上ノ目的  
 ヲリ、制限セラレ、自ラ、限界ノ生スルモノナリ、此、限、界、内、ニ、於、テ、何、レ、ハ、點  
 ヲリ、渡、ル、ヘ、キ、カ、ハ、戰、術、上、ノ、目、的、ヨ、リ、決、セ、ラ、ル、ハ、モ、ノ、ナ、リ、  
 平時交通シアル橋梁等ニシテ其位置戰術上ノ要旨ニ合セハ渡過點ト  
 シテ尤モ良好ナルモノナリ夫レ總テノ道路ハ橋梁ニ向ツテ幅狹スル  
 モノナルヲ以テ軍隊ノ運動便利ヲ得又橋梁ノ前方ニ至ルモ諸方向ニ  
 道路ハ擴張シ渡河後ノ運動モ容易ナリ假令在來ノ橋梁ハ既ニ敵ニ由  
 ツテ破壊サレアル時ト雖トモ戰術上ノ要求ニシテ充足セハ其附近ニ  
 於テ架橋スルヲ可トス然ルトキハ架橋材料等ノ運搬上尠カラサル便  
 利アリ之レニ反シ橋梁ノ位置ニシテ若シ戰術上ノ要求ヲ充足セサラ  
 ンカ他ノ場所ニ於テ渡河點ヲ求メサルヘカラス

架橋點鑒定  
ノ要領

凡、ソ、架、橋、點、ヲ、撰、ム、ニ、ハ、比、隣、ノ、地、河、川、ノ、形、狀、狀、態、ヲ、顧、慮、セ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、  
 ス、

- 一 比隣地ハ材料運搬ニ適スル良好ノ道路ヲ有シ架橋點ノ附近ハ  
 軍隊ノ運動自由ヲ妨ケサル爲メ沼澤地等諸障礙ノ存在セサル  
 ヲ要シ且ツ軍隊ノ運動ヲ遮蔽スルヲ要ス
- 二 河岸ノ形狀地質ハ斜坂ヲ作ルニ大作業ヲ要セサル爲メ高カラ  
 ス且ツ岩石地ナラサルヲ要ス
- 三 架橋セントスル地區ノ近傍ニ支流アルトキハ其交會點ノ下流  
 ニ撰ムヲ可トス然ルトキハ敵ニ蔭蔽シテ架橋ノ準備ヲ爲シ此  
 材料ヲ流下シテ直チニ架橋スルヲ得ヘシ若シ其支流敵方ニア  
 レハ交會點ノ上流ニ撰ムヲ可トス蓋シ防者ノ破壊物體ヲ流下  
 スルニ由テ架橋ヲ破壊セラレサランカ爲メナリ



- 四 流水ノ状態ハ廣サ、深サ、水速、河床ノ地質等ニ由テ架橋ノ技術上ニ關係ヲ及ホスコト大ナリ故ニ是等ハ工兵將校ヲシテ偵察セシムルヲ要ス
- 五 水流ノ形狀ニ於テハ大ニ考究スヘキコトアリ即チ其水流ノ方向後方ニ灣曲シタル者ハ屢之ヲ渡河點ニ採用スルコトアル者ニシテ此點ハ次ノ利ヲ有ス
  - イ、 渡過セントスル前方ノ土地ヲ包圍シ此ニ火力ヲ輻輳シ以テ渡河ヲ援護スルニ便ナリ
  - ロ、 我方ニ灣曲セル水流ノ我岸ハ通常彼岸ヨリ高ク前方ノ土地ヲ制下シ得ル
- 右ノ利益アレトモ又之レニ伴フテ左ノ害アリ
  - イ、 渡河後軍隊ノ運動スル地域狹小ニシテ展開ニ不便ナリ

- イ、 我方ノ岸高ク斜坡急ナルヲ以テ斜坡ノ構築困難ナリ
- ハ、 前岸ノ土地ハ概ネ、湿地ニシテ運動容易ナラス
- ニ、 水流ノ屈曲部ハ水流直角ニ衝突セサル故橋梁ノ維持困難ナリ
- 六 架橋材料ハ近傍ヨリ徵集シ得易キヲ要ス
- 七 我岸ニ適當ノ砲兵陣地ヲ有シ彼岸ニ向ツテ助勢シ得ルヲ要ス
- 八 彼岸ニハ適當ノ掩護陣地アルヲ要ス
- 九 前方ノ土地ハ直接ニ敵眼ニ暴露セサル程度ニ(過度ニ蔭蔽セハ我射撃ヲ妨害ス)蔭蔽シ渡河動作ヲ遮蔽スルヲ要ス
- 十 彼岸ノ地形ハ渡過後ノ攻撃動作便利ナルヲ要ス
- 凡、 敵ノ近傍ニ於テ、渡河スルニ、二法アリ、
- 甲 敵ガ對岸ヲ占領スルトキ即チ強行通過



乙 敵カ目前通過點ヲ守備シアラサルモ早晚敵カ現出シ以テ我軍  
 隊カ悉ク渡リ終ラサル以前ニ敵ノ妨害ヲ受クル恐レアルモノ  
 甲ノ場合即チ敵前ニ於ケル強行通過ハ極メテ危険ナル者ナリ之ヲ爲  
 サントセハ奇計ヲ用ヒテ敵ヲ欺騙セサレハ其實行甚タ難シ  
 夫レ渡河ハ危険ナルモノニシテ渡河中ニ發スル種々ノ出來事ニ際會  
 スルモ之レニ應シ得ルノ諸準備ヲナシ敢テ遺漏ナカラシムヘシ乃チ  
 敵前渡河ヲ行ハントセハ先ツ敵ヲ渡過點ヨリ驅逐シ我架橋掩護兵ヲ  
 舟筏等ニ由テ前岸ニ渡ラシメ此兵ハ隘路前方ニ於ケル如ク陣地ヲ占  
 領シ以テ架橋作業ヲ掩護セサル可カラス而シテ假令架橋完成シタル  
 後ト雖モ我軍ノ全部悉ク渡河シ終ルハ大ナル時間ヲ費スヲ以テ掩護  
 隊ハ輕々シク前進スルコトナク須ラク持久戰ヲナシ本隊ノ渡河開進  
 ヲ終リタル後前進スヘキナリ蓋シ是等ハ其時ノ形勢ニ由ツテ一概ニ

言フ能ハサレトモ必竟我渡河ノ半ハ逆襲セラレサル如ク動作スル  
 ヲ以テ緊要トス乃チ敵ハ我渡過ヲ知ルヤ之レニ向ツテ直チニ襲歩ヲ  
 以テ來襲スル者ナルカ故ニ此場合ニ於テハ假令橋梁ハ完成シアルモ  
 本隊ノ攻撃準備ハ未ダ整頓セサルヲ以テ我カ爲メニハ大ニ不利ナル  
 場合ニシテ須ラク持重ヲ要スルナリ此外又敵ヨリ浮游体ヲ流下シテ  
 架橋ヲ破毀セラル、患アリ

凡ソ敵前ノ渡河ハ以上ノ如ク困難ナルヲ以テ之レカ實施ニ當ツテハ  
 宜シク敵ガ我渡河ヲ察知シテ我ニ向ヒ來襲セントスルモ之レヲ爲シ  
 能ハサラシムル如ク奇計ヲ用ユルヲ要ス

之レカ爲メニハ渡過スヘキ確實ナル理由ノ存スル點ニ於テ僞リノ架  
 橋準備ヲ爲シ敵ノ兵力及ヒ注意ヲ其點ニ引キ而シテ後警戒不充分ナ  
 ル點ニ於テ眞ノ渡河法ヲ行フヘシ



強行渡河ヲ  
ナス時間ノ  
撰定

又敵ハ彼岸ニ於テモ充分ニ搜索シ且ツ種々ノ通信法ヲ定メ何時ニテ  
モ我渡河ニ應スルノ準備ヲナシアルヘキヲ以テ主力ハ架橋ノ終ルト  
同時ニ其點ニ達スル如ク運動スルヲ要ス而シテ此時期ニ至ルマテハ  
反ツテ陽渡點ニ主力ヲ集メ置ク等ハ亦ターツノ計策ナリ  
強行渡河ヲ實施スルノ時間ニ於テハ或ハ晝間ニ強行スルヲ可トスル  
ト云フアリ或ハ夜間成ルベク敵目ヲ避ケテ實行スルヲ可トスルト云  
フモノアリ然レモ此兩說ハ絶對的ニ何レヲ可トスルヤヲ論定スル能  
ハズ要ハ情况ト地形ニ關シ決定スベキナリ今參考ノ爲メ此二說ノ主  
張スル所ヲ擧グレバ左ノ如シ

第一、説論者ノ主張スル所ニヨレバ凡ソ強行渡河ヲナスニ當リ全然  
敵目ヲ逃ル、トハ到底爲シ能ハザルノミナラズ夜間ノ動作ハ混雜  
ヲ來タシ迅速敏捷ノ擧ヲナス能ハズ且ツ掩護ニ必要ナル火戰ハ全

對岸ニ敵兵  
ノアラザル  
場合

ク無効ナリ寧ロ晝間充分ノ掩護、火力ニ由テ整々堂々真ノ強行ヲナ  
スナ可トス抑々強行ノ動作ニ於テハ整々迅速ノ動作ニ由テ嚴格ノ  
軍紀ノ許ニ實行スルヲ唯一ノ手段トスト謂フニアリ  
第二、説論者ノ主張スル所ニヨレバ夜間ハ敵目ニ觸ル、ト必ク敵ノ  
眼前ニ迫マルマテハ其損害ヲ受クルト晝間ニ比シ寡少ナリ乃ハ晝  
晝間ヨリ準備火戰ヲ以テ敵ニ我渡河ノ意圖ヲ覺ラシムルヨリハ寧  
ロ夜間不意ニ渡河スルヲ可トス夜戰ノ混雜ノ如キハ彼我相互ノ事  
ニテ必竟對等ナリ但シ之ヲ避ケントセバ拂曉ニ於テ前岸ニ達ス  
ル如ク渡河スレバ可ナラズヤト云フニアリ  
乙ノ場合、即チ敵カ現在前岸ヲ警戒セサルモ我渡河中ニ於テ敵ノ進來  
ニ遇フノ恐レアル場合ニ於ケル渡河法ハ前記ノ如ク困難ナラサルモ  
亦戒慎ヲ加ヘテ渡河スルヲ要ス此時ニ當リテハ隘路前方防禦ニ於ケ  
ル如ク渡河點ノ前方ニ陣地ヲ占メ何時ニテモ敵ノ侵來ニ應シ得ルノ



處置ヲ施シ以テ我軍隊カ全ク渡過シタル後前進ヲ起スヘキナリ此等ノ渡過法ハ成ルヘク多クノ橋梁ニ由ツテ速ニ渡河ヲ終ルヲ可トスルヲ以テ成シ得レハ數多ノ軍橋ヲ架設スヘシ然レトモ材料ニハ限リアルヲ以テ大兵團ヲ運動セシムルニ當リテハ師團ニ一個ヲ通常トス此渡河法ニ述フル如ク攻者ハ偽計ヲ以テ渡過ヲ計ルガ故ニ防者ハ宜シク此偽計ニ陥ラサル如ク速ニ彼ノ企圖ヲ看破スルヲ必要トス而シテ防禦ノ方法ハ適時ニ逆襲ニ轉スル一法アルノミナリ必竟スルニ水流防禦ノ要ハ遊動防禦ナラサルヘカヲサハルコトヲ知ルヘシ

### ●高地戰

其一 高地ノ性質効用

高地ハ其形狀ノ差ニヨリテ高地ノ價值ヲ著シク左右ス歐洲大陸ニ於ケル高地ハ其形狀概シテ急激ノ變換無ク頂面ハ概ネ平坦ニシテ大部隊ノ運動ヲ許スヘシ普通高地戰トシテ唱導スル所ノ戰闘性能ヲ發揚スルニ足ルモノナレトモ我日本ノ高地ハ全ク是ニ反シ大ニ其趣キヲ異ニス

本邦高地ノ景況

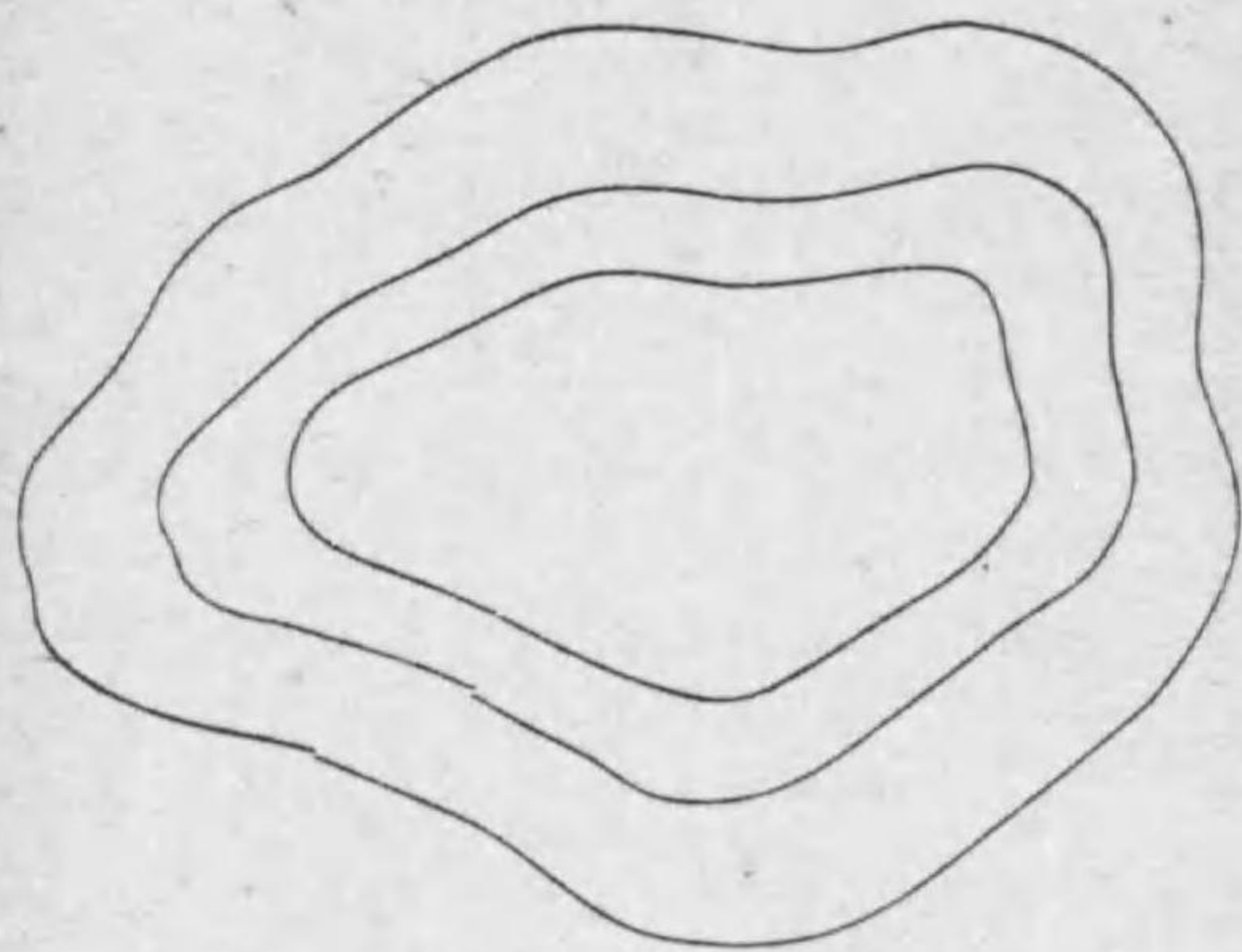
夫レ本邦ノ高地ハ脊梁大山脈ノ支脈ニシテ此支脈ハ島國山脈ノ常トシテ到ル處險峻傾斜急劇ナリ又假令ヒ稀レニ傾斜緩徐ナル高地アルモ我邦ノ田畝ハ成ルヘク水平地トナサン爲メ斜面中ニ階段ヲ設ケ所謂「段々畝」ヲ成形ス故ニ斜面ハ不正ナル夥多ノ死角ヲ造ルノミナラス非常ニ運動ヲ阻害シ又高地基脚ヲ削除シテ平地田畝面ヲ廣カラシムルヲ計ルヲ以テ登攀甚タ難ク又斜面ニ田畝ヲ作ラサルモノハ概ネ蔭蔽スルコト常ナリ頂面ハ甚タ狭ク恰モ馬脊ノ如ク其深厚ヲ有スルコ



ト甚タ稀ナリ故ニ凸線上ニ於テ幅廣キ斜面ヲ前方ニシテ防禦スルニ  
 當リ側面攻撃ヲ受クルトキハ之レニ對シテ動作スルヲ得ス故ニ我が  
 日本ノ高地ニ於テ陣地ヲ占領スルトキハ攻者ヲシテ大ニ登攀ヲ困難  
 ナラシムルヲ得ルト雖モ一タヒ敗ヲ取ルトキハ慘酷ナル状態ニ於テ  
 後方ノ谷中ニ陥擠セラレヘシ高地一般ハ利トシテ認ムル所ハ者ハ左  
 ノ如シ、

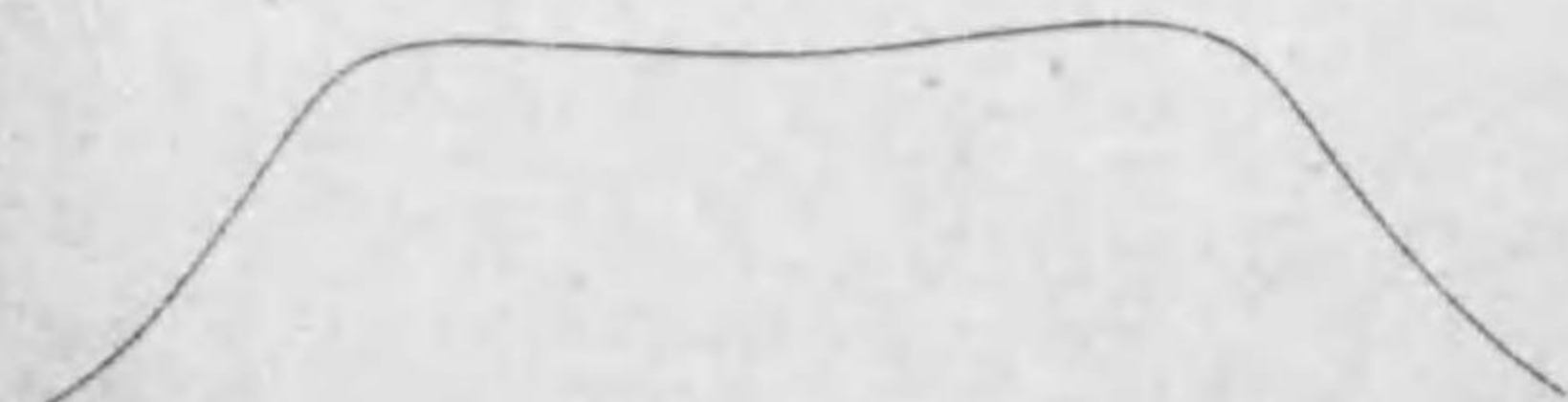
- 一 制高
- 二 展望
- 三 砲兵ノ射擊
- 四 配備ノ掩護
- 五 攻者登攀ノ困難

平面圖



歐洲大陸ノ高地一般ノ形狀

断面圖



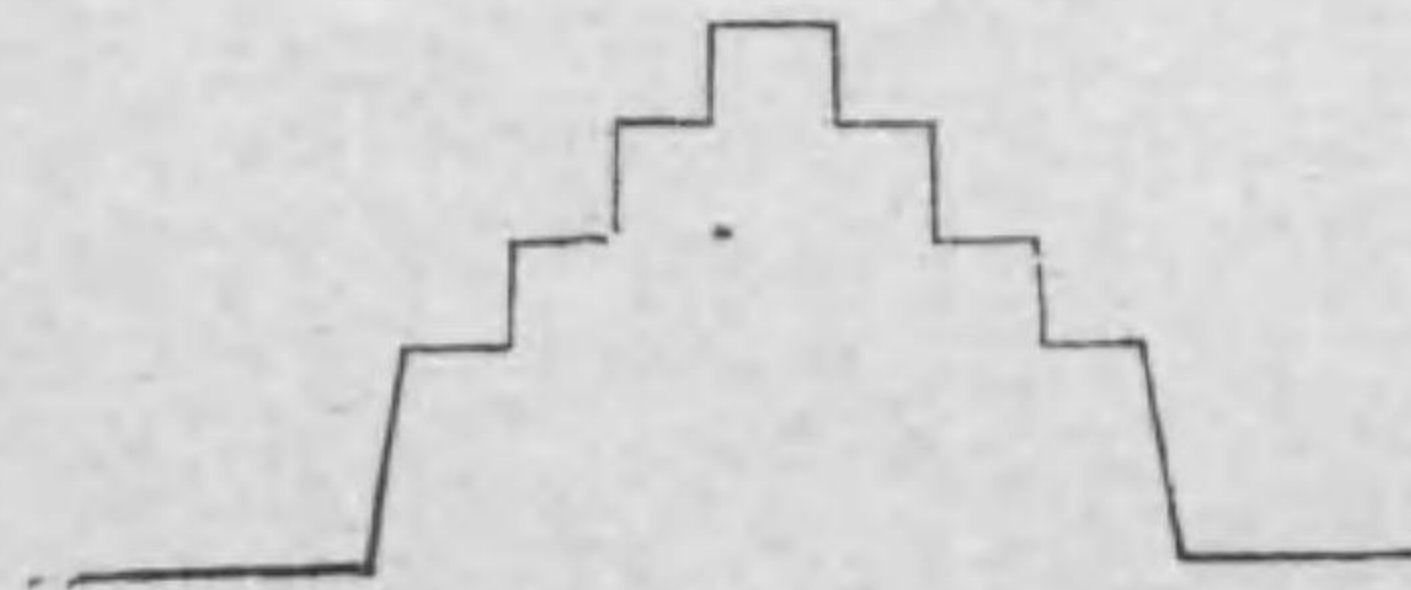


本邦高地一般ノ形状



平面圖

断面圖



其二 高地ノ防禦

高地ノ防禦ハ通常其高地縁端ヲ占領ス然レトモ若シ高地ノ頂面深高  
 開濶ニシテ其縁端ハ反ツテ蔭蔽錯雜兵ノ配備ニ不便ナルトキハ所謂  
 後退ノ陣地ヲ占ムル爲メ其縁端ヲ棄テ、高地頂面上前方ニ射界ヲ控  
 ヘテ陣地ヲ占領シ敵ガ高地上ニ現レ來ルヲ待チ迎へ撃ツテ之レヲ再  
 ヒ高地下ニ壓擠スルノ戦法ニ出ツルコトアリ

高地ノ斜面上ニアル掩蔽物ハ高地ヨリ敵眼ヲ遮蔽シテ援助シ得ルト  
 キノミ是ヲ占領スルモノナリトス蓋シ是ヲ占領スルトキハ砲兵ノ掩  
 護ヲ確實ナラシメ得ルノ利アリ若シ是ニ反シ斜面上ニアル掩蔽物ニ  
 到ル交通不便ナルトキハ爰ニアル守兵ノ退却及ヒ爰ニ趣ク増援兵ノ  
 運動共ニ困難ニシテ殆ント爰ニアル守兵ハ孤立ノ狀ニ外ナラス故ニ



所謂前進哨ナルモノヲ形造リ防禦上不利益ナルモノトス  
砲兵ノ爲メニ善良ナル陣地ハ高地前線ノ後方ニシテ其掩護ヲ得且ツ  
是ヲ超ヘテ能ク敵ノ近接シ得ヘキ方向及ヒ敵ノ砲兵ノ陣地ト想定シ  
得ル地點ヲ射撃シ得ル所是レナリ此ノ如キ陣地ニアル砲兵ハ多クノ  
場合ニ於テ高地脚ヲ普ネク瞰制掃射スルコト能ハス故ニ高地脚ヲ充  
分ニ射撃セシメン爲メニハ砲兵ヲ前線マテ出スヲ要スルコトアリ然  
ルトキハ歩兵ト同線上ナルノ不利ヲ生スルナリ  
高地ノ形狀重層射撃ヲ許ルストキハ大ニ火力ヲ盛熾ナラシムルヲ得  
ヘシ然レトモ適當ニ是ヲ實施シ得ルハ甚タ稀ナリ是レ之レヲ實施ス  
ルニ當リテハ下層ノ火戰ニアル部隊ハ其退路ヲ掩蔽シアルコト肝要  
ナルヲ以テナリ故ニ通常此重層射撃ヲ行フハ側面若クハ凸角等ニ於  
テ地區狹少ナル爲メ數多ノ火器ヲ配列セントスルモ其幅員ニ餘地ナ

キ等ノ場合ニ於テス  
高地戰ニ於テ最モ弱點ヲ成形スルハ高地ノ突角及ヒ高地上ヨリ火力  
ヲ及ホシ能ハサル死角トス故ニ是等ノ點ニハ殊ニ側防法若クハ其他  
ノ防禦法ヲ施シ堅固ニ掩護スルヲ要ス

其三 高地ノ攻撃

高地攻撃ハ通常三期ニ分タル、モノトス  
第一期ハ、高地線端ノ侵畧ニ至ルマテノ戰鬪ニシテ此期ニ於テハ概ネ  
左ノ原則ニ從フ

- 一 有効ノ準備射撃
- 二 第一線ヲ強大ニシ且ツ縱層ノ區分ヲナスコト
- 三 斜面ヲ攀登スルニ方リ時々死角若シクハ掩蔽物ヲ利用シ兵力



ヲ愛惜スルコト

- 四 強大ナル密集隊ヲ隨へ線端ニ突入スルコト
- 五 騎兵ハ側面ノ警戒及ヒ要スレハ襲撃ヲナス

第二期ハ高地撃端ノ占領ニテ概ネ左ノ原則ニ從フ

- 一 守者ノ企ツル回復攻撃ニ抵抗スル爲メ新銳ノ部隊ヲ以テ速カニ線端ヲ占領スルコト

- 二 接戦亂闘ハ此線端占領ノ本期ニ起ルモノナリ即チ勝利ハ志氣ノ優勢ヲ占ムルニ由テ其大半ヲ達スルモノトス

- 三 線端ヲ占領セハ速カニ確固タル據點ヲ作り第三期ノ戦闘ニ移ル

第三期ハ後地ノ後線ニ至ルマテ頂面ノ侵略及ヒ追撃ニシテ概ネ左ノ原則ニ從フ

- 一 砲兵ハ勉メテ速カニ高地ニ進ムヘシ

- 二 諸兵ハ銳意突進速カニ高地ノ後線ニ達スルコトヲ勉ムルマ

- 三 敵ヲ高地ノ後線ヨリ驅逐セハ火力ヲ以テ先ツ敵ヲ追撃シ騎兵ハ襲撃ヲ試ミ然ル後新銳ノ兵ヲ進メ連綿敵ヲ追撃セシムヘシ
- 四 敵ノ敗走ニ尾シ輕忽ニ高地ヲ下ルハ過誤ナリ

●谷地戰

谷地戰ハ一ツノ高地戰ト見做スヲ得蓋シ守者ハ高地端ヲ占領シ攻者ハ對岸ヨリ抵地ヲ超ヘテ之レヲ攻ムルヲ要スレハナリ但シ其高地戰ト異ル所ハ左ノ如シ



一 高地ニアリテハ守者ノミ獨リ高地ニ陣地ヲ占ム然レトモ谷地ノ戰鬪ニアリテハ攻者モ亦前岸高地ヲ占ムルヲ得ル故ニ射撃ヲ以テ戰鬪ヲ準備スル便ヲ得且ツ戰鬪間谷中ノ低地ヲ通過スル我兵隊ノ頭上ヲ越エテ射撃スルコトヲ得

二 谷地ノ戰鬪ニ於テハ守者モ又利スル所アリ即チ攻者ハ防禦陣地前方ノ斜面ヲ登ルニ先タチ自己ノ占メタル高地ノ斜面ヲ下ラサル可カラスシテ即チ守者ノ爲メニ好目標ヲ呈スル是ナリ要スルニ低地戰ニアリテハ兩敵中他ノ縁端ヨリ高キ縁端ヲ占領スル者ニ利アリ是レ制高ノ利ヲ占ムレハナリ

●山戰

山戰ハ大兵ノ運動ニ適セス、然レトモ山地就中山谷(道路ノ通貫スル)ニ於テハ寡弱ナル枝隊ニ適當ナル防禦陣地其數少ナシトセス此陣地ノ正面ハ大低堅固ニシテ其側面ハ攻者或ハ攻撃スルヲ得ルモ爲メニ多クノ時間ヲ要ス其之ヲ迂回スルニ當リテハ殊ニ然リ然レトモ攻者一度此迂回ノ目的ヲ達スルニ當リテハ守者ハ其退路ヲ切斷セラレ其會テ有シタル地ノ利ハ轉シテ攻者ノ有ニ歸スルモノナリ故ニ山戰ニアリテハ戰鬪ヨリモ寧ロ運動ヲ以テ敵陣ヲ陷拔スルヲ要ス但シ攻者ニアリテモ斯ク運動スルトキハ又其退路ヲ失フノ危險ハ平地ニ於ケルノ比ニアラスシテ他ヲ迂回セント欲スルモノハ又他ニ迂回セラルノ實況ハ殊ニ山戰ニ於テ多ク見ル所ナリ又守者ハ敵狀ヲ得ルノ困難ト退路ヲ切斷セラル、ノ危險トノ故ヲ以テ自然其兵力ヲ分離スルニ到ル爰ヲ以テ山地ノ戰ハ一地區若クハ一地點ニ於テ戰鬪ノ勝



山戰ニ於ケルニ様ノ戰法

中央陣

敗ヲ決スル能ハス必スヤ各所ニ於テ各部隊獨立シテ戰鬪ヲナスコト多カルヘシ又他ノ一方ヨリ考ルモ此ノ論ノ確實ナルヲ證スルニ足ル如何トナレハ山地ニ於テハ大兵ヲ一點ニ集結スル能ハサル代リニ蔭蔽シテ背後若クハ側面ニ出ツルコト容易ナルカ故ニ攻者ハ諸方向ヨリ敵ノ側面若クハ背後ヲ脅威スルヲ計リ前述ノ如ク多クハ迂回ノ戰法トナルヘケレハナリ

- 一 各地區ノ交通便利ニシテ豫備隊ヲ一點ヨリ隨意ノ他點ニ運轉シ得ル場合所謂中央陣、
- 二 右ニ反シ來通不便ニシテ豫備隊ヲ彼此ニ運轉シ能ハサル場合所謂分列陣、

第一ノ場合ニアリテハ敵ノ進入スヘキ諸道路ニ勉メテ寡少ノ兵ヲ備

分列陣

ヘ而シテ成ルヘク多クノ豫備隊ヲ貯存シテ敵ノ主力ヲ用ユルハ果シテ孰レノ道ナルカヲ偵知シタル後豫備隊ヲ以テ其方面ノ戰鬪ニ預ラシムルヲ要ス

此ノ戰法ハ歐洲大陸ノ山地ニ於テハ成シ得ヘキモ我邦ノ山地ハ概ネ險峻ニシテ運動困難ナル故此ノ戰法ヲナス能ハス故ニ我邦ノ山地ニ於テハ第二ノ場合ヲ以テ適當トスルモノナリ即チ此ノ場合ニ於テハ防者ハ豫備隊ヲ一點ニ集結スルコトナク各要點ニ兵力ヲ分配シテ各所ヲ占メ攻者ヲシテ一點ニ多クノ兵力ヲ使用スル能ハサラシムル如ク陣地ヲ占領スルナリ爰ニ於テカ戰鬪ハ各所各別ノ點ニ於テ起生スヘキナリ

即チ此第二ノ場合ノ戰鬪ニ於テハ各處ノ部隊ハ各々其ノ方面ニ於テ各別ニ獨立力ヲ有スルヲ必要トス故ニ兵力ハ總豫備ノ如キ設ゲナク



山地ニ於ケル騎兵ノ用法

山地ニ於ケ

最初ヨリ之レヲ各所ニ分配シ各局所ノ兵力ヲ若干タリトモ衆多ナラシムルコトヲ勉メ各所ノ戦闘ニ於テ戦勝ノ數多キモノガ全體ニ於テ勝トナルモノナリ而シテ斯ノ如ク各所ニ兵力ヲ分離スルモ山戰ニ於テハ他ノ普通陣地ニ於ケル如キ弊害ナシ如何トナレハ山地ノ交通不便ナルカ爲メ各所ハ互ニ獨立セルヲ以テ一所破ル、モ其影響他ニ及ヒ爲メニ全線悉ク敗ニ陥ル如キコトナシ必スヤ敵兵ハ各所各別ニ一々之ヲ撃退セサレハ全線ノ勝利ヲ得ルニ至ラサレハナリ

山地ノ戦闘ニ於テ騎兵ハ唯タ道路上ノ搜索ニ任スルノミニシテ其用甚タ少ナク側方ノ地ハ歩兵ニアラサレハ運動ヲ許ルサス故ニ山地ニ於ケル搜索ハ歩兵大ニ盡力セサルヲ得ス決シテ騎兵ニ一任スルヲ得ス

砲兵ハ平野ニ於ケル如ク一地ニ集團シテ用ユルヲ得ス一門或ハ二門

砲兵ノ用法

ヲ山頸ニ備ヘ敵ノ進路ヲ縦射スル如クスルニ過キサレ場合多シ山地ニ於テハ射撃効力ヲ充分發揚スル能ハズ是レ山嶺及ヒ樹木ノ爲メ射界ヲ制限セラレ敵ハ容易ニ遮蔽物ヲ利用シ得ベク又跳彈ノ効力ニ乏シク山路愈々峻峻ナレバ難射ノ効力愈々減縮スルヲ以テナリ

● 奇襲

奇襲トハ敵兵ノ行進ニアルト停止ニアルトニ論ナク其備ヘナキニ乘ジ不意ヲ襲フノ總稱ニシテ之ヲ行フニハ或ハ伏兵ヲ以テシ或ハ掩撃ヲ以テス而シテ其何レヲ問ハズ奏功ハ左ノ原則ヲ守ルニアリ

- 一、 敵ノ意表ニ出ヅル爲メ時機ノ撰定宜シキヲ得ル
- 二、 敵ノ警戒戰備緩嚴ヲ迅速ニ探知スル

奇襲奏功ノ要



三、動作ハ迅速單一且ツ命令モ亦タ極メテ單簡ナルヲ要ス

伏兵ノ目的

伏兵ノ目的ハ種々アレトモ其主ナルモノハ左ノ如シ

其一 伏兵

- 一 敵ノ追躡ヲ妨害スル一時ノ手段ニ供スルコト
  - 二 行軍スル兵隊又ハ輜重ヲ急襲スルコト
  - 三 敵ノ斥候ヲ捕ヘ或ハ傳令使其他重任ヲ負フ人ヲ捕フルコト
- 伏兵ニ用ユル兵種ハ目的ト地形トニヨリテ差異アレトモ要スルニ歩兵ハ蔭蔽斷絶ノ地ニ用ヒ騎兵ハ開轄セル地ニ用ユル地形之ヲ許セハ歩騎二兵ヲ共ニ連合シテ用ユレハ最モ利アリ砲兵ヲ用ユルハ例外トス
- 伏兵ヲ設置スルニ最モ適當ナル地形ハ丘阜、凹地、隧道、若クハ成長セル

伏兵ニ用ユル兵種

伏兵ヲ設置スル位置

急襲ノ法

耕作物等アリテ潜匿ニ便ナル地ナルヲ可トス

敵ノ由ツテ來タルヘキ道路外ニ設置スル所ノ伏兵ハ歩兵ニアリテハ敵ノ縦隊ニ對シ有効射距離以外ニアルヘカラス騎兵ニアリテハ適當ノ襲撃距離ノ存スルヲ要ス

伏兵ハ極メテ靜肅沈着戰鬪準備ノ至嚴ナルヲ要ス我警戒ノ爲メノ歩哨及ヒ斥候ノ如キハ敵兵早ク我ヲ發見スルノ媒助トナルコト多シ故ニ成ルヘク此等ノ警戒兵ヲ出スコトナク伏兵長自カラ看察シ好機ニ投シ不意ニ開戦スルヲ要ス

急襲ノ法ハ種々アリ今其一二ヲ舉レハ左ノ如シ

- 一 敵兵近接スルヲ待ツテ全隊合シテ急襲ス
- 二 敵ノ來ルヲ待ツテ伏兵ハ數部ニ分レ敵兵ノ先頭側面及ヒ後尾等ニ向ツテ急襲ス但シ此場合ニハ指揮ノ統一ナルニ注意シ各



部ハ互ニ同時開戦ヲナシ決シテ其一部ノミカ機ニ先ツ開戦ヲ  
 ナシ以テ全體ノ奏功ヲ水泡ニ歸スルコトナキヲ要ス  
 三 他ノ部隊ヲシテ敵ト交戦セシメ陽退シテ敵ヲ伏兵ノ所在ニ誘  
 致セシメ以テ急襲ス

其二 掩撃

掩撃トハ敵兵ノ行進スルト駐止スルトノ別ナク我ヨリ進ンテ敵ヲ急  
 襲スルヲ云フ  
 掩撃ノ目的ハ止陣セル兵隊或ハ宿營地等ヲ襲撃シ敵兵ヲ騷擾セシム  
 ルニアリ伏兵ト異ナル點ハ彼ハ止マツテ敵ヲ待チ以テ敵ヲ我急襲ニ  
 陥ラシムルニアレトモ是レハ我ヨリ進ンテ敵ヲ急襲スルモノナリ  
 掩撃ニ用ユヘキ兵力ハ亦タ伏兵ニ同シ但シ掩撃ニアリテハ時トシテ

伏兵ト異ナル點

掩撃ノ時機

砲兵ノ若干ヲ付スルコトアリ例ヘハ敵陣ヲ奇襲スル時ノ如シ  
 掩撃ノ奏効ヲ期スヘキハ敵兵警戒ヲ怠ルノ時ニ乘スルニアリ其他掩  
 撃ニ良好ノ時期ハ黎明ニアリ是レ掩撃ハ極メテ秘密ヲ要スルヲ以テ  
 夜中ニ於テ其準備ヲ整ヘ拂曉ヨリ之レヲ行フコト緊要ナレハナリ又  
 大寒、大暑、大雨、大風、濃霧ノトキハ最モ其動作ニ利アルモノトス夜間ノ  
 掩撃ハ我兵混亂シ易キヲ以テ甚タ危殆ナリトス然レトモ戰鬪未タ決  
 局ニ至ラスシテ中止スルトキ等ニ於テ夜間奇襲ヲ行フハ能ク其目的  
 ヲ達スルコトアリ  
 掩撃ヲ行フニハ敵ヲシテ我カ行進ヲ悟ラシメサルニ注意シ多クハ夜  
 行軍ヲナスモノトス  
 夜間ニアリテハ數部隊ヲシテ協同一致ノ動作ヲナサシムルヲ難ク殊  
 ニ數縱隊ナル時ハ各隊途ヲ誤リ或ハ時機ニ先タチ各隊各個ニ敵ニ衝



突スルノ恐レアルヲ以テ若シ縦隊ヲ區分スルヲ要スルキハ敵ニ近接スルニ至リ始メテ之レヲ分割シ嚴確ニ時刻ヲ期シ以テ協同攻撃ヲナサシムヘシ  
其他掩撃ノ實施ハ概ネ前伏兵ニ於テ逃ヘタル方法ニ從フ若シ期ニ先立ツテ敵ニ發見サル、時ハ決シテ効ナキモノトス故ニ決意前進スルカ若シクハ速ニ退却スルヲ可トス

●別働隊

別働隊ノ兵種  
別働隊ノ任務

別働隊ハ地形ニ應シ歩兵若クハ騎兵ヲ用ヒ或ハ此二兵種ヲ併用シ時トシテハ若干ノ砲兵ヲ附ス  
別働隊ノ任務ハ多クハ敵ノ側面又ハ背後ニ動作シテ彼ノ連絡ヲ絶チ

別働隊長並ニ兵卒ノ性質

戰鬪材料ヲ破壊シ又ハ是ヲ奪ヒ敵兵ヲ襲ヒ且ツ敵狀ヲ求ムル等トス別働隊タル者ハ困苦缺乏ニ堪エ戰鬪ニ熟達シ敏捷勇敢ナルヲ要ス即チ其隊長ハ能ク軍事ニ通達シ奇策ニ富ミ且ツ膽力ヲ有セサルヘカラス是レ隊長ハ概ネ訓令ヲ受クルノミニシテ其他ハ皆獨斷專行スルコト多ケレハナリ又各兵卒ハ軍紀ニ習熟シタル精練兵ナラサルヘカラス  
別働隊ハ殊ニ身體ノ快疾ヲ要スルヲ以テ必要ノ糧食及彈藥ノミヲ携帶セシメ成ルヘク輕裝ナラシムヘシ  
別働隊ノ任務ニ服スル要訣ハ隱顯出沒敵ヲシテ我が働作ヲ端倪スルヲ得サラシムルニアリ之カ爲メ或ハ虛誕忘說ヲ流布シ或ハ顯然一地ヲ去リテ一地ニ出テ或ハ夜行軍ヲ以テ直チニ一地ヲ去ル等毫モ其踪跡目的ヲ暴露スルコトナキ機動ヲナサ、ルヘカラス而シテ其戰法ハ



概ネ奇襲的ナルヲ要ス

### ●徵發隊

徵發隊ノ兵員ハ所要ト危殆ノ度ニ從ツテ一ナラサルモ常ニ必ス將校ノ指揮ニ屬スルヲ要ス而シテ監督若クハ軍吏ヲ同行セシムレバ最モ可ナリ

徵發隊ガ徵發地ニ至レハ其地區外ニ方テ一部ノ兵ヲ以テ敵ノ來襲ヲ警戒セシメ其他ハ徵發ニ從事ス

徵發ノ際特ニ斥候ヲ派遣スルハ却テ敵ノ注意ヲ喚起スルノ恐アリ

徵發ノ際土民ノ逃走ヲ禁シ以テ敵ニ通牒スルヲ豫防ス

徵發物ヲ搭載セル車馬ハ敵ニ反對スル出口ニ集ム而シテ歸路ハ輸送隊護衛ノ方法ニヨリテ徵發物ヲ護衛ス

徵發ニ於テ注意スヘキハ奪掠ニ流レ軍規ヲ破ラサルニアリ

徵發中不時ノ事變ニ應シ各兵各別ニ退却スルトキ等ノ爲メ豫メ集合點ヲ指定シ置クヲ要ス

徵發ヲナスニ當リ部隊ヲ住民地ノ全部ニ散布スルコトナク宜シク徵發司令ノ監視及達スヘキ附近ノ家屋ヲ同時ニ搜索シ住民地ノ一部ヨリ漸次他部ニ及フヘシ

徵發ハ地方廳ニ命スルヲ最良トスレトモ地方廳ノ官吏現存セサルカ或ハ其人民其地ヨリ逃遁シアルトキ等ニ於テ止ムヲ得ズ兵員自カラ徵發ニ從事スヘキモノトス

### ●戰場工事ノ掩護

掩護兵ヲ出スノ距離ハ敵ノ攻撃ニ當リ工場ヲシテ戰鬥ノ區域外ニア



ラシメ且ツ成ルヘク敵砲ノ害ヲ蒙ラサルヲ以テ度トス  
 工事ノ掩護ニ任スル部隊ハ敵ノ遠近ニ從ヒ或ハ陣地ヲ占メ或ハ前哨  
 ノ警戒方法ニ從フ而シテ兵力ノ編成ハ或ハ小數ノ監視部隊ヲ以テス  
 ルコトアリ或ハ若干ノ戰鬥力ヲ有スル諸兵連合ノ枝隊ヲ以テスルコ  
 トアリ是等ハ其時ノ情況ニ從ツテ決定ス  
 工事ニ從事スル部隊ハ背囊ヲ卸ロシ銃ハ之レヲ携帯スルカ或ハ身邊  
 ヲ離サ、ルヲ通常トス  
 敵襲ニ當リテ掩護隊ハ之ヲ掩護シ要スレバ攻勢ヲ取ルヘシ工手ハ其  
 作業ヲ續行スル能ハザルニ至リ始メテ戰鬥ニ參與スルモノトス

### 第四篇 野外帥兵術

野外帥兵ニ屬スルコトハ第三卷應用戰術ヲ述フルノトキニ於テ  
 敵狀、任務、地形等其當時ノ情況ニ應シテ適切ナル諸種ノ方法ヲ述  
 ヘントス殊ニ行軍駐軍等ニ關スル件ハ野外要務令ニ示シアルヲ  
 以テ其重複ニ涉ルコトハ之ヲ省キ此ノ編ニ於テハ唯々其ノ大要  
 ニ留メ置カントス

#### ● 序論

給養ヲ豐饒ニシ宿舍ヲ善良ニシ衛生ニ注意シ以テ軍隊ノ氣力ヲ保養  
 スルト至要ノ期ニ臨ンテ烈シク軍隊ヲ使用スルトハ相待ツテ權衡ヲ  
 得サルヘカラス之レ帥兵術中最高尙ノ一術ナリ部下ノ幸福ニ注意ス



ルハ隊長ノ職掌中最貴重ニシテ尤モ緊要ナル事ナリ  
 敵ハ充分ニ軍隊ノ氣力ヲ保養シ戰術上ノ優勢彼ニアルトキハ我軍假  
 令急速ノ運動ニ由ツテ戰畧上ノ要利ヲ占ムルト雖トモ又何ソ益スル  
 コトヲ得ンヤ  
 非常ノ時期ナルコトヲ洞視シ必勝ヲ期シテ非常ノ要求ヲ軍隊ニナス  
 ハ顯智ニアラサレハ決シテ斷行スル能ハス曖昧ノ處置ハ敗ヲ取ルノ  
 基ナリ

●宿營

其一 舍營

舍營トハ人家ニ宿泊スルヲ謂フ

舍營ノ利トスル所概ネ左ノ如シ

- 一 人馬ハ雨露ヲ凌キテ安眠スルヲ得
- 二 體力ノ費耗ヲ回復スルコト易シ
- 三 炊爨便利且ツ掩蔽シテ之ヲ爲シ得其火光ニ依リ敵兵ニ我所在ヲ認メラル、恐ナシ
- 四 被服及材料ヲ保存其宜シキヲ得
- 五 薪水其他需用ノ物品其ノ傍ニアルヲ以テ雜役ノ勞少ナシ
- 六 將校ハ命令報告ノ編纂地圖ノ閱見ニ最モ便利ナリ

- 一 軍隊ハ住民地ノ所在ニ依リ其ノ位置ヲ制限セラレ且ツ集團家屋ノ状態ヨリ其隊ヲ分割セサルヲ得ズ
- 二 其家屋相隔ツルノ道或ハ遠クシテ勤務ノ施行難ク命令報告ノ



傳達遲シ

- 三 諸隊其舍營ニ就クニ概ネ其行進路ヨリ遠隔セサル可カラサルヲ以テ疲勞ヲ増ス
  - 四 各兵ト人民トノ觸接ハ軍紀ヲ亂シ且ツ問諜ニ便ス
  - 五 兵隊散在スルヲ以テ集合ニ大時間ヲ要ス
  - 六 監視容易ナラス
  - 七 兵隊ノ宿營地面廣キヲ以テ警戒ニ多數ノ兵ヲ要ス
- 以上ノ如ク此宿營法ハ給養上ニ於テハ其利至大ナル者ナリ故ニ作戰上ノ顧慮之レヲ許ス限リ兵隊ハ舍營ヲ以テ正格トシ露營ヲ以テ脱格トス實ニ軍ノ生存上最良ノ露營ト雖トモ尙最不良ハ舍營ニ及ハス其劣ルコト數等ナリ
- 舍營ハ戰備緩急ノ度及ヒ舍營地ノ廣狹ニ從ツテ區別スレハ左ノ如シ

警急舍營

ハ大ナル舍營地(敵ニ近接シ)ニ在ツテ必要ナルトキ其内ノ一部隊カ嚴肅ナル戰備ヲ保持シテ宿營スルモノヲ云フ

此警急舍營ヲナス部隊ハ勉メテ建制部隊毎ニ一家屋ニ集團シテ舍營シ服裝ヲ整へ背囊ヲ身邊ニ置テ眠臥シ凡テ窓戶ヲ開キ各家屋ニ少クモ兵卒一名點燈シテ警戒ヲナス

行軍舍營

ハ行軍中日々ノ宿次ニ於テ爲ス所ノ者ニシテ多クハ行軍路上ニアル村落ニ宿營シ路外側方ノ村落ニ宿營セサルモノトス是レ翌日出發ノ便ヲ顧慮スレハナリ

駐留舍營

ハ一地ニ久駐スル時ニ用ユルモノニシテ此場合ニハ概ネ廣ク附近ノ民家ヲ利用シ廣濶ナル舍營ヲナサシムルモノトス是レ專ハラ給養上ノ便ヲ顧慮スレハナリ

此宿營ヲナスヘキ時期ハ通常左ノ如シ



- 一 戰役ノ始メニ於テ兵ヲ集中スル時
- 二 攻城若クハ圍城ヲナス時
- 三 疲勞若クハ疾病ノ爲メ窘窮甚シキ兵隊ヲ蘇息セシムル時
- 四 休戰或ハ講和ノ成リシ後其條約ヲ實踐スルニ至ル迄一地ヲ守衛スル時

廣舎營

ハ作戰上ノ顧慮少ク專ハラ給養上ノ便ヲ計ラントスルトキ廣潤ナル舎營ヲナサシムルモノヲ云フ

狹舎營

ハ作戰上ノ顧慮或ハ民家疎薄ナル等ノ爲メ狹キ面積ニ密集シテ狹縮ナル舎營ヲナスモノヲ云フ

其二 露營

露營トハ露天ニ宿泊スルヲ謂フ

露營ノ利トスル所概ネ左ノ如シ

- 一 露營ハ概ネ行軍路ノ附近ニ於テスル故就營ノ爲メ軍隊著シキ開進ヲ要セス從ツテ疲勞ヲ減ス
  - 二 兵隊集團シアル故左ノ利ヲ生ス
    - イ、諸勤務並ニ命令報告ノ傳達ニ便ナリ
    - ロ、警戒ニ多クノ兵ヲ要セス
    - ハ、集合迅速ナリ
    - ニ、戰鬪準備嚴ナリ
- 露營ノ害トスル所概ネ左ノ如シ
- 一 軍隊ハ大氣ニ曝露シ衛生ニ害アリ
  - 二 武器被服ハ損シ易シ
  - 三 糧秣ハ雨露ノ爲メニ腐敗シ易シ



四 人馬ハ安眠スルコト能ハス  
 五 炊爨ハ舍營ノ如ク便ナラス  
 六 療火ニヨリ敵ニ吾位置ヲ悟ラル

以上ノ利害ニ因テ見レハ露營ハ作戰上ノ顧慮殊ニ戰鬪ニ移ルニ至便ニシテ安心ナル方法ナル故指揮官トナリテハ軍隊ヲシテ露營セシメント欲スルコト人情ノ爭フヘカラサル情態ナリ故ニ指揮官タルモノハ小心翼翼實ニ露營ノ己ムヘカラサルヤ否ヤヲ考判シ能ク熟慮シ己ムヲ得サル時期ニアラサル外ハ成ルヘク舍營セシムルヲ可トス

故ニ露營ヲ用ユル場合ハ概ネ左ノ如キ場合ニ限ルモノトス

- 一 前哨ニ任スル部隊
- 二 決戦ノ前後ニ於テ大兵團ヲ集合スルトキ
- 三 戰鬪日没ノ爲メ中止セラレ兵隊ハ現陣地ニ現在ノ儘停止スル

ヲ要スルトキ  
 四 寒村僻地ニ在ル時

其三 村落露營

村落露營ハ舍營ト露營トノ混シタルモノニシテ其利害モ亦舍營ト露營トノモノヲ折衷ス

此宿營法ハ屢用ユルニ便ナルモノニシテ則チ人口稀少ナルガ爲メ或ハ又目前ニ戰鬪ヲ期セサルモ已ニ敵ノ附近ニアルガ爲メ狭キ地ニ多クノ兵ヲ集駐スルヲ要スルモ部隊大ニシテ其人馬ヲ掩蔽スルノ家屋ナク而カモ其軍隊ヲ悉ク舍營セシメントセハ其諸兵ヲ所々ニ分離シ爲メニ團結ヲ失フノ恐アリ此場合ニ於テ村落露營ヲ用ユレハ戰鬪準備ニ於テハ殆ント露營ニ等シク又給養ノ便ニ關シテハ舍營ノ利ヲ享

村落露營ヲ用スル場合及ビ其利益



有シ得ルモノトス然レトモ夜間ニ際シ村落内ノ密集ノ舍營ヲナシ軍隊ノ混亂兵卒ヲシテ恣ニ人民ノ物品ヲ亂用スルノ弊害水ノ配當ノ困難其他都テ大兵ノ輻輳ヨリ生スル困難ヲ豫防スルコトハ殊ニ深ク注意セサルヘカラス

其四 幕營及ヒ廠營

幕營 運動戰ニ在ツテハ幕營ヲ布クニハ材料運搬ノ爲メ夥シキ車輛若クハ駄馬ヲ要ス故ニ野戰ニ在ツテハ概ネ舍營或ハ露營或ハ村落露營ヲナスモノニシテ幕營スルハ冬季及時候極惡ノ時ニ限ルモノトス然レトモ兵隊久シク一地ニ駐留スル時即チ駐留舍營ニ在ツテハ人家稀疎ニシテ悉ク舍營ヲナスコト能ハスシテ露營ヲナスノ餘義ナキカ或ハ假令多少ノ人家アルモ大單位ノ諸隊ヲ集結シ置クノ必要アル等

ノ時ニ於テハ衛生上ノ顧慮ヨリ特ニ廠營或ハ幕營ヲ以テ露營ニ代フルコトアリ

城塞戰及ヒ陣地戰ニ在ツテハ尤モ幕營ヲ專用ス殊ニ城塞戰ニ於テハ豫メ幕具ヲ準備シ得ル故戰場ノ後方ニ廣ク分散布置セル豫備隊ノ宿營ニ供ス

幕營ハ風雨ヲ防クノ効力ハ不充分ナレトモ廠營ニ比スレハ轉移容易ナル利アリ

廠營 ハ蘆樹木材等ヲ以テ臨時ニ急造スル營舎ニシテ運動戰ニ於テハ之レヲ用フルコトナシ長キ野營冬營及ヒ城塞前ニ於テ之レヲ用フルモノトス元來廠營ハ宏大ノ地區ヲ領シ從ツテ軍隊ノ集團ヲ害スル故各部隊ヲシテ恣ニ廠營ヲ建設セシムル時ハ次序忽チ紊亂スルニ至ルヘシ



此外幕營及ヒ廠營ニ於テハ左ノ件ヲ注意スヘシ

- 一 茅舎ニ在ツテハ火ノ要領專一ナリ故ニ點燈ハ周圍能ク閉塞シタルモノ(ランプ)ヲ用ヒ就床後ハ消燈スヘシ
- 二 提桶ハ盡ク水ヲ充テ定マリタル場所ニ排列シ置クヘシ
- 三 廠營或ハ天幕内ヲ常ニ掃除シ清潔ナラシメ敷藁ハ時々日光ニ乾燥セシムヘシ
- 四 營地モ亦常ニ掃除シ且ツ土地ヲ搗固スヘシ
- 五 汚穢水ハ營地ノ後方ニ放棄スヘシ大小便ハ厠圍外ニ爲スヲ禁ス厠圍ハ日々土民或ハ炊竈ヨリ取リタル灰ヲ薄ク撒布スヘク時宜ニ因リ防臭藥ヲ撒布スヘシ
- 六 夜間或ハ雨天ニハ天幕ノ布ヲ少シク緩メ翌朝乾キテ後復ヒ緊張スヘシ

其五 宿營地區ノ廣袤並ニ撰定

舍營地ノ廣袤ハ戰術上ノ顧慮ト給養上ノ顧慮トニ由テ定メサルヘカラス

作戰上ノ顧慮ニ關シテハ第一敵ノ遠近及ヒ其襲來ノ成否ニ關ス次キニ敵兵襲ヒ來ルトキ速カニ兵ヲ集合シ得ルヲ要ス敵我カ舍營ヲ襲ヒ得ルトキハ其現出ノ時ヨリ最前ノ舍營ニ達スルニ前哨ノ抵抗スル時間ヲ胸算シテ費ス所ノ時間ヲ計リ之レヲ基準トナス其時間ハ即チ我兵ノ集合ニ費シ得ヘキ最大時限ナリ之レニ基キ舍營區ノ最大限ヲ確定スヘシ

然レトモ方今ハ遠ク騎兵ヲ出シテ搜索スルガ故ニ大部隊ヨリナル敵ノ襲撃ヲ不意ニ受クルコトハ稀ニシテ假令急襲ヲ受クルモ一小部隊



ニ過キサルヘシ

故ニ尋常ノ形勢ニ由テ之レヲ研究セハ作戰中敵ニ遠キ間ハ兩軍共ニ獨立シタル騎兵ヲ一日行程内外ニ出スコト常ナリ即チ此騎兵カ互ニ衝突シタルトキニ於テ兩軍ノ主力ハ相距ルニ日行程ニアル譯ナリ然ルニ兩軍ノ騎兵互ニ敵ヲ搜索シテ之レヲ本軍ニ報告スルニ殆ント一日間餘ヲ費スモノトスレハ本軍カ騎兵ノ報告ヲ得テヨリ互ニ衝突ニ至ルマテハ一日ノ猶豫アルヘシ故ニ師團カ廣舍營ニアルトキ敵ノ攻撃ヲ受クルニ先タチ集合セントセハ一日間以内ニ集合セサルヘカラス爰ニ於テ師團宿營地擴張ノ度ハ一日行程ヲ超ユヘカラサルコトヲ知ルヘシ

給養上ハ顧慮ニ關シテ宿營地ノ廣サヲ決定スルハ土地ノ貧富村落ノ多少ニ由テ差異アレトモ舍營地ノ廣袤三里方形若クハ三里中徑ノ闊

形ヲ中等トス

即チ宿營地ノ廣袤ハ作戰上ノ顧慮ニ由ツテ最大限ヲ決定シ給養上ノ顧慮ニ由テ最小限ヲ決定セラル、モ

ノトス

今一師團ニ就キ通常取ルヘキ面積ハ橫幅一里半縱深三里トナスヘシ即チ里方積四個半トス如斯スレハ人民稠密ナラサル地方ニテモ可ナリ廣キ舍宿ヲ給スルヲ得

以上ハ普通一般ノ標準ヲ示シタル者ナレハ敵ノ遠近ニ由テ之レヲ斟酌スルハ固ヨリ論ヲ待タス即チ敵ニ遠キトキハ給養ノ便ヲ考慮シ成ルヘク廣舍營ナラシメ敵ニ近キトキハ一ニ戰術上ノ要ヲ考慮シテ狭キ地ニ密集ス

行軍舍營ニアリテハ縱隊中ノ各部投宿ト翌朝上途ト



ノ便ヲ計リ概ネ行軍序列ニ準シ道路ニ沿フテ縦長ナル宿營地ヲナス可トス

宿營地ノ形狀ハ方形或ハ圓形ナルヲ可トス

則ハチ戰術上ノ利害ヨリ論スルトキハ其縦長ナルハ展開ニ不便ナルヲ以テ成ルヘク横ニ開キタル形狀ヲ可トス然レトモ横開ノ度至大ナルトキハ宿營ニ就ク爲メ無益ノ行進ヲナスノ不便ヲ生シ並ニ敵兵ハ容易ニ前面ニアル我カ兵力ヲ探知シ且ツ我カ前哨ノ廣袤過大ニシテ其警戒線ハ至ル處薄弱トナリ敵ハ之レニ乘シ直チニ之レヲ突破シ來ルノ恐アリ故ニ横開ト縦長ノ兩者ヲ折中シテ方形或ハ圓形ナルヲ可トス

宿營地撰定ニ關シテハ左ノ要旨ニ從フ

(A) 舍營地ニ在ツテハ左ノ如シ

舍營地撰定ノ要旨

露營地撰定ノ要旨

- 一 富饒ニシテ人馬ノ宿營ニ便ナルコト
  - 二 砲廠馬繫場飲馬場集會所及ヒ材料置場ノ適當ナルモノアルコト特ニ此等ノ場所ニ至ル交通ノ便ナルコト
  - 三 兵員宿舍ニ要スル疊數ハ尋常ノ舍營ニ在ツテハ一人ニ付キ疊二枚トス
  - 四 人馬ニ要スル清水ノ量最少限ハ左ノ如シ
    - 一人一日ノ量 四リートル(二升五合強)
    - 一馬一日ノ量 十五リートル(八升二合強)
- 注意(本邦ニ於テハ到ル所井水多キヲ以テ飲用水ニ支障アルコトナシト雖トモ他邦ニ於テハ井水乏シク飲用水ハ非常ニ大切ナルコトアリ)
- (B) 露營ニ在ツテハ左ノ如シ
- (イ) 戰術上ノ要旨ニ關スルモノ



(ロ)

- 一 敵ノ急襲ニ對シ安全ナルコト即チ我前哨線ニ頼テ能ク掩護セラレ又周邊ノ地ハ外衛兵ヲ以テ監視スルニ便ニシテ且ツ敵ノ通視ヲ遮リ殊ニ我露營火ヲ蔽フニ足ルヲ要ス又戰鬪ヲ豫期スルトキニ在テハ機ニ遅ルコトナク掩蔽シテ陣地ニ進出シ得ルヲ要ス
  - 二 敵ニ近キ時ニ在ツテハ正面及ヒ側面ハ土地ノ障碍物及ヒ防禦ニ適スル地部ニ由テ安全ナルヲ要ス
  - 三 更ニ行進ヲ起スノ目的ヲ有スルトキハ道路ヲ距ルコト遠カラサルヲ要ス
  - 四 露營ノ形狀ハ成ルヘク戰鬪展開ニ便ニシテ又其幅員ハ人馬ノ多寡ニ應スルコト
- 衛生及ヒ給養上ノ要旨ニ關スルモノハ

- 一 露營地ハ乾燥ニシテ濕潤ナラサルヲ要ス即チ(水分ノ排泄善キ沙地)或ハ高燥ニシテ穀物ノ在ル耕地(同時ニ寢蓐ヲ供給ス)等ヲ可トス
- 二 荒野ハ特ニ乾燥ノ氣候ニシテ濕氣ヲ帶フルコト極メテ僅少ナル時ニ於テハ之レヲ採用シ得ルト雖トモ草地ハ乾燥ノ氣候ニ在ツテモ之レヲ避クヘク沼澤ニ沿フタル土地モ亦同ク之レヲ避クヘシ
- 三 雨水ノ排泄(緩傾斜地)沙地宜シカルヘシ
- 四 風雨及ヒ日光ニ對シテ遮蔽(土地ノ低部)アルヲ要シ村落森林ノ縁端ヲ長トス歩兵ハ時宜ニ因リ高樹鬆疎ノ森林ニ露營ス交通頻繁ノ大道ニ接近ス可カラス蓋シ此ノ如キ地ハ塵埃ニ惱サレ且ツ休憩ヲ妨害セラル可ケレハナリ



五 露營需用品即チ乾燥シタル薪藁及ヒ水時トシテハ糧食ハ之  
レヲ露營地ノ近傍ニ於テ得ルヲ要ス

六 飲馬場ハ露營地ヨリ二吉羅ヲ超過セサルヲ可トス

七 日々ノ飲料水ハ前舍營ノ項ニ於ケルト同シ

師團ノ如キ大部隊ハ成ルヘク形勢ノ許ス限り之レヲ  
數部ニ區分シテ露營セシムルヲ利益トス

蓋シ露營地ヲ選フニ當リ其兵員ノ多キニ從フテ地形ニ適應セシムル  
コト難ク且ツ不意ノ敵襲ヲ受クルニ方リ其隊ヲ整頓スルノ困難殊ニ  
暗夜ハ兵員ノ衆多ナルニ隨ヒ益々甚シキヲ加フルモノナレハナリ

露營ハ隊形ヲ定ムルハ左ノ要旨ニ從フ

一 成ルヘク狭少ノ地面ニ多數ノ兵隊ヲ順序正シク配置シ得ルヲ  
要ス

二 武器ハ其部隊ノ近傍ニ在ルヲ要ス

三 速ニ行軍或ハ戰鬪ノ隊形ニ移リ得ルヲ要ス

四 各區隊間ノ交通ハ自在ナルヲ要ス

各部隊露營間隔ノ最小限左ノ如シ

步兵聯隊中ノ各大隊間ニハ 十米

步兵聯隊間

砲兵中隊間 二十米

各兵種ノ部隊間 二十米

己ムヲ得サルトキハ露營ヲ二列ニ敷置スルコトアリ然ルトキハ團圍  
ニ顧慮シ十分ノ距離ヲ存シ或ハ之レヲ側方ニ設置スヘシ

三列以上ノ露營配置ハ務メテ之レヲ避クヘシ



露營地幅標準表

種類	正面	縦長
一人	一米	二米
馬一匹	一米	三米
二匹輓車輛	八米	十二米
四匹輓車輛	八米	十六米
六匹輓車輛	八米	二十米
歩兵一大隊	百八十米	百九十米
騎兵一中隊	四十米	二百米
騎兵一聯隊	百二十米	二百六十米
野砲一中隊	百米	百八十米

山砲一中隊	百米	百八十米
工兵一中隊	五十米	百九十米

各部隊ノ地幅中ニハ圓圖ニ至レマテヲ計算ス故ニ之レヲ狭縮セハ半減スルヲ得

其六 宿營ノ配當設備

宿營地配當ノ要旨

兵隊ヲ舍營地ニ配當スルニハ左ノ要旨ニ從フモノトス

- 一 建制部隊ヲ分割セサルコト
- 二 命令ノ連繫、監視、勤務ニ便ナルヲ
- 三 敵ニ遠キハ休養ヲ主トシテ廣ク、敵ニ近キハ戰術上ノ必要ヲ顧慮シ概シテ狭ク舍營ス



- 四 敵ト近接セルキハ舍營全体ノ景況ハ戰鬪配備ニ應ズル如ク配置スベシ概シテ舍營地ハ方形若クハ圓形ヲ可トス
- 五 行軍舍營ニ在ツテハ勉メテ行軍序列ニ從ヒ道路ニ沿フテ縱長ノ舍營ヲナサシム
- 六 各單位ノ行軍序列ヲ解キテ就宿スルトキ又其宿營區ヲ發シ行軍序列ヲ取ルニ當リ無益ノ行進ヲナシ又ハ途中ニ於テ交叉スルナキヲ要ス
- 七 歩兵ハ敵ニ近カキ方ニ宿營ス  
砲兵ハ敵ニ反スル方ニ置キ且ツ獨立シテ宿營セシメサルヲ要ス
- 八 騎兵ハ獨立シテ搜索ニ任スルトキハ特別ナレトモ(警戒ト給養ノ度ヲハ側方等時ノ形勢ニ從フ)歩兵ト共ニ宿營スルトキハ猶ホ砲兵ノ如ク敵ノ反對

- 側ニ置キ安全ナラシムヘシ
- 九 行李ハ其ノ所屬隊ト共ニ宿營ス
- 十 乘馬隊ハ厩ノ多カラシム爲メ成ルヘク村落ヲ可トス
- 十一 戰術上ノ顧慮ナキトキハ普ネク宿營地全體ノ既ヲ利用スル爲メ諸兵種ヲ混宿セシムルコトアリ
- 十二 多數ノ馬匹ヲ有スル部隊ハ勉メテ流水ノ近傍ニアラシム
- 十三 敵ニ近キ所ハ出入ニ不便ナル家屋ニ定泊セザルヲ可トス
- 十四 風紀衛兵ハ其監視スベキ地ノ中央ニ設クルヲ可トス
- 十五 各部隊ノ境界ハ成ルヘク地區ノ境界ニ依テ定ムヘシ
- 十六 各司令部ノ位置ハ交通首路ニ在ツテ認識シ易ク且ツ報告命令ノ傳達ニ迂路ヲ取ルコトナキヲ要ス
- 十七 輜重梯隊ハ補給ノ便ト軍隊ノ後方ニ適當ノ距離ヲ存セシムル



トノ原則ヲ配慮シ其位置ヲ定ムベシ  
十八 駐留舎營ニアツテハ衛戍地ニ在ル如ク諸般ノ設備ヲナシ殊ニ  
厠ノ清潔ニ注意スルヲ要ス

警急集合所

警急集合所

(歩、工兵大隊、騎兵聯隊、獨立部隊毎ニ設ク)

ハ歩工兵隊ノ爲メニハ通常舎營地ノ前

面若シクハ其側方ニ定メ騎兵砲兵ノ爲メニハ後方ニ定ムルヲ便トス  
但シ砲兵ハ砲廠(通常後方ニアリ)ノ所在ヲ以テ之レニ充ツルヲ要ス蓋シ此クノ  
如クセハ騎兵砲兵ハ戰備ヲ整フルコト最モ速ナル歩兵ノ掩護ヲ受ク  
ルヲ得ヘシ

警急集合場ヲ撰定スルニハ特ニ其集合場ニ至ル時各小部隊ノ彼此互  
ニ妨碍スルコトナク且ツ概ネ其隊ノ占領スヘキ豫定位置若クハ警急  
大集合所ニ速ニ到リ得ルコトニ注意スヘシ之レカ爲メ各隊ニ其取ル  
ヘキ道路ヲ示シ置クコト肝要ナリ

警急大集合所

設營隊

警急大集合所ハ時宜ニヨリ大部隊ヲ團結スル爲メ設クルモノニシテ  
聯隊或ハ旅團等警報アル時命令ヲ俟タス速ニ集合スヘキ所トス  
設營隊ハ兵隊ヲシテ衝突躊躇スルコトナク迅速ニ宿營ニ就カシムル  
爲メ宿營ノ準備設備ヲナスモノナリ

設營隊ハ敵狀之レヲ許ストキハ成ルヘク速ニ之レヲ先發派遣シ地方  
吏ト協議シ諸準備ヲナサシムルヲ可トス

設營隊ノ編制ハ部隊ノ大小ニ從ツテ一ナラス然レトモ各隊各部ヨリ  
必ラス其隊其部ヲ代表スル有階者ヲ出シ之レニ所有ノ兵員ヲ附スヘ  
シ

舎營司令官

舎營司令官ハ各兵種ニ舎營ヲ配當ス若シ此配當ニ豫メ周到ナル準備  
ヲ成ス能ハサルトキハ舎營司令官ハ先ツ將校一名成ルヘク舎營日直  
將校ヲ遣ハシ其準備ヲ爲サシムヘシ然ルトキハ各隊ノ設營隊ヲ此ノ



露營

將校ニ從ハシムルヲ可トス  
露營ノ準備ハ舍營ニ比スレハ最モ單簡ナリ露營司令官若クハ其  
屬員ハ先ツ其地ニ急行シテ露營地ヲ撰定シ之レヲ區分シテ各部隊ニ  
配當シ肝要ナル警戒方法ヲ確定ス但シ警戒地ハ特別ニ之レヲ撰定ス  
ルヲ要ス

村落露營

飲馬場、井泉、薪藁等ノ搜索分配ヲナシ各隊ノ混合亂用ヲ豫防ス  
成シ得ル限リ兵卒ヲ速ニ休憩ニ就カシムル諸般ノ準備ヲナス  
部下軍隊盡ク露營スル時ニ於テモ高等司令部ハ成ルヘク村内ニ於テ  
家屋ノ中ニ置クヘシ是レ諸般ノ事務ニ便ナラシムル爲メナリ  
村落露營ニ於テ靜肅ニ就宿セシメンニハ軍隊ノ村落ニ入ルニ先  
ダチ宿營ニ必要ナル諸件ヲ規定スルニアリ故ニ其時ノ形勢之レヲ許  
セバ露營司令官ハ各部隊ノ將校ヲ率ヒ先ヅ宿營地ニ急行シ遲滯ナク

處置ヲナスベシ

給養ヲ顧慮シ村落ヲ平等ニ分配センガ爲メ建制部隊ヲ分割スルハ混  
雜ヲ來ス基ナリ故ニ家屋内ニ宿營スヘキ部隊ト庭園若クハ周圍ノ地  
ニ露營スヘキ部隊トハ明瞭ニ建制ニ由テ區別スベシ

其七 宿營内ノ勤務警戒並ニ諸般ノ注意

舍營内ニ於ケル勤務ノ種類系統ヲ示ス左表ノ如シ



# 官令司營舍

高級指揮官ヨリ特ニ任命ナキトキハ各營地ニ於テ高級古參ノ將校ハ常ニ舍營司令官タルモノトス

將官及ヒ聯隊長ハ次級者ヲ以テ舍營司令官トナスノ權アリ蓋シ作戰上ノ配慮ニ暇ナケレハナリ

舍營司令官ハ各兵種ノ舍營ヲ分配シ其他内外警戒勤務ノ方法及ヒ戰備ノ度ヲ規定ス

舍營司令官ハ常ニ各部隊ノ爲メ一ツノ警急集合所ヲ定ム

最モ狹縮ノ舍營ニ在ツテハ特別ノ方法ヲ設ケ靜肅ヲ保持スルコトヲ勉ム

警報ニ當ツテ各部隊ノ爲スヘキ動作ヲ豫メ規定ス

警報ノ號音ハ舍營司令官之レヲ命ス

要スルトキハ歩兵ノ一部隊(中隊又ハ小隊)ヲシテ警急舍營若クハ露營ヲナサシメ以テ外衛兵ノ後援トス

## 校將察巡

時宜ニヨリ指定スル部隊ヨリ出ス

内外警戒勤務上ノ巡視監督ヲ爲シテ舍營日直將校ヲ補佐ス

## 校將直日營舍

各營地ニ一名(通常大尉、大部隊ニ在ツテハ佐官)

舍營内外ノ警戒勤務ニ就テハ舍營司令官ノ指示ヲ受ケ之レヲ實行セシム

風紀衛兵及ヒ外衛兵ヲ統轄ス

## 各部隊長

既ニ衛兵ハ各部隊ヨリ出ス

## 兵衛外

一、敵ノ任務ハ左ノ如シ

二、前哨及ヒ比隣ノ舍營地ニシテ連絡ヲ保持ス

三、許ナクテ舍營地外ニ出ルコトヲ禁止ス

四、警報ニ際シテハ別命アルマテ其位置ヲ固守ス

外衛兵ハ前哨勤務ノ規則ニ從テ然レトモ兵ヨリ出ス

外衛兵ハ徒歩兵ヨリ出ス

外衛兵ハ首領ナル地點ニ占據シテ下士哨若クハ覆哨ヲ遣フ

近傍ニアル部隊ヨリ別ニ外衛兵ノ主部ヲ設クス

テ足ルコトアリ

小部隊ニ在ツテハ風紀衛兵ヲシテ外衛兵ヲ兼ネシム

## 兵衛紀風

各兵種混同シテ一地ニ舍營スル時ト雖一ツノ風紀衛兵ヲ置キ其人員ハ兵種ヨリ各々自ノ哨兵用トシテ出ス

人員ヲ加フ

行軍中ハ在リテハ風紀衛兵ノ人員ヲ成ルヘク寡少ナラシム

警報ニ際シテ別命ナケレハ軍中ノ遺物ヲ監視ス

隊ノ遺物ヲ監視ス

ハ此材料運搬ノ準備ヲ整ヘタル後始メテ軍隊ニ眼ヲ向ス

風紀衛兵ハ概テ軍隊若クハ隊ノ點ニ哨兵ヲ及ヒ其他所要ノ點ニ哨兵ヲ出ス

則ニ哨兵ノ動作ハ平常屯營ノ規則ニ準ス

## 士下校將直日隊部

歩、騎、砲、工兵大隊ハ各將校一名(中少尉)

獨立中隊若クハ其一部隊ハ各下士一名

日直將校下士ハ任命ヲ受ケレハ直チニ舍營日直將校ニ届告シ舍營内ノ警戒勤務ニ就キ必要ノ命令ヲ受ケ其舍營内ノ靜肅及ヒ風紀ニ注意シ其隊長及ヒ舍營司令官ノ命令ヲ實施ス



一舍營地ノ兵員寡少ニシテ殊ニ一部隊ノミ宿營スル時ハ別ニ舍營ノ勤務員ヲ置カス軍隊平常ノ内務ト兼ネ行ハシム

豫メ準備セス俄然大村落ニ大兵ヲ舍營セシムルキ(例ヘハ戰ニ由リ畧取セシ地ニ舍營スル時ノ如シ)ハ速ニ舍營司令官ヲ命ジ之レニ新銳ノ兵ヲ屬シ内外ノ警戒搜索ヲナシ敵ノ殘兵ヲ檢シ靜肅ヲ維持スルヲ緊要トス

行軍舍營ニ在ツテハ大ニ舍營防禦ニ勞スルヲ要セサレモ比隣ノ宿營地ト連絡ヲ保持スルコトハ常ニ緊要ナリ

駐留舍營ニ在ツテハ適當ノ舍營防禦法ヲ設ケ工事ヲ施スヲ要ス

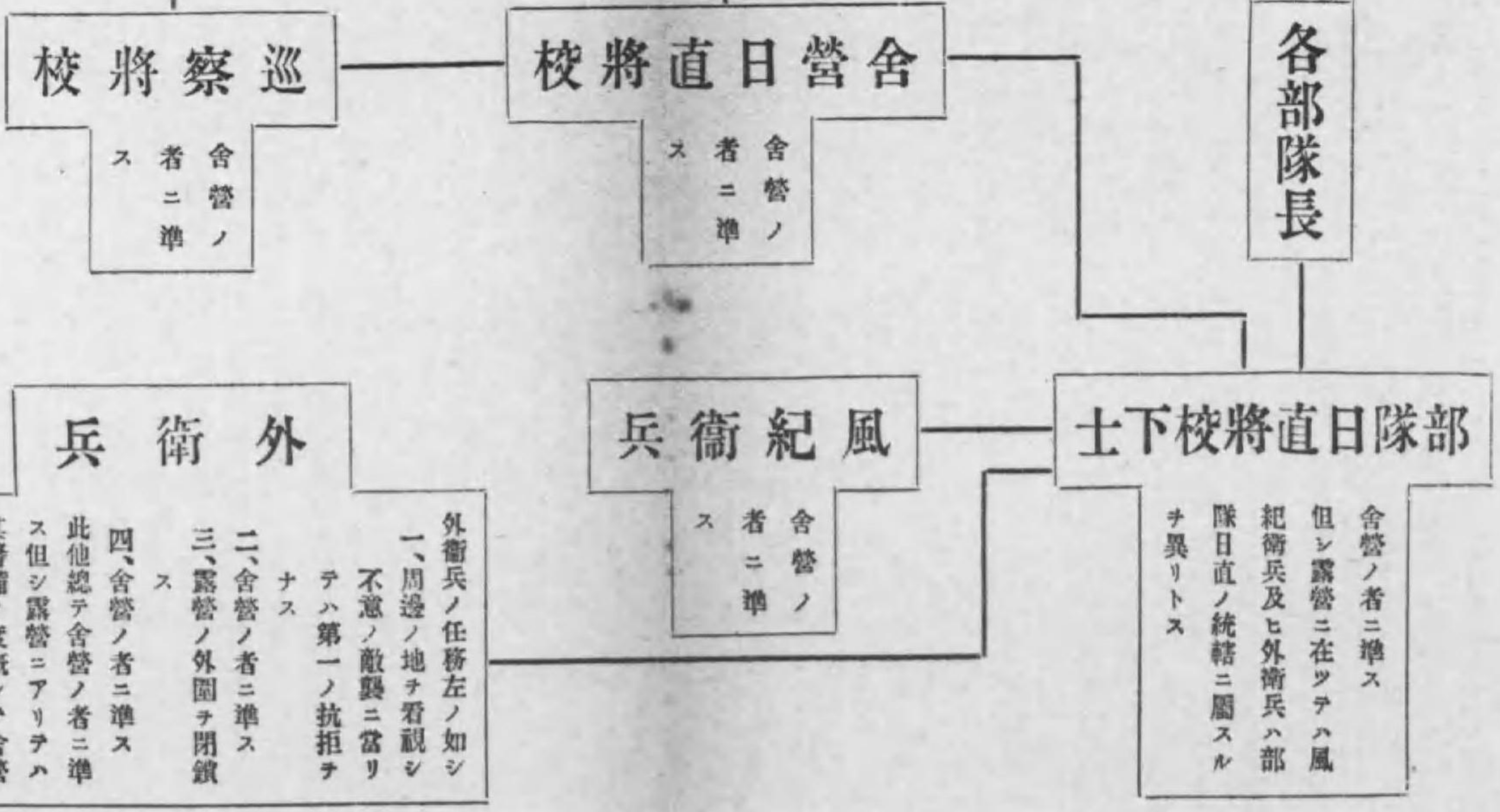
居民不穩ノ徵アルキハ尤モ警戒ヲ嚴ニシ(點火シテ街衢ヲ照ラシ家屋ヲ開放スル如シ)又嚴罰ヲ以テ居民ヲ恐嚇シ人質ヲ拘留スル等ノ豫防法ヲナスヘシ



時機ヲ失セズ馬匹ヲ整頓スルハ最モ緊要ニシテ之レカ爲メ閉塞セル  
 厩舎、庭園等ヲ避ケ便利ナル地ニ宿營セシム  
 騎兵ハ舍營防禦ノ爲メニハ騎銃ヲ利用スルヲ忘ルヘカラス且ツ搜  
 索ヲ以テ急襲ヲ警戒スヘシ  
 舍營地ニアル兵卒ハ武器及ヒ裝具ヲ整ヘ置キ常ニ注意シテ縦令暗黒  
 ト雖トモ速ニ武裝ヲナシ出發シ得ル如クスルハ實ニ舍營ニ於ケル最  
 大必要ノ注意トス  
 敵兵急ニ舍營内ニ侵襲シ其屬スル部隊ニ集合スル能ハサル者ハ各其  
 處ニ於テ現在ノ人員相協力シテ防禦スヘキモノトス狼狽騷擾スルハ  
 不覺ヲ取ルノ基ナリ  
 露營内ニ於ケル勤務ハ種類統系ヲ示ス左表ハ如シ

露營司令官

各露營地ニ於テ高級古  
 參ノ將校ハ露營司令官  
 タルヲ通則トシ特ニ之  
 テ次級者ニ命スルハ如  
 キハ稀有ノ場合ナリ  
 露營司令官ハ露營外部  
 ノ警戒法又所要ニ從ヒ  
 露營ニ閉塞法（濠ヲ掘  
 リ、橋梁ヲ毀テ、無用ノ  
 通路ヲ閉塞スル等）ヲ  
 規定シ各隊ニ露營地ヲ  
 配當シ及ヒ露營特別ノ  
 規定（飲水及ヒ飲馬場  
 ノ場所或ハ時間ニ從ヒ  
 各隊ニ配當スル等）ヲ  
 設ケ  
 成ルヘク早ク兵卒ヲ休  
 憩セシメ及ヒ之レニ風  
 雨ノ障礙ヲ與フル補助  
 方法（掩蔽及ヒ炊事ニ  
 用フル木材、藥、薪等ノ  
 調達）ヲ行フニ紀律ヲ  
 誤ラス且ツ迅速ナルヘ  
 キコトニ就キ其責ニ任  
 ス  
 露營司令官ハ最モ認識  
 シ易キ地ニ宿營シ（高  
 等司令部ノ近傍ニ舍營  
 スルヲ長トス）諸衛兵  
 及ヒ傳令使等ノ其位置  
 チ知ルニ便ナラシムル  
 チ可トス





露營中兵卒ハ其業務ニ従事スル間ハ上官ニ對シ敬禮ヲ行フコトナシ  
故ニ上官ヨリ言語ヲ交ヘラル、カ或ハ呼ハル、時ハ唯タ直立若クハ  
靜止シ之レニ答フヘシ

露營ニアル兵卒ノ裝具ハ晝間ハ每列ニ順序ヲ立テ、中隊ノ集合所ニ  
置キ夜間ハ身邊ニ置クモノトス

露營ヨリ出發ノ時刻ハ前以テ命令アルモノトス此場合ニ在テハ出發  
時刻十五分前ニ於テ盡ク火ヲ消シ衛兵ハ各其隊ニ復歸ス而シテ軍隊  
ハ出發ノ準備ヲ爲ス但シ敵ニ對シ須要ナル警戒ノ勤務ニ服スルモノ  
ハ此限ニアラス

村落、露營ニ於テ舍營スル者ハ其内外警戒法及ヒ内部ノ勤務ハ狹縮ノ  
舍營ニ準シ屋外ニ露營スル者ハ露營ノ爲メニ定メタル諸方法ニ準ズ

其八 警報



警報ノ時ハ非常號音ヲ吹奏ス此號音ハ高級故參ノ將校又ハ舍營司令長官ヨリ命スルモノナレトモ突然敵襲ニ會シ逡巡セハ大ナル危害ニ陷ルヘキトキハ各衛兵ハ身ヲ以テ責ニ任シ速ニ非常號音ヲ吹奏セシムルノ義務ヲ有シ將校ハ責任ヲ以テ吹奏セシムル權ヲ有ス又警報ニ號音ヲ用ヒス一地區毎ニ靜肅ニシテ且ツ速カニ整備スルヲ要スルコトアルヲ以テ晝夜ヲ論セス兵隊ハ常ニ武器及ヒ裝具ヲ整頓シアルヘシ

舍營ニ於ケルモノ

警報アルトキ各隊ハ武裝ヲ整完シ速ニ其警急集合場ニ集合シ若クハ速ニ豫メ指示セラレタル地點ヲ守備シ衛兵ハ舍營司令官ヨリ受ケタル命令ニ從テ動作ス露營ニアリテハ各兵聚集シアルユヘ警報ニ應スルコト容易ナリ混亂ヲ防ク爲メ命令アルニアラサレハ歩兵ハ又銃ヲ解クベカラズ宜

露營ニ於ケルモノ

ンク又銃ノ側ニ於テ命ヲ待ツヘシ騎兵ハ速ニ武裝ヲ整ヘ乘馬シテ集合所ニ集ル野砲兵ハ繫駕シ山砲兵ハ駄載若クハ繫駕ス行李駄馬ハ駄載シテ後命ヲ待ツ凡ソ警報ニ際シ集合ノ靜謐神速ナルハ第一ノ要旨ニシテ周章狼狽ハ最モ忌嫌スル所タリ

●前哨

其一 一般ノ總說

駐軍スル兵隊ハ安全ニ休止スル爲メ敵方ニ一枝隊ヲ派遣シ以テ其安寧ヲ保ツニ任ス此枝隊ヲ稱シテ前哨ト謂フ



前哨ノ任務左ノ如シ

- 一 休止スル軍隊ヲ安全ナラシム
- 二 敵ノ狀況ヲ搜索ス
- 三 敵ニ對シ我軍ノ狀況ヲ蔭蔽秘匿ス

凡ソ戰時ニ於テ前哨ノ如ク定規及ヒ基本ヲ確守シ能ハサルモノ他ニ比類ヲ見ス至要ノ程度ハ各時ノ戰況ニ應スヘク豫メ一定不變ノ法則ヲ立ツルヲ得ス唯タ當時ノ狀況ニ依リ適當ノ區署ヲナス外ナシ故此篇ニ述フル所ノ者ハ唯タ多クノ場合ニ於テ準據スヘキ標準ニ過キ

前哨ノ兵力ハ大部隊ニ在ツテハ其前衛ノ二分一乃至四分一ヲ以テシ小部隊ニ在ツテハ全隊兵力ノ四分一ニ至ルヲ最大限トス(通常前衛ヲ以テ直チニ前哨トナ)凡ソ警戒ニ任スル兵力ハ常ニ當時ノ形勢カ之レヲ許ス最少限ヲ

以テスルコト常ニ動カスヘカラサル原則トス

抑モ搜索ハ主トシテ騎兵ニ任シ警戒ハ若干ノ獨立抵抗力ヲ要スルヲ以テ多クハ之レヲ歩兵ニ任ス故ニ前哨ハ此二兵ノ連合スルヲ通則トス是レ即チ混成前哨ナリ

諸兵種連合ノ部隊ニアツテハ前哨ニ附加スルニ工兵ヲ以テスルヲ可トスルコトアリト雖トモ砲兵ニ至ツテハ野戰ニ於テハ概ネ附加スルコトナシ之レヲ附加スルハ要點殊ニ隘路ヲ固守スルカ如キ例外ノ場合ニ於テスルノミ此場合ニ於テモ砲兵ハ豫メ其射擊ヲ規定シタルトキニアラサレハ夜間ニハ用ヒ難シ故ニ縱令之レヲ前哨ニ附スルモ夜間ハ通常前衛本隊ニ退カシムルモノトス

前哨ニ於テ步騎兩兵ヲ連合セス單ニ歩兵ノミ或ハ騎兵ノミヲ以テスルトキハ之レヲ獨立歩兵ノ前哨或ハ獨立騎兵ノ前哨ト云フ



其二 前哨ノ區分

前哨ハ前條ニ於テ示ス如ク混成前哨、獨立歩兵前哨、及ヒ獨立騎兵前哨ノ三種トシ混成前哨ハ大別シテ前哨本隊、前哨中隊及ヒ前哨騎兵ノ三部ト爲ス而シテ又此各部ヨリ監視警戒ノ爲メ出ス所ノ小哨、獨立下士哨、下士哨、步哨、斥候、巡察等ノ別アリ

前哨本隊 ハ前哨大半ノ兵力ヲ以テ之レニ充テ通常首要ナル道路ノ近傍ニシテ抗戰ニ適スル要點ノ後方(敵ノ急襲ニ遇フモ機ニ後ル、コトナク此要點ヲ占領シ得ルヲ以テ度トナス)ニアリテ或ハ露營シ或ハ村落露營ス

前哨本隊ハ晝夜ニ關セス前方ニ前哨中隊ヲ出シ時トシテ側方ニ小哨若クハ獨立下士哨ヲ配置シテ警戒ス即ハチ前哨中隊ノ後拒トナリ所

要ナレハ之レヲ收容シ本隊ニ先ンシ抗戰ニ任スルモノトス

前哨中隊

ハ夜間小哨或ハ獨立下士哨ヲ派遣シテ監視線ヲ成形セ

シメ(獨立歩兵前哨ニ在リシメ)而シテ之レヲ交代シ或ハ之レヲ扶援シ或ハ之レ

ヲ收容ス前哨中隊ハ敵兵ノ來襲ニ當リテハ通常抗拒線トナリ兼テ又

前哨騎兵ノ後拒タリ

前哨中隊ノ番號ハ其固有ノ番號ヲ以テス例ヘハ第三中隊カ前哨中隊トナルトキハ前哨第三中隊ト云フカ如シ

前哨中隊ノ爲メニ適當ナル地ハ常ニ首要ナル道路ノ近傍ニ在ルヘキナリ然ラサレハ監守スヘキ地ノ中央ニシテ防禦ニ便ナル蔭蔽物アリテ成ルヘク敵ヲシテ我衆寡ヲ商量スルヲ得セシメス且ツ交通路ノ近傍ニ在ルヘキナリ而シテ又進退不便ニシテ退却困難ナル地等ニ位置スヘカラス



前哨中隊警戒ノ爲メニ取ルヘキ方法ハ該中隊長ノ職權内ニ在リ又敵襲ニ際シ中隊ノ常ニ必ラス戰備ヲ缺カサルコトニ就テハ身ヲ以テ其責ニ任スヘク且ツ其受クル所ノ命令ニ依リテ其位置ヲ固守スヘキカ或ハ扶援セラル、カ等ヲ審ニスヘシ其之レヲ固守スヘキニ當リテハ其身其隊ヲ以テ全軍ノ犧牲ニ供スヘキナリ

### 前哨騎兵

ハ騎兵部隊ノ任スル所ニシテ其主要ナル任務ハ敵ト觸接ヲ失ハサルニアリ乃ハ晝間ニ在ツテハ最前線ニ在リテ搜索警戒ヲ擔任シ夜間ハ後方ニ退却セシムルヲ通常トスレトモ所要ノ場合ニ於テハ一部ヲ最前線ニ殘シ敵ト接觸セシメ又時宜ニヨリ遠ク前方ニ在ル地點ヲ占領セシムルコトアリ

前哨騎兵ハ背後ノ歩兵隊ト斷ニス連絡ヲ保持スヘキナリ其兵力ハ警戒ヲ命セラレタル正面ノ廣狹ト警戒ヲ要スル程度トニ從ヒ其任務ニ

### 適合セサルヘカラス

凡ソ騎兵ハ其運動輕捷ナルヲ以テ前哨一定ノ配置及ヒ形狀ヲ固執スルヲ要セス故ニ前哨騎兵ノ部署法ハ其時ノ形勢及ヒ地形ニ從ヒ一ナラス即チ通視シ得ヘキ土地ニ於テハ其兵力ヲ合シテ一個ノ控兵トナシ相反スル土地ニ於テハ敵個ノ控兵ニ區分ス而シテ控兵ハ之レヨリ一個若クハ數個ノ小哨或ハ獨立下士哨ヲ出シ或ハ之レヲ併用ス

控兵ノ位置ハ現時ノ景況ニ從ツテ定マルモノトス通常道路ノ輻輳點ハ適良ノ位置ナリ若シ遠ク前方へ出ツルヲ要セサルトキハ前哨中隊ノ一ニ接シテ位置スルナリ

### 獨立歩兵前哨

ハ敵ト近接セルカ、地形險難ナルカ、或ハ前哨騎兵ナキ場合ニ用ユルモノニシテ前哨本隊前哨中隊等ノ區分ハ混成前哨ニ於ケルト同原則ニ從フ



此前哨ニ在ツテハ前哨騎兵ヲ備ヘサルノ欠點ヲ補足センガ爲メ最初ヨリ小哨等ヲ配置ス(混成前哨ニアツテハ晝間ニ騎兵ヲシテ搜索警戒ヲ擔任セシムルヲ以テ前哨中隊ハ夜間ニ至リテ小哨等ヲ出ス)此哨ハ騎兵ヲ欠クト雖傳令騎兵丈ケハ附屬セシムルヲ可トス而シテ此傳令騎兵多ケレバ晝間斥候ニ使用シ又全ク騎兵ヲ欠クハ歩兵斥候ニ由テ狭少ノ範圍ヲ搜索ス

**獨立騎兵前哨** 獨立シテ遠ク派遣セラレタル騎兵ハ駐止若クハ休憩ノ姿勢ニ在ルトキト雖モ他ノ援助ヲ藉ラズ獨立シテ其安全ヲ圖ラザルベカラザルモノトス

騎兵ハ其任務ノ性質ニ因リ概ネ廣大ナル地域上ニ彼此相分離セサルヲ得サルヲ以テ夜間宿營ノ爲メ狭小ナル地域ニ集合シ或ハ正面ノ全長ニ亘リテ連續セル前哨ヲ設クルヲ往々爲シ難キ所トス故ニ騎兵ハ概ネ各宿營地毎ニ各個獨立シテ警戒スルヲ要ス此警戒ノ爲メ要スル

兵力部署ハ其時ノ形勢ニ從ツテ變化ス而シテ騎兵集團シアルキハ混成前哨ニ於ケルカ如ク前哨本隊前哨騎兵中隊ニ區分シ而シテ前哨騎兵中隊ヨリ更ニ小哨若クハ獨立下士哨ヲ出スベシ敵ト遠隔シアルキハ固有ノ前哨ヲ配置スルノ外、騎兵中隊若クハ小隊ヲ遠ク敵方ニ派遣スベシ此ノ如クスルキハ搜索及ビ警戒勤務ヲ補助スルモノトス此部隊ハ一定ノ位置ニ拘泥セズ敵ノ運動ニ追隨スベシ其宿營給養等ハ運動ノ輕捷ニ因リ自ラ處辨スルヲ得ルモノトス

其三 前哨各部ヨリ出ス警戒兵

前項ニ述フル所ノ前哨本隊前哨中隊前哨騎兵ハ前哨ノ三大部分ニシテ此各部ヨリ更ニ次ニ説ク所ノ警戒並ニ監視兵ヲ出シ始メテ前哨ノ警戒完全ナルモノトス



小哨ニ適當ナル位置

### 小哨

ハ最前線ニ在ツテ切要ナル道路及ヒ要點ノ警備ニ任ス  
小哨ニ適當ナル位置ハ概ネ左ノ性能ヲ要ス

- 一 敵ニ對シテ蔭蔽ノ地
- 二 敵ニ通スル道路ノ近傍
- 二 歩哨線ノ中央後又ハ抗戰ニ適切ナルカ若クハ緊要ナル地點ノ後方
- 四 騎兵小哨ニ在ツテハ閉塞セル場所ニ位置スルハ尤モ忌ムヘキ所トス

小哨ニハ成ルヘク建制ノ小隊或ハ半小隊ヲ用ヒ其長ハ將校(將校欠クルハ熱練ノ下士ヲ以テ)ヲ以テス

小哨ハ一個若クハ數個ノ下士哨或ハ歩哨(騎哨)ヲ配置シ或ハ此兩哨ヲ併用ス

獨立下士哨ノ任務並ニ用處

### 獨立下士哨

ハ小哨ノ小ナルモノニシテ其任務及ヒ動作モ亦小哨ト同一ノ原則ニ從フモノニシテ即チ小哨ノ連絡及ヒ側面ノ警戒ヲ補ヒ時トシテハ又小哨ニ代ヘ用ユル者ニシテ複哨交代兵ノ外尙ホ斥候ニ充ツヘキモノ若干名ヨリ成ル時トシテハ遠ク歩哨線前ニ出テ騎兵ヲ支援シ或ハ橋梁村線等ノ如キ特ニ必要ナル點ヲ守備シ或ハ夜間敵ノ運動ヲ監視スルニ任スルコトアリ此ノ如キ場合ニハ其兵員稍多キヲ要ス

### 下士哨

ハ小哨ヨリ出スモノニシテ歩哨ノ大ナル者ニ過キス而シテ之レヲ用ユル場所ハ概ネ左ノ如シ

- 一 歩哨線上ニ於テ殊ニ緊要ナルカ又ハ危殆ナル地點
- 二 暴露セル側面
- 三 小哨ヨリ遠隔セル地歩哨ヲ置クトキハ其交代ニ多時ヲ要スル

下士哨ヲ用ユル場所



カ如キ)

四 道路上ニ設クル查哨

下士哨ハ歩兵ニ在ツテハ通常兵卒六名ヲ以テシ其長ハ下士或ハ上等兵トス又騎兵ニ在ツテハ下士一人兵卒三人以上ヨリ成ルモノトス

查哨 ハ前哨線ヲ出入通過スル者ヲ監査スル者ニシテ我軍ノ所屬タルコト疑ナキ者ニ限り其通行ヲ許シ否ラサル者ハ護衛兵ヲ附シ之

レヲ所屬哨所ニ送致ス敵ノ軍使(前哨線内ニ入ル、トキハ其眼ヲ縛ス)及ヒ降參人ヲ處置スルモ亦之レニ同シ但シ決シテ之レト談話スヘカ

ラス 時トシテハ獨立下士哨ヲ以テ查哨ヲ兼ネシムルコトアリ

歩(騎)哨 ハ專ハラ監視ニ任スルモノニシテ第一線ノ歩哨ハ既ネ

複哨トシ又騎哨ハ二人乃至三人ヲ以テス第一線内ノ歩(騎)哨ハ通常單

哨ヲ以テ足レリトス

歩哨ハ位置ハ左ノ條件ヲ顧慮シ決定スヘキモノトス

道路 主トシテ敵方ニ通スル道路特ニ橋梁其他ノ隘路ヲ監視スルヲ要ス

哨地 歩哨ノ位置ハ敵ノ通視ヲ妨ケ我ヨリハ能ク敵方ヲ展望シ得

ルヲ要ス高地ハ多クノ場合ニ於テ適良ナルモノトス又夜間ハ喧噪ノ

地(例ハ水車場ノ近傍ノ如シ)ヲ避クヘシ

側方連絡 歩哨相互ノ連絡容易ナルヘキコト而シテ地形之レヲ許

サ、ルナキハ其間隔ハ特ニ斥候ヲ以テ監視ス

後方連絡 後方所屬哨所ト交通便ニシテ且ツ晝間ハ展望記號等ヲ以テ容易ニ連絡シ得ルヲ可トス

歩(騎)哨ノ守則ハ分ツテ一般守則及ヒ特別守則トス一般守則ハ何レノ



地何レノ時ヲ問ハス歩騎哨ノ常ニ守ルヘキ規則ヲ云ヒ特別守則ハ其時ト地トニ由テ變化スル特別ノ規則ナリ(此守則ハ野外要務令參照)

### 展望哨

ハ前哨内ニ於テ晝間通視ニ便ナル地點(山頂、寺塔等)ニ布置スルモノトス其特ニ緊要ナルモノニ在ツテハ前哨中隊又ハ前哨本隊ヨリ一名ノ將校ヲ出シテ之ニ任ス

展望哨ハ敵前殊ニ要塞前ニ於テ久シク前哨ヲ配備スルトキ殊ニ緊要ナルモノトス

### 銃前哨

ハ前哨本隊、前哨中隊、小哨等ニアル部隊ノ爲メニ直接監視ヲ爲ス者ニシテ前方部隊或ハ歩哨線ヲ相瞻望シテ連絡ヲ保持スルヲ要ス通常單哨ヲ以テスレトモ部隊カ掩蔽下ニアルトキハ複哨ヲ以テス此銃前哨ハ敬禮ノ爲メ執レ、銃ヲ呼ハス

### 斥候

凡ソ哨兵ハ視域外ノ敵兵ヲ發見スルコト能ハス故ニ斥候ヲ

シテ遠ク且ツ廣キ地面ヲ搜索セシム斥候若シ僅少ノ時間ニシテ能ク遠大ノ地ヲ跋涉セント欲セハ馬ノ速度ニ依頼セサルヘカラス騎兵ハ乃チ斥候ニ適當ノ兵種ナリ故ニ夜間ト雖トモ敵ト遠隔スルトキハ亦騎兵斥候ヲ派遣スルヲ原則トス然レトモ通視シ難キ地及ヒ敵ト近接シアルトキニ於テハ歩兵斥候ヲ撰用ス凡ソ斥候ヲ派遣スルノ度數愈多キトキハ搜索愈密ニシテ警戒愈嚴ナリト雖トモ之レニ任スル兵卒ノ疲勞ハ愈大ナルコトヲ顧慮スヘシ其斥候路ハ各小哨ノ規定スヘキモノニシテ晝間一條又ハ二條夜間ハ二條又ハ三條ナルヲ通法トス而シテ同斥候路ニハ常ニ同一ノ兵ヲ用ユルヲ可トス又晝夜共ニ巡候スヘキ各斥候路ニハ三個ノ斥候ヲ充ツルヲ要ス是レ一ノ斥候常ニ路上ニアルカ如クニシテ且ツ適度ノ交代ヲナサシメンカ爲メナリ但シ晝間斥候或ハ夜間斥候ノ各路ノ爲メニハ二個ノ斥候ヲ充ツレハ可ナリ



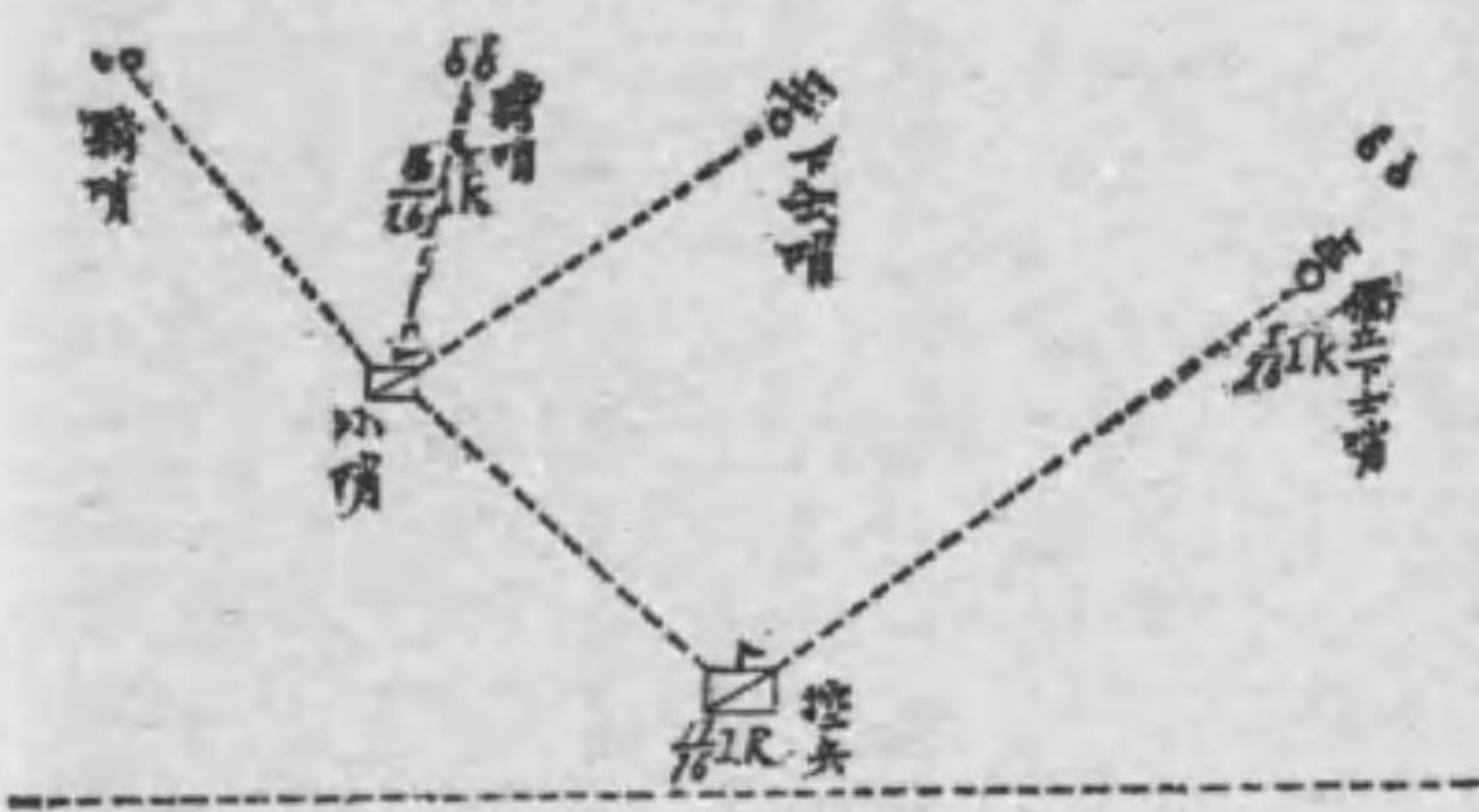
斥候ニ與フ  
ベキ教示

孰レノ場合ニ於テモ斥候ハ戰鬪ヲ避クヘキモノナルユヘ其兵員ハ決  
シテ其衆ヲ要セス反ツテ潜行ニ便ナル寡兵ヲ要ス故ニ通常三名ヲ以  
テ編シ其一名ヲ長トス  
凡ソ斥候ノ通路並ニ歸還ノ時刻ハ任命者之ヲ概定スルノミニシテ決  
シテ之レヲ確定スヘキモノニアラス  
斥候ノ任務ハ成ルヘク多岐ニ渉ルヘカラス此レ斥候ヲシテ徒ラニ追  
惑セシメス且ツ其任務ヲ完全ナラシメンカ爲メナリ  
斥候ニ與フル教示ハ概ネ左ノ件ヲ標準トス  
一、敵狀及ビ地形ニ關スル諭示  
二、斥候路ノ方向  
三、緊要ナル展望點及ビ特ニ意ヲ用ヒテ搜索スベキ地物ノ指示  
四、歸還スベキ概畧ノ時刻  
騎兵小哨ヨリ派出スル斥候ハ敵ト觸接スル時ニ在ツテハ通常敵ノ前

哨マテ前進スルモノトス而シテ是レヨリ更ニ進ンテ搜索スルコトハ  
上長ノ規定スル所ナリ然レトモ特異ノ徵候ヲ認ムルニ方リテハ小哨  
長獨斷ヲ以テ之ヲ命スルヲ得ヘシ  
**巡察** 巡察ハ所要ニ應シ前哨諸部隊ヨリ出スモノナレトモ小哨ヨ  
リ之ヲ出スコト最モ多シ何レノ場合ニ於テモ其任務ハ時々歩哨線内  
ヲ巡視シ歩哨ヲ備ヘサル土地ヲ巡候シ兼テ比隣哨所ト連絡ヲ通スル  
ニアリ其兵員ハ其長ト共ニ二名ヨリ成ルヲ常トス其巡視ハ歩哨交代  
ノ時間外ニ於テスルヲ良トス是レ交代ノ時ハ自然歩哨ヲ監視シ得ル  
ヲ以テナリ巡察ハ時ノ需要ニ應シテ將校或ハ下士ヲ以テ其長トナシ  
監視巡檢ヲ要スルノ度ニ應シ回数ノ多少ヲ定ム



前哨騎兵トシテ騎兵  
第一中隊配布一般例



歩兵前哨トシテ第二聯  
隊第一大隊配布一般例



其四 前哨配布及ビ各官ノ任務

前哨ノ警戒正面廣キカ或ハ地形蔭蔽交通不便ナル時ニ地區ニ從ヒ前哨ヲ數區ニ分チ各區毎ニ獨立セル前哨司令官ヲ設クルヲ良トス蓋シ一人ノ前哨司令官カ廣大ナル全線ヲ指揮セントセハ命令報告ノ傳達不便指揮困難ニシテ緩急事ニ應シ難ケレハナリ

縱隊司令官ガ宿營セント欲シテ前哨司令官ニ駐軍ノ命令ヲ與フルハ成ルヘク行軍中ニ與ヘ晚クモ駐止ト同時ニ與フル者トス是レ速ニ警戒ノ區署ヲ定メシメンカ爲メナリ

前哨司令官ハ縱隊司令官ノ宿營命令ニ由テ更ニ前哨命令ヲ下スモノトス此前哨命令ニ由テ前哨部隊ヲ決シ前哨司令官任命セラル、モノトス前哨司令官ガ此ニ於テ前哨命令ヲ下シ前哨始メテ配布セラル、



ナリ  
 小部隊ニシテ前衛ノ全部ガ直チニ前哨トナルトキハ前衛司令官ハ即チ前哨司令官ニシテ前衛命令ト前哨命令ハ合一スルモノナリ  
 以上ノ如ク順次完全ナル命令ヲ下シ警戒ニ就カシムルトキハ大ニ時間ヲ徒費スルモノナリ故ニ迅速ヲ主トセンガ爲メ始メヨリ諸般ノ事項ヲ含ム所ノ完全ナル命令ニ代ヘ先ツ取り敢ヘス縦隊司令官ハ前衛司令官ニ前衛司令官ハ前哨司令官ニ目下緊急ノ事項ニシテ警戒ニ關スルコトノミヲ命令シ各其警戒ノ部署ニ就キアル間ニ完全ナル命令ヲ製シ更ニ一般ニ係ル命令ヲ下スヲ可トス  
 前哨各線間ノ距離間隔及ヒ前哨ノ本隊ヲ距ルノ距離ハ敵ノ遠近土地ノ形狀庇掩スヘキ兵隊ノ大小ト次ニ承ス原則トヲ參照シテ之ヲ定ムルモノトス

前哨ノ各間  
 隔距離ヲ定  
 ムルノ原別

- 一 應援其機ニ後ルヘカラス
  - 二 退却ニ當ツテ危害ナカルヘシ
  - 三 本隊ヲシテ砲彈ヲ避ケシムヘシ
  - 四 在後兵ヲシテ戰備ヲ整ルノ猶豫アラシムヘシ
- 今尋常ノ形勢ニ於ケル前哨各部ノ距離及ヒ警戒面ノ標準ヲ示ス左ノ如シ

警戒面、各  
 部距離ノ標  
 準

前哨本隊ト後方團隊	混成旅團ニ在ツテハ三千乃至千二百米
各前哨中隊ト前哨本隊	約六百米乃至八百米
部ノ小哨ト前哨中隊	約三百米乃至六百米
距ノ騎兵小哨ト控兵	約步兵ノ二倍
離ノ歩哨ト小哨	約三百乃至四百
騎哨ト騎兵小哨	約五百乃至千米



前哨配布ノ  
順序及ビ各  
官ノ任務

警戒面

步兵小哨	約五百乃至六百米
騎兵小哨	約千乃至千二百米
前哨中隊	約千二百乃至千五百米

步兵一大隊 大約三千米前哨中隊二個ヲ配布スルモノトス

左、一般、普通ノ場合ニ於ケル前哨配布ノ順序及ビ各官ノ任務ヲ畧説ス

一、縦隊司令官ハ大凡ソ地圖ニ由テ考定シ以テ前衛司令官ニ警戒ニ關スル命令ヲ與フ

二、前衛司令官ハ此命令ニ基キ同シク地圖ニ由テ大概ヲ考定シ警戒ニ關シ左ノ事ヲ命令ス

前哨部隊ノ任命、大體ノ警戒線、前哨司令官ノ任務ヲ實施スルニ要スル特別ノ論旨

三、前哨司令官ハ前衛命令ニ基キ大體ノ地形ヲ偵察シ左ノ區署ヲナス

前哨騎兵ニ命スル事項

警戒線ノ大要及ヒ此騎兵ノ嚴ニ警戒スヘキ道路、晚ニ至リ前哨本部ニ退クヘキ騎兵ニ就テノ規定又夜間ニ於ケル騎兵ノ任務

前哨中隊ニ命スル事項

警戒スヘキ地ノ區域及ヒ其位置ノ概畧傳令騎兵ノ分配及ヒ步兵部隊ニ配布スヘキ騎兵部隊、要スレハ查哨ヲ置クヘキ道路、敵襲ニ當リ取ルヘキ處置

前哨本隊ニ關スル事項

宿營地、宿營法要スレハ前哨本隊ヨリ直チニ出ス警戒兵ノ指定、戰隊緩急ノ度及ヒ道路閉塞等ノ如キ特別處置

諸命令ヲ與ヘ終レハ速ニ炊爨シテ糧食分配ヲナスコトニ付キ萬般ノ注意ヲナス

諸報告ノ輻輳並ニ前哨全體ノ監視便ナル地點ニ在ツテ各部ヨリ到着スル報告ヲ受ケ又要スレハ命令ヲ與フ

前哨配布終レハ速ニ報告ヲ前衛司令官ニ呈ス



四、前哨中隊長ハ前哨命令ニ基キ大體地形ノ偵察ヲナシ左ノ區署ヲナス

●小哨獨立下士哨等警戒兵ヲ任命シ其警戒線及ヒ位置ヲ指令シ隣哨及ヒ前哨中隊ノ位置、前方ニ他隊ノ有無若シ之レアルトキハ其位置ヲ示ス

●要スレハ查哨ヲ置クヘキ道路ヲ示ス

●前哨中隊ノ位置ヲ撰定ス

●銃前哨ヲ配布ス

●中隊ノ兵ヲ區分シ斥候、巡察、雜役等ヲ定ム

●中隊戰備ノ度ヲ規定ス

●要スレハ暗號記號及ヒ勤務ノ時間ヲ規定ス

●前哨騎兵及ヒ比隣前哨中隊ト連絡ヲ取ル

●敵襲ノ場合ヲ顧慮シ更ニ地形ヲ暗熟スル爲メ偵察ヲナス(小哨赴援ノ道、抵抗線、退路等)要スレハ部下ノ幹部ヲ助手トシテ偵察セシム

●前哨配布終レハ略圖ヲ添ヘ前哨司令官ニ報告ス

五、小哨長ハ前哨中隊長ノ命ニヨリ左ノ區署ヲナス

一、警戒法ヲ設ケテ小哨概定ノ位置ニ至ル

二、斥候ヲ以テ步哨配布ヲ掩護ス

三、步哨線ノ偵察

四、步哨ノ配布、小哨位置ノ決定

步哨ノ配布ハ小哩長自ラ順次右翼或ハ左翼ヨリ步哨ニ要スル兵員ヲ引率シテ配布スルカ(此法ハ敵ニ見ラル、ノ害アリ故ニ豫メ地形ヲ偵察シ能ハサルトキニ用ユ)又下士或ハ上等兵ヲシテ各步哨ヲ引率シテ概定ノ位置ニ至ラシメ



小哨長一翼ヨリ順次巡回シテ特別守則ヲ授ケ且ツ步哨ノ位置ヲ修正決定シ第一番ノ步哨ヲ除ク他ノ二番三番等ノ步哨ハ引率者ヲシテ小哨ニ連レ歸ラシム

五、銃前哨ノ配布

六、斥候、巡察、雜役等諸勤務ヲ配シ又銃

此又銃ハ同時ニ勤務ニ就ケ者ヲ一組トシテ又銃ス是レ甲乙丙ノ銃ヲ解クトキ他ノ者ヲシテ爲メニ無益ニ銃ヲ解カサルヲ得サルカ如キ徒勞且ツ混雜ナカラシムル爲メナリ

七、前哨中隊長ニ配布ヲ報告シ比隣哨所ト連絡ヲ執ル

備考

前哨騎兵ハ概ネ前哨中隊ニ準ス  
獨立下士哨ハ概ネ小哨ニ準ス

前哨ノ抵抗線ハ通常前哨中隊所在地ノ附近ヲ貫通スルヲ良トス地形ニ由リテハ之レヲ小哨線附近ニ撰定

スルコトアルモ之レヲ步哨線ニ撰定スル如キハ全ク例外ニシテ特ニ步哨線ノ地形適良ナル等ノトキニ限ルモノトス

抑モ前哨警備ノ原則ヨリ論スルトキハ前哨ハ二種ノ線ヲ要ス曰ク監視線曰ク抵抗線是レナリ蓋シ抵抗ヲナサント欲セハ若干ノ準備ヲ要ス此準備ヲナス爲メニハ速ニ情報ヲ得サルヘカラス是レ監視線ヲ必要トスル所以ナリ故ニ監視線ハ抵抗線ノ前方ニシテ敵狀ヲ認識シテヨリ後抵抗線マテ敵ノ近接スルニ若干時間ヲ要スル丈ケノ距離ニアラサルヘカラス是レ步哨線ヲ以テ監視線トシ前哨中隊ノ線ヲ以テ抵抗線トナス所以ナリ而シテ小哨ハ監視線ノ支援ニ留マリ抵抗線タルニハ兵力不十分ナル者ナリ然ラハ論者ハ云ハン小哨ノ兵力ヲ増シテ以テ抵抗線ト爲サハ可ナラント是レ亦能ハサル所ナリ凡ソ前哨ハ戰



一五二

闘ノ目的ヲ有スルニ非ラス唯タ警戒ニアリ故ニ成ルヘク寡少ノ兵員ヲ以テ警戒ヲ完全ナラシメ無益ニ多數ノ兵隊ヲ疲勞セシメサルヲ勉メサルヘカラス抑、前哨各部隊ハ前線ニ近ツクニ從ヒ愈、警戒ノ嚴ヲ要シ其疲勞ハ大ナルモノナレハ小哨ハ單ニ步哨ヲ交代シ或ハ斥候ノ派遣等ノ爲メニスル兵員ヲ供給スルヲ以テ足レリトス無益ニ多數ノ兵ヲ用ユルモ決シテ抵抗ハ充分ナル能ハサルヘシ蓋シ最前線タル步哨線ニ近クシテ抵抗ノ準備ヲナシ能ハサルヘケレハナリ故ニ步哨線ヲ以テ監視シ小哨ヲ以テ之レヲ支援シ前哨中隊ヲ以テ抵抗線トスル時ハ假令敵ガ不意ニ步哨線ニ迫ルモ步哨線ヨリ前哨中隊ニ至ル距離ヲ敵ガ行進スル間ニ前哨中隊之ニ應スル準備ヲナシ得ヘク前哨本隊ハ即チ後方ニ於テ豫備ノ姿勢ヲ保チ時機ニ應シテ之ヲ赴援シ或ハ收容ス

一五三

前哨各部ト防禦線ノ關係ハ以上ノ如シ然レトモ固ヨリ前哨ハ本隊ノ宿營地ヲ基準トシテ配布スル者ナレハ希望通りニ前哨前部ト防禦線ノ關係ヲ充足スル能ハサルコトアリ故ニ時トシテハ前哨本隊ノ線ヲ以テ防禦線トスルコトアレトモ是レ前哨本隊ハ其線上ニ展開セサルヲ得スシテ展開上ニモ不便展開ハ前進シテ爲スヲ可トスレハナリ且ツ前哨中隊ハ退却シテ防禦線上ニ就カサルヘカラス是レ志氣上好マシカラス蓋シ小哨或ハ步哨ノ如キ監視隊ノ退却ハ左程困難モナク容易ナレトモ戰鬥單位タル資格ヲ備フル兵力ノ退却ニ至ツテ同一視シ能ハサレハナリ

戰鬥、前哨、ノ、如、キ、ハ、前、陳、ノ、監、視、線、ト、抵、抗、線、ト、全、ク、合、一、シ、全、隊、戰、闘、準、備、ノ、姿、勢、ニ、ア、リ、テ、兵、隊、ノ、休、養、ハ、全、ク、度、外、視、シ、タ、ル、場、合、ナ、リ、



其五 前哨ノ戦闘動作

前哨ノ要旨

前哨ノ戦闘法ハ作戰ノ目的及ヒ地形ニ應シテ異ナルモノナレトモ要スルニ前哨ノ要旨トスル所ハ步兵騎兵ノ別ナク其戦功ニ非ラスシテ本隊ニ戦闘準備ノ餘裕ヲ得セシムルニアリ故ニ前哨ハ我ヨリ戦闘ヲ希望スヘカラス然リト雖トモ敵襲ニ際シテハ全力ヲ盡シテ猛烈抗戦シ又各級ノ將校ハ其身ヲ犠牲トナシ本軍援護ノ責任ヲ完了スルコトヲ須臾モ忘ルヘカラス

前哨騎兵ハ遠ク前方ヲ搜索ス故ニ敵ノ步兵ノ急襲ハ深ク之レヲ慮ルニ足ラサルモ敵騎ノ襲撃ハ豫メ之レヲ期セサルヘカラス其之レヲ防クハ我亦襲撃ヲ以テスヘカラサル時ハ宜シク道路ヲ梗塞スヘシ其梗塞ノ結構假令單簡ナルモ所要ニ應シテ之レヲ前後ニ梯置シ騎銃ヲ以テ之レヲ防禦セハ敵騎假令優勢ナルモ我良ク永ク之レヲ拒止スルヲ

前哨騎兵

歩兵小哨

得ヘシ但シ其梗塞ハ我通過ニハ妨ケナキ如クスヘシ

歩兵小哨ハ一ツノ監視部隊タルニ過キスシテ固ヨリ抵抗力ヲ有スルモノニ非ラス然レトモ敵ノ斥候若シクハ寡少ノ部隊ニシテ小哨ノ兵力ヲ以テ之レヲ撃退シ得ルトキ之レガ撃退ヲ勉ムルハ當然トス是レ後方部隊ヲシテ無益ノ戦備ヲナサシメサル爲メナリ又固守スベキ任務ヲ有スルキハ飽クマデ抵抗ヲ持續シ前哨中隊ノ來援ヲ待ツモノトス

前哨中隊ハ前哨中多クノ場合ニ於テ抵抗部隊タルモノニシテ警報アルトキハ直チニ戦備ヲ整ヘ小哨ヲ救援シ若クハ之レヲ收容シ敵ヲ防禦シテ前哨本隊ノ救援ヲ待ツヘキモノトス

前哨本隊ハ速カニ前哨中隊ヲ救援シ或ハ豫定ノ陣地ヲ占領シテ前哨中隊ヲ收容シ全力ヲ以テ爰ニ抗戦ヲ勉ム而シテ本軍ノ戦備整フタル

前哨中隊

前哨本隊



後自ラ進ンテ戰ニ與ルカ或ハ退テ本隊ニ合スヘキカハ時ノ形勢ニ從  
フモノトス若シ別命ナケレハ常ニ其抵抗ヲ持久ス  
夜間敵襲ヲ受クルトキハ夜戰ノ原則トシテ射撃ヲ以テ彼レニ當ラン  
ヨリハ寧ロ機ニ投シテ銃劍突撃ヲ行フヲ利アリトス

其六 前哨ノ交代及ヒ收集

滯留ノ時ニアツテハ前哨ノ交代ハ本隊司令官又ハ前衛司令官ヨリ定  
メタル時刻ニ於テス通常拂曉ニ於テス

更ラニ前進セントスルニ當リテ前哨ヲ集收スルニ二法アリ

- 一、本軍行軍隊形ヲ取ルモ前哨ハ依然其地ニ在ツテ警戒ヲ持續シ  
行軍縱隊ノ先頭ガ前哨線ヨリ進出スルニ至リテ始メテ集收ス
- 二、前哨遠ク前方ニ派遣スル斥候ノ掩護ニ由テ適當ノ時機ニ集收

ス

第一法ハ尤モ敵ニ接近シアルトキカ或ハ我軍ノ運動ヲ勉メテ永ク敵  
ニ蔭匿スルヲ要スルトキニ之レヲ用フ然ルトキハ前哨ハ行軍縱隊ノ  
本隊ニ合セサルヲ得スシテ軍隊區分ニ變化ヲ起スカ故ニ相續テ屢々行  
フハ望マサル所ナリ故ニ時機ニ妨ケナキ時ハ第二法ヲ用ヒ前哨ヲシ  
テ前衛中ニ復歸セシムルヲ良トス  
前哨撤去ノ時間ハ通常本隊司令官ヨリ示サル、モノトス

其七 各種ノ場合ニ於ケル前哨

敵ニ最モ遠キ時ノ前哨 此場合ニ於テハ尤モ單簡ニシテ足レ  
リ多クハ舍營地附近ノ土民ニ對スル願慮ノ外他ニ敵狀ニ關シ警備ヲ  
左右スヘキ願慮ハナキモトス故ニ外營兵ノ稍大ナルモノヲ以テ足

敵ニ最モ遠  
キ時ノ前哨



行軍前哨

レリトスルヲ普通トス

行軍前哨 運動戰ニ在ツテハ軍隊宿營地ニ着スルコト概ネ遅ク且ツ多クハ疲勞シ又翌日上途ノ便ヲ顧慮スヘキヲ以テ正シク前哨ヲ配備スルコト能ハス且ツ當時前哨ノ任タル主トシテ夜間ノ警戒ニアリ然ルニ夜間ニ於テ軍隊ノ運動ハ實際道路ノ便ニ從ハサルヘカラサルヲ以テ特ニ敵地ニ通スル道路ヲ守備スル時ハ能ク本軍ノ安ヲ保ツニ足ルヘシ蓋シ道路外ヨリ來ル敵兵アルモ夜間ニ於テハ多兵ヲ以テスル能ハス若干ノ少部隊ニ過キサレハナリ即チ此種前哨ニ於テハ一連ノ哨脈ヲ布置スルヨリハ寧ロ建制ヲ割カサル如ク各首要道路附近ニアル部隊ヲ以テ其方面ヲ警戒セシムルヲ可トス

敵ニ稍々近キ前哨

敵ニ稍々近キ前哨 此場合ニ於テハ前哨ハ稍々正規ニ從ヒ嚴密ナラシメ道路間ノ地區ト雖トモ樞要ノ點ハ小哨若クハ獨立下士哨ヲ以

戰鬪前哨

テ警備ス

前哨抵抗線ハ作戰ノ目的及ヒ當時ノ情況ニ從ヒ要スレハ(敵ノ本攻ヲ受クルノ恐レアルトキ等)本隊防禦線ト一致セシメ或ハ翌日前哨カ後衛タルヘキトキノ如キハ其後衛陣地ヲ以テス

若シ前進ノ目的ヲ有シ前方ニ隘路アルトキノ如キハ時宜ニ因リ隘路前ニ前衛若クハ前哨ヲ出スコトアリ是レ本隊ノ隘路通過ヲ容易ナラシメン爲メナリ

戰鬪前哨

此種前哨ハ敵ニ尤モ近接シ戰鬪ノ期已ニ迫ルカ或ハ戰鬪ハ唯タ日ノ暮ルカ爲メニ中止シ明朝更ニ戰ヲ連續セントスルトキ等ニ於テ用ユルモノナリ故ニ各隊ハ何時ニテモ戰鬪シ得ル如ク準備ヲ整ヘ純粹ナル戰術上ノ戰鬪隊形ニ展開シテ露營シ唯タ若干歩前ニ步哨ヲ出シテ掩護スルノミニテ戰鬪線モ警戒線モ區別ナク所謂



城塞前ノ前哨

銃ヲ腕ニシテ戰線ニ假眠ヲ貪ルニ過キス即チ此前哨ヲ稱シテ一名戰  
闘準備隊形ト云フ所以ナリ

城塞前ノ前哨 此哨ノ野戰前哨ト異ルハ攻守ニ別ナク連接團  
繞セル哨兵線ヲ布キ又攻撃或ハ防禦ノ正面ニ向ツテハ前哨諸部隊左  
右前後ニ相密接シ且ツ掩護ノ爲メニ十分其地ニ工事ヲ施シ強硬ナル  
抗戰及ヒ自在ナル連絡ヲ要スルニアリ蓋シ城塞前ノ前哨ニ於テハ全  
ク敵ノ交通ヲ遮斷スルヲ要シ且ツ我攻城作業ヲ妨害セン爲メ屢敵カ  
行フ所ノ出撃ニ抵抗スルヲ要スレハナリ

攻者ハ前哨ニ於ケル要旨左ノ如シ

- 一、攻圍線ヲ扇區ニ分チ各扇區ハ大約其扇區守兵ノ歩兵三分一ヲ  
以テ前哨トナス
- 二、攻圍ノ始メ及ヒ攻撃正面ヨリ遠隔セル地區ノ警戒ハ騎兵ノミ

ヲ用ヒテ足ラン之レニ反スル場合及ヒ攻撃地區ニ在ツテハ前  
哨兵中前哨騎兵ヲ置カズ唯タ報告ニ要スル騎兵ヲ用フルノミ  
三、應援速カナル爲メ前哨ノ深厚ハ野戰ノ深厚ニ比シテ之レヲ減  
縮ス

- 四、哨兵線ヲ通過スル者ヲ認識スル爲メ夜間ハ暗號ヲ用ユ
- 五、前哨中隊ハ二十四時間ニシテ交代スルヲ適當トス而シテ全前  
哨ハ凡ソ二日乃至四日間ニ交代ス
- 六、其攻撃歩ヲ進ムルニ至リテハ前哨ハ塹壕衛兵、控兵等ニ區分シ  
而シテ前哨ハ攻撃ノ進歩ニ應シテ前進ス

守者ハ前哨ニ於ケル要旨左ノ如シ

- 一、守者ニ在ツテハ本來ノ攻圍ニ至ル前主トシテ敵ノ近邇及ヒ攻  
城廠設置ノ位置ヲ偵察スル爲メ騎兵ヲ用ヒ此騎兵ハ城外枝隊



ヲ以テ其支援トナス而シテ該支隊ハ敵ノ攻圍更ニ歩ヲ進ムルニ至レハ變シテ本來ノ前哨トナル

二、前哨ノ部署及ヒ諸般ノ件ハ前陳攻者ニ於ケルト異ルナシ殊ニ守者ニ在ツテハ敵狀ノ搜索尤モ必要ナルモノトス故ニ監視隊ヲ展望自在ナル地點ニ出シ其他電話、氣球、鳩使等種々ノ補助方法ヲ以テ通信報告ヲ迅速ナラシム

元來要塞前ノ前哨ハ要塞戰法ヲ了解シタル後ニアラサレハ精說シ能ハス故ニ以上ノ外精細ハ第七篇要塞戰法ヲ述ブル時ニ於テ更ニ說ク所アルベシ

● 行軍

其一 總論

行軍トハ軍隊一ノ目的地ニ達セン爲メ戰場外ニ於テ行フ諸運動ノ總稱ナリ抑モ軍ヲ活動セシムルモノハ行軍ニシテ軍隊ノ戰闘ニ屬スル事業ノ大部分ヲナスモノナリ行軍實施ノ確實ナルハ戰闘ノ結果ヲシテ良好ナラシムル原因ナリ

行軍ノ術タルヤ尋常ノ形勢ニ在ツテハ務メテ軍隊ノ力ヲ貯ヘ切要ノ時機ニ臨ンテハ非常ノ効程ヲ顯ハシ得ルニアリ

非常ノ効程ヲ望ムコト易シ然シ爲シ遂ケ得ル如キ効程ヲ望ムコトハ稍難シ况ンヤ正當ノ場合ニ於テ之レヲ望ムハ最モ難シ

行軍ノ要訣

- 一、行軍ヲ疾速ナラシムルコト
- 二、軍隊ノ體力ヲ保存スルコト



三、軍隊ノ安全ヲ保持スルコト

其二 戰畧上ノ分進合擊

夫レ今日諸國ノ軍ハ殆ント同等ノ編制、教育及ヒ兵備ナルヲ以テ戰鬪ニ當ツテ兵數ノ優勢ヲ貴フコト昔日ニ倍蓰ス而シテ戰場ニ於テ此優勢ヲ得ルニハ成ルヘク衆多ノ現員ヲ一地ニ會合スルニアリ分レテ進ミ、聚ツテ擊ツ、即チ分進合擊ノ原則ハ昔日ヨリモ今日ノ大兵團ノ爲メ尤モ良ク適應ス

方今大兵團ノ行軍分進ニ於テハ多クハ師團ヲ以テ行軍シ務メテ數條ノ道路ヲ使用ス敵軍遠ケレハ益、我行進正面ヲ廣クシ以テ宿舍ヲ寬クシ給養ヲ豐ニシ又軍隊ノ行路ノミナラス後方ニ繼續スル數多ノ輜重ノ爲メニ自在ニ道路ヲ撰擇スルヲ主トス敵軍ト近邇スルニ隨テ漸ク

正面ヲ狭クシ遂ニ相衝突スルノ期ニ至レハ各兵團ノ正面ヲシテ其戰鬪正面ト齊シキニ至ラシム

此方法ヲ以テスレハ軍隊ノ運動大ニ自由ナルコトヲ得ヘシ加之野戰ニ於テハ近距離ヲ以テ久シク敵ト對峙スルコト甚タ稀ナルユヘ運動益、自由ナルコトヲ得ヘシ然レトモ元來分進合擊ナルコトハ云フハ易ク行フハ難キ一術ニシテ情況ノ變遷ニ應シテ適時適當ノ地ニ分進セラル兵團ヲ集合センニハ速ニ敵軍ノ計畫ヲ偵知判斷シ戰地ノ形狀ニ着意スルコト最肝要ナリ夫レ集合早キニ失スレハ運動自由ナラス給養困難ニ至ルヘク又之レニ反シ集合遲キニ過クレハ各部各別ニ擊破セラ  
ル、ノ患アリナボレオン一世ハ會戰前戰場ノ後方ニ集合スルヲ常ト  
セリ又モルトケ將軍ガ千八百七十年普佛ノ戰役ニ於テ爲シタル統帥  
法ハ概ネ分進縱隊ヲ會戰中戰場ニ於テ集合セリ會戰中ニ集合スルハ



動モスレハ集合機ニ遅レ各個擊破ヲ受クルノ恐レアレトモ目今ノ戰  
闘ハ概ネ局地ヲ利用シ戰闘ハ柔軟ニシテ急ニ勝敗ヲ決スルニ至ラス  
一部ノ兵團ヲ以テ優勢ノ敵ニ對スルモ後援ノ兵到着スル迄戰ヲ維持  
スルコトヲ得ルヲ以テ其度ニ至ルマテハ戰場集合ノ法モ亦危險ヲ見  
ルコトナシ

其三 行軍効程並ニ區署ノ一般注意

行軍効程ハ常ニ天候、道路、地形、土質、行軍縱隊ノ大小、軍隊ノ志氣等ニ關  
係ス就中非常ノ行軍効程ヲ確認スルモノハ軍紀ナリ此行軍軍紀ハ一  
般軍紀ヨリ溢出スルモノニ外ナラス而シテ過嚴ナルヘカラス  
各兵種ノ基準歩度ハ概ネ左ノ如シ

歩兵一分時間ニ

常歩九十六米 速歩百四十五米

騎兵一分時間ニ

常歩九十六米 速歩二百十米

野砲兵一分時間ニ

常歩八十六米 速歩二百十米

山砲兵一分時間ニ

常歩八十六米 速歩百四十五米

歩兵ハ一吉米ヲ行クニ小部隊ニシテ且ツ良好ノ景況ニ在ルトキハ十  
分時。大部隊ナレハ十三分時ヲ要シ即ハチ五十分時ニ約四吉米ヲ行  
進ス

騎兵ハ一吉米ヲ行クニ七乃至九分ヲ要シ小部隊ニシテ通過スヘキ距  
離甚タ遠大ナラザルトキハ通常速歩二吉米約十分間毎ニ常歩一吉米  
約十分間ヲ用ヒ一時間ニ約八吉米ヲ經過スルヲ得ヘシ然レモ大ナル  
騎兵部隊ガ長キ距離ヲ行進スル時ニ當ツテハ一時間ニ約六吉米ト算  
スルヲ可トス即ハチ平均休憩時ヲ合シテ一時間ニ七吉米ト算セハ誤



リナシ(少シク急ヲ要スレハ一日ニ八十吉米ヲ行進スルヲ得)

砲兵ハ獨立シテ行進スルコトナキヲ以テ之レト連合スル兵種乃ハチ多クハ歩兵ノ歩度ニ準スヘシ但シ時トシテハ騎兵ニ連合スル野砲ノ如キハ固ヨリ騎兵ノ歩度ニ從フモノトス若シ砲兵獨立シテ行進スルトキハ野砲ニ在ツテハ一吉米ヲ行クニ八乃至十分ヲ要シ山砲ニ在ツテハ歩兵ニ準ス

縦隊ノ行軍速度ハ右ノ基準歩度ニ由テ決定セラル、モノニシテ即チ諸兵連合ノ戰地行軍ニ於テ休憩時間通常十分ヲ込メテ一時間ニ大約四吉米トス

形勢惡シキ時ハ三十吉米(七里半)ノ行軍ニ別ニ二時半ヲ増算スヘシ

常行軍ハ一日ノ行程約五里乃至七里半ニシテ通常第四日ヲ以テ休憩日トス

各人定位ノ件  
飲水ノ件

急行軍ハ一日ノ行程約九里乃至十一里ニシテ休憩日ヲ置カス

強行軍ハ晝夜兼行行程ヲ定ムルコトナシ

歩兵師團ニ在ツテ三十吉米ノ行軍ハ既ニ規外ニ屬ス此距離外ニ舍營ヨリ集合スル距離並ニ行軍ノ終點ヨリ舍營ニ至ルノ距離ヲ加ヘサル可カラス軍隊ノ大部分ハ十時間途上ニ在ルヲ要ス斯ノ如キ行軍數日ニ亘ルトキハ之ヲ急行軍ト稱スヘシ

混成旅團ニ在ツテハ三十吉米ヲ行クコトヲ得且ツ形勢善良ナレハ數日間連續スルモ妨ケナシ

行軍ヲ規正確實ナラシムル爲メニ遵守願慮スヘキモノハ左ノ如シ

一、各人ハ恣ニ定位ヲ離レサルコト(隊列ヲ離レ或ハ水流井泉ニ駐マル等)

二、適度ノ飲水ハ其時機ヲ誤ラス全隊ニ之レヲ爲サシムルコト是



レカ爲メニハ豫メ乗馬將校ヲ派シ其準備ヲナサシムル等ノ處置ヲナス

服裝ノ件

三、 服裝ハ許シ得ル限り其時機ヲ誤ラス全隊ニ令シ寛裕ナラシムルコト例ヘハ炎暑ノ候ニ於テ卸ヲ脱セシムル如シ

歩度ノ件

四、 縦隊先頭ノ歩度齊一ナルコト

路幅ノ件

五、 路幅ノ廣狹ニ應シ一側ヲ空虚ニスルカ中央ヲ空虚ニスルカ便宜ニスルコト

距離ノ件

六、 部隊間ニ適宜ノ距離ヲ保チ遽止急進ヲ防クコト

睡眠ノ件

七、 安眠ヘ體力ヲ保存回復スルニ必須ノ者タルヲ以テ拂曉以前ニ出發セシムルハ成ルヘク爲サ、ルコト

出發時刻

八、 人生ノ普通適當ノ睡眠時間ハ七時間乃至八時間トス

出發時刻ハ作戰ノ目的、縦隊ノ大小、軍隊ノ勞否、季候ノ寒暑等ヲ

出發ノ爲メ  
集合

酌量シ無益ニ過早ノ出發ヲナサシメサルコト

九、 乗馬兵ハ拂曉後成ルヘク一時間ニ出發セシムルヲ可トス

十、 一般ニ熟地ヨリ拂曉前ニ出發スルハ日没後生地ニ到着スルニ優ルヲ以テ路程長キトキハ此原則ヲ顧慮スヘシ

十一、 炎暑ノ候ニ於テ日中ノ炎熱ヲ避ケントスルトキハ拂曉前一  
日ノ半行程ヲ行進スルコトアルヘシ

十二、 出發ノ際軍隊ヲ集合スルニ成ルヘク徒勞ヲ避クルノ方法ヲ執  
ラサルヘカラス即チ大ナル部隊ヲ一地ニ集合スルトキハ出發  
ノ時機ニ至ルマテ各隊ヲ掌握シ得ルト、行軍方向ヲ自由ニ撰擇  
シ得ルト、現地ニ於テ行軍序列ヲ命シ得ルトノ利益アリ然レト  
モ其兵ヲシテ行軍序列ニ就カシムル爲メ久シク集合所ニ停止  
セシムルノ徒勞アルヲ以テ尤モ敵ニ近接セル場合ヲ除ク外ハ